



Interactive Display 電子黒板

3553RK/3753RK/3863RK

取扱説明書



目次

安全について	5
安全安全に関するご案内	5
著作権	6
免責事項	6
商標について	6
FCC適合宣言	6
FCC警告	6
EU加盟国向け適合宣言	7
WEEE	7
ENERGY STAR(エナジースター)	7
ブルーライト低減と目の健康	7
はじめに	8
同梱物一覧	8
標準付属品	8
オプションアクセサリ	9
製品概要	10
前面図	10
背面図	11
リモコン	12
設定と設置	14
壁掛け設置について	14
スタンド(オプション)	15
リモコンの使い方	16
リモコン電池の取り付け・交換	16
リモコンの操作範囲	17
接続方法	18
電源の接続	18
外部機器の接続	18
HDMI入力 of 接続	18
VGA入力 of 接続	19
オーディオ入力 of 接続	19
音声出力 of 接続	20
SPDIF接続	20
HDMI出力 of 接続方法	20
USB接続	21
RS232	21
LAN接続	21
Wi-Fi接続	22

本機の操作方法	23
電源のオン／オフ	23
セットアップウィザード	24
基本操作	25
ホーム画面の概要	25
OSDメニュー	26
ショートカットメニュー	27
画像設定の調整	30
ディスプレイ設定の調整	31
音声設定の調整	32
デバイス情報の表示	33
Android設定メニュー	34
システムのカスタマイズ	34
ネットワーク設定の構成	40
デバイス設定の構成	42
セキュリティ設定の構成	44
システム設定の構成	48
サイドツールバー	52
最近のタスクの表示	53
書き込み	54
Classroom Share	55
画面キャプチャツール	61
その他のツール	62
フローティングメニューツールバー	63
ホーム画面の便利な機能	64
クイック設定パネル	65
入力ソースショートカットの管理	66
アプリの使い方	67
Whiteboard (ホワイトボード)	68
DisplayShare2	81
アプリのダウンロード	82
ファイルマネージャー	83
クラウドストレージ	85
マルチメディアファイルの再生	87
Infoboard	92
ブラウザー	97
メモリークリーン	97
Optoma Management Suite (OMS) TM	98

追加情報	102
サイズ	102
65インチ	102
75インチ	103
86インチ	104
対応タイミグー覧	105
RS232プロトル制御接続	107
RS232ピン割り当て	107
RS232 RJ45制御接続	107
設定コマンド	108
GETコマンド	111
LEDインジケータ	113
トラブルシューティング	114
メンテナンス	115
画面のクリーニング方法	115
フロントフレームのお手入れ	115
TF／MicroSDカードの取り付け	116
MEMO	117

安全について

この取扱説明書に記載されている注意事項・警告・メンテナンス方法を必ず守ってください。

安全に関するご案内

- Optoma が認定した付属品・アクセサリのみをご使用ください。
- 通気口をふさがないようにご注意ください。機器の安定した動作と過熱防止のため、通気が妨げられない場所や設置方法を選んでください。書棚やキャビネットなど空気の流れを妨げる場所への設置は避けてください。
- 機器を水や湿気の近くで使用しないでください。火災や感電のリスクを減らすため、雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 放熱器、ヒーター、ストーブなどの熱源や、アンプなど熱を発する機器の近くに設置しないでください。
- 機器内部に異物や液体を入れないでください。高電圧部分に触れたり、内部部品がショートすることで火災や感電の原因となる恐れがあります。
- 不安定な場所に設置しないでください。転倒により怪我や機器の損傷につながる可能性があります。
- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
- タッチスクリーンの操作には、硬いものや鋭利なものを使わないでください。
- 本体が破損または損傷している場合は使用しないでください。物理的な損傷や誤った取り扱いの例としては、以下が含まれますが、これらに限りません：
 - ± 本体を落とした場合。
 - ± 電源コードやプラグが損傷している場合。
 - ± 本体に液体をこぼした場合。
 - ± 本体が雨や湿気にさらされた場合。
 - ± 機器内に異物が入ったり、内部で部品が緩んでいる場合があります。
- ご自身で分解や修理を行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他のリスクにさらされる可能性があります。修理の際は発送前に必ず Optoma へご連絡ください。
- 長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 保管時には必ずリモコンから電池を取り外してください。長期間電池を入れたままにすると、液漏れの原因となる場合があります。
- お手入れの前には、必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- ディスプレイ部分は柔らかい乾いた布で拭いてください。研磨剤やワックス、溶剤などは使用しないでください。
- 安全に関する表示は本体の外装をご確認ください。
- 修理は必ず認定サービススタッフにご依頼ください。

著作権

本出版物のすべての写真、イラスト、ソフトウェアを含む内容は、国際著作権法により保護されています。著者の書面による許可なく、本マニュアルおよびその内容のいかなる部分も複製することはできません。

© Copyright 2025

免責事項

本書の記載内容は予告なく変更される場合があります。製造元は、本書の内容についていかなる保証も行わず、商品性または特定目的への適合性を含む黙示的な保証も明示的に否認します。また、製造元は本書の改訂や内容の変更を随時行う権利を有しますが、その都度通知する義務はありません。

商標について

Kensingtonは、ACCO Brand Corporationが米国で登録した商標であり、世界各国でも登録・申請されています。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国での商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、および Google Drive は Google LLC の商標または登録商標です。

OneDrive はマイクロソフト社の商標およびブランドです。

本マニュアルに記載されているその他すべての製品名は、それぞれの所有者の財産であり、ここにて明記いたします。

FCC 適合宣言

本機器はFCC規則第15部に基づくクラスBデジタル機器の基準に適合していることが試験・確認されています。これらの基準は、一般家庭での設置時に有害な干渉を防ぐために設けられています。

本機器は、電波エネルギーを発生・使用・放射することがあります。説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないことは保証できません。万が一、機器の電源をオン・オフすることでラジオやテレビの受信に干渉が生じる場合は、次の対策のいずれかを試してください：

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を変更する
- 機器と受信機の間隔を広げる
- 受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者にご相談ください。

FCC 警告

本機器は FCC 規則第 15 部に準拠しています。使用にあたっては、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。

- (1) 本機器は有害な干渉を引き起こしてはならず、
- (2) また、受信した干渉（望ましくない動作を引き起こす可能性のあるものも含む）を受け入れなければなりません。

カナダの利用者へのご案内

このクラス B デジタル機器は、カナダの CAN ICES(B) / NMB(B) 規格に適合しています。

カナダの利用者へのお知らせ

本クラス B デジタル機器は、カナダ規格 NMB-003 に準拠しています。

EU 加盟国向け適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU（改正を含む）
- 低電圧指令 2014/35/EU

WEEE



廃棄に関するご案内

本電子機器を廃棄する際は、一般ごみとして捨てず、リサイクルにご協力ください。環境負荷を抑え、地球環境を守るため、適切なリサイクルにご協力をお願いします。

ENERGY STAR（エナジースター）



ENERGY STAR（エナジースター）は、米国環境保護庁が主導する自主的なプログラムで、企業や個人が優れた省エネ性能によってコストを削減し、気候保護に貢献することを目的としています。ENERGY STAR認定製品は、米国環境保護庁が定める厳しい省エネ基準をクリアし、温室効果ガスの排出を抑制します。ENERGY STAR認定モデルには、下記のロゴが表示されています：

本製品は「標準モード」設定時にENERGY STAR認証基準を満たし、省エネ効果が得られます。標準モード以外の画質設定や他の機能を有効にすると消費電力が増加し、認証基準を超える場合があります。詳細はEnergyStar.govをご参照ください。

ブルーライト低減と目の健康

ブルーライト低減技術とは？

ブルーライト低減技術は、製品から発せられるブルーライト成分を抑えます。ブルーライトが目を与える影響は、眼の組織への負担や体内リズムへの影響として現れ、近視、白内障、黄斑疾患などにつながるおそれがあります。

ブルーライト低減認証：ディスプレイ機器が光生物学的安全性およびブルーライト放射の安全性要件を満たしているかを評価するための認証制度です。

ご注意： TÜV Rheinland のブルーライト低減認証に適合させるには、ディスプレイ設定を次のとおりにしてください：

- 表示モード：プレゼンテーション
- 色温度：標準
- 低ブルーライト：100。

休憩の取り方

画面を連続して使用する場合は、1 時間ごとに10 分程度の休憩を取ることをおすすめします。

ご注意： 目を健康に保ち、乾燥を防ぐため、こまめにまばたきをしてください。

遠くを見る

休憩中は、遠くのものを見たり、目を閉じたりしてください。ピント調節に関わる毛様体筋がゆるみ、目の疲れを和らげます。

目のエクササイズ方法

1. 人さし指を目から数センチ離して立てます。
2. 指先にピントを合わせます。
3. ピントを保ったまま、指をゆっくり顔から遠ざけます。
4. 一瞬、視線を外して遠くを見ます。
5. 伸ばした指に再びピントを合わせ、ゆっくり目の方へ戻します。

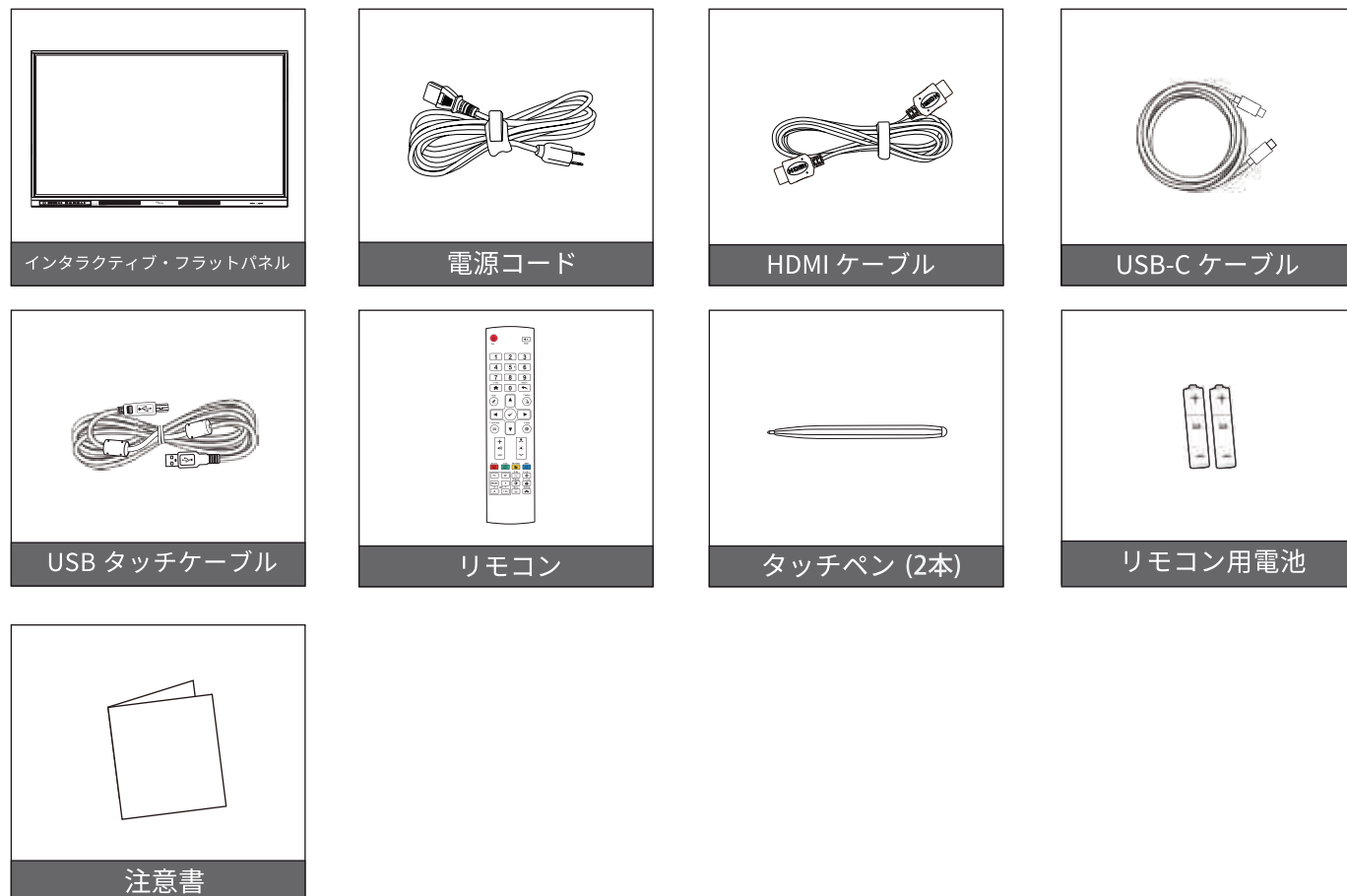
はじめに

同梱物一覧

標準付属品に記載されている内容をご確認のうえ、丁寧に開封してください。オプション品はモデルや仕様、ご購入地域によっては同梱されていない場合があります。詳しくはご購入先にお問い合わせください。また、付属品の内容は地域によって異なる場合があります。

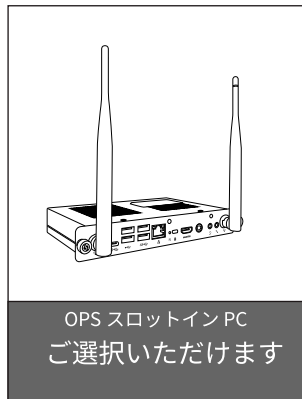
保証書は一部地域のための付属となります。詳細は販売店までご確認ください。

標準付属品



はじめに

オプションアクセサリー

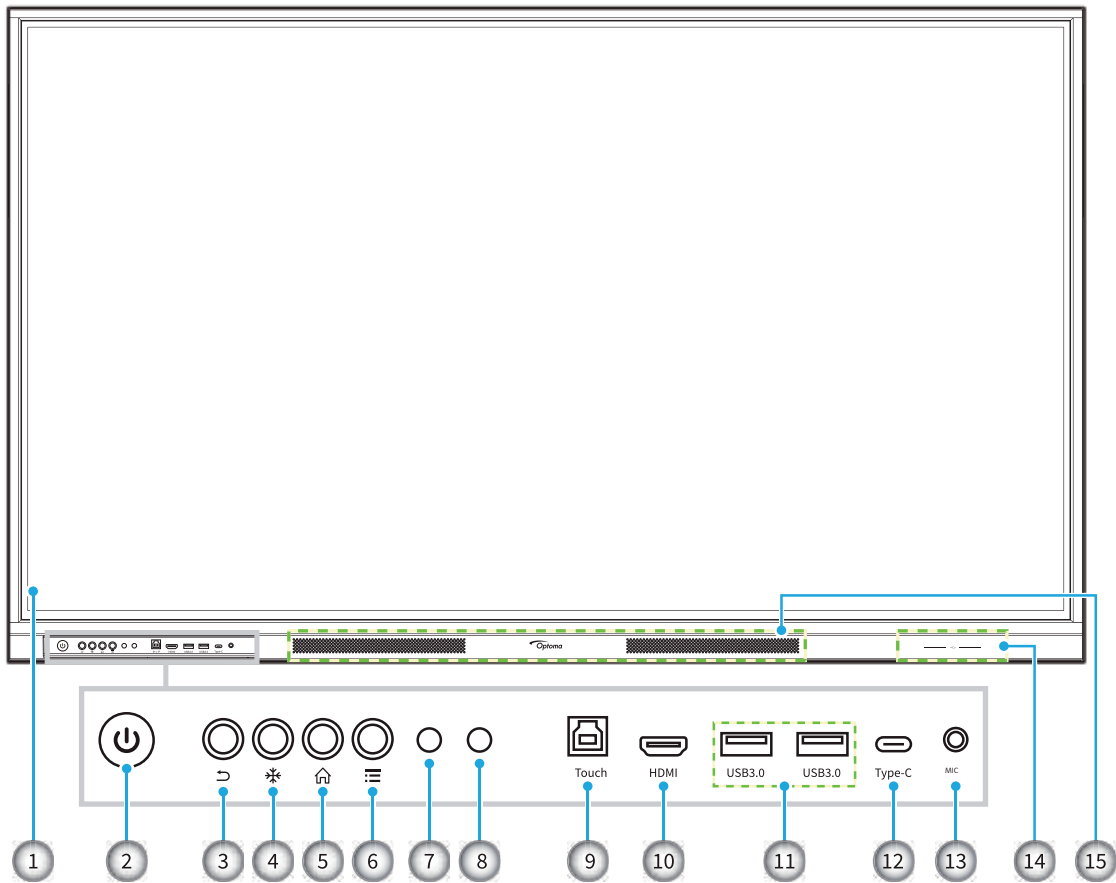


ご注意：アクセサリーのモデルは地域によって異なる場合があります。詳細はお近くの担当者までご確認ください。

はじめに

製品概要

前面図



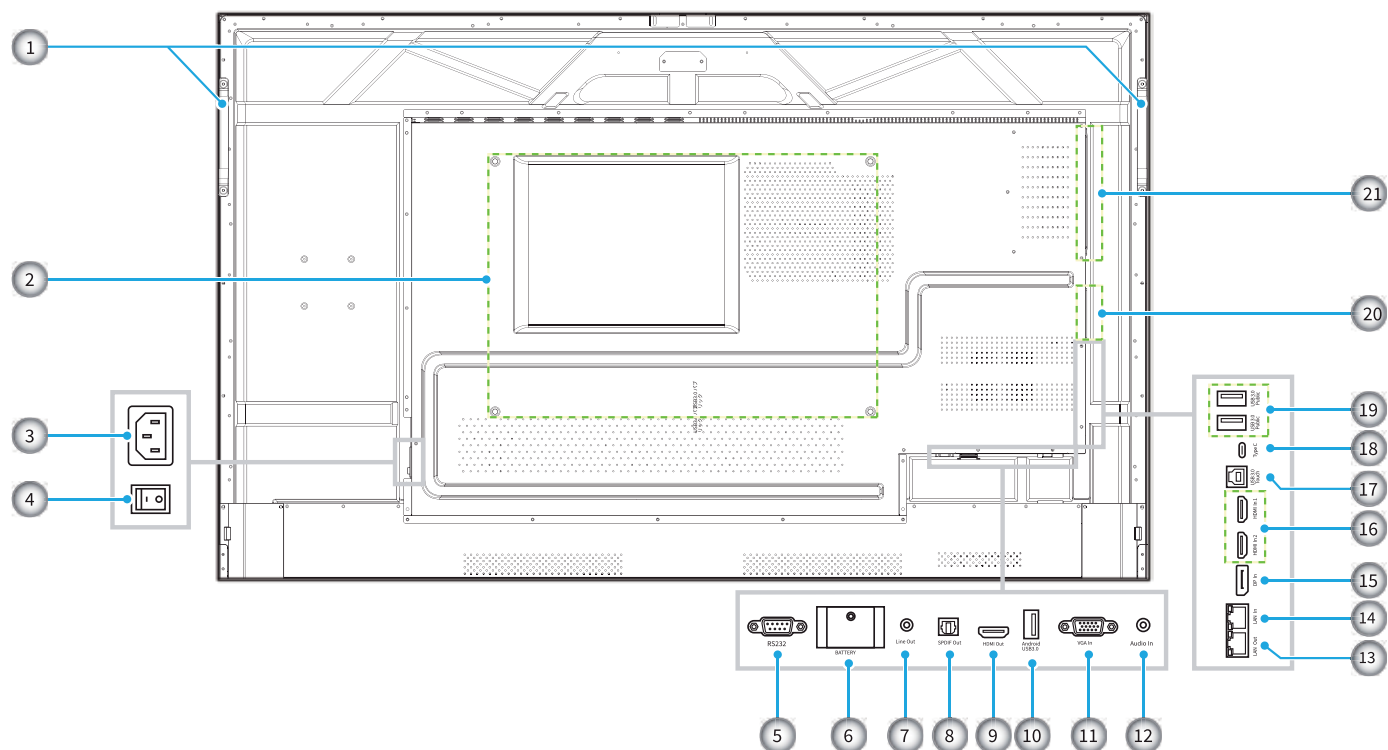
番号	項目
1.	タッチスクリーン
2.	LED インジケーター付き電源ボタン
3.	バックキー（前の画面に戻る）
4.	フリーズキー
5.	ホームキー
6.	OSD メニューキー
7.	IR 受信部
8.	光センサー

番号	項目
9.	タッチ用 USB ポート
10.	HDMI 2.0 前面ポート
11.	USB 3.0 ポート（2 口）
12.	USB Type-C ポート（65W PD*）
13.	マイク入力ポート
14.	タッチペン収納部
15.	20W スピーカー（2 基）

- 注意：
- （*）USB-CポートはOPS非搭載時は最大100Wまで給電可能です。本機にOPSを搭載すると、給電は65Wまで対応します。
 - Android以外のソースで録画する場合は、外部USB機器（例：カメラ）は必ず本機背面のAndroid USBポートに接続してください。組み込みでないUSBポートに接続すると、映像や音声記録されません。

はじめに

背面図



番号	項目
1.	ハンドル（2 個）
2.	壁掛け用取り付け穴
3.	AC 入力
4.	電源スイッチ
5.	RS232 入力
6.	リチウムバッテリー（3*）
7.	Line 出力
8.	SPDIF 出力
9.	HDMI 出力（1*）
10.	Android 用 USB 3.0
11.	VGA 入力

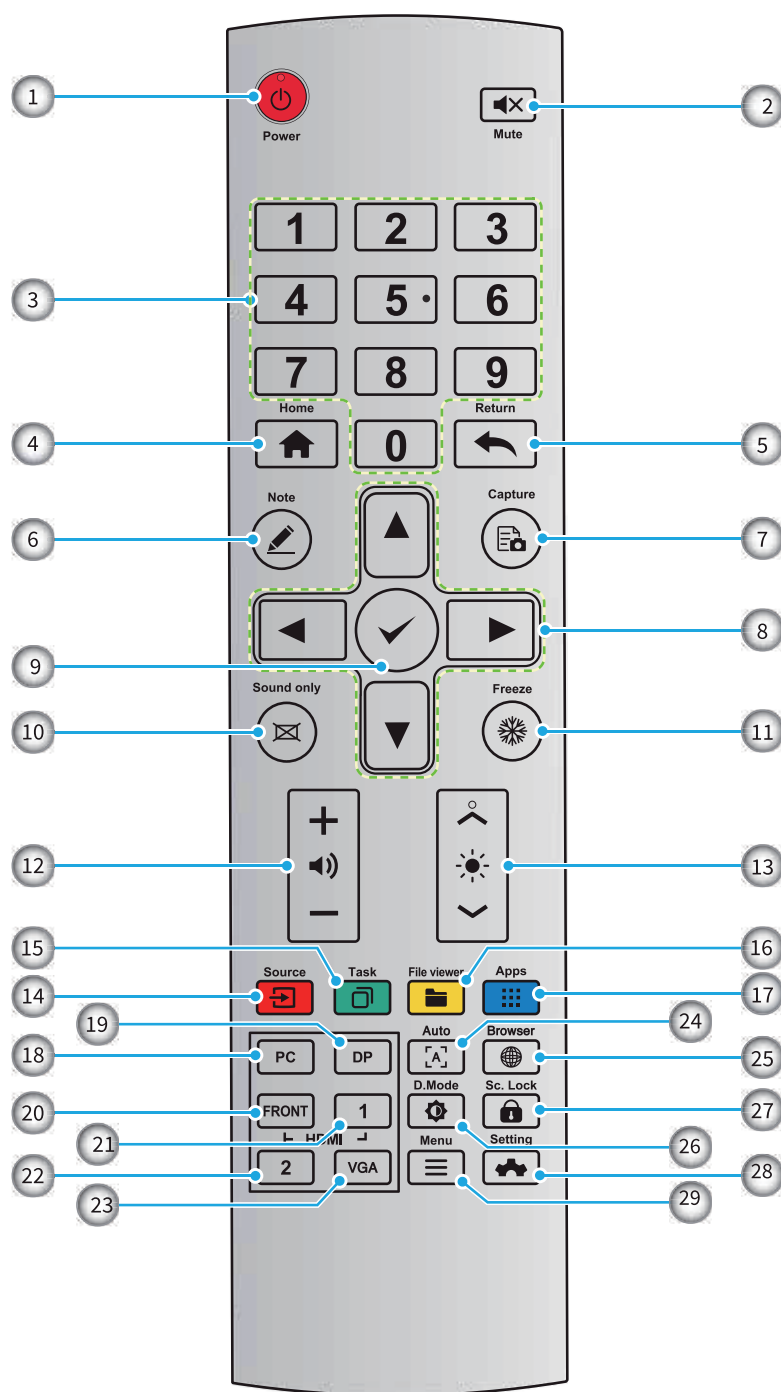
番号	項目
12.	オーディオ入力
13.	LAN 出力
14.	LAN 入力
15.	DP 入力
16.	HDMI 入力 2 / HDMI 入力 1
17.	USB 3.0 タッチ
18.	USB Type-C 入力（PD 15W（2*））
19.	USB 3.0×2
20.	Wi-Fi ドングルスロット
21.	OPS スロット

注意：

- 側面のUSB 3.0ポートは全機能対応です。入力ソースを問わず、USBポートがご使用いただけます。
- (1*) 4K2K対応HDMIディストリビューター。
- (2*) USB Type-CポートはDisplayPort 1.2および15W給電に対応しています。
- Android以外の入力ソースで録画する場合、外部USB機器（例：カメラ）は必ず本体背面のAndroid用USBポートに接続してください。埋め込み型以外のUSBポートに接続した場合、映像と音声は記録されません。
- (3*) 本機が電源に接続されていない時もシステムクロックへ電力を供給します。

はじめに

リモコン



番号	ボタン	説明
1.		電源オン／オフ
2.		ミュート／ミュート解除
3.	0～9	数字キー
4.		ホーム画面に戻る（Android）
5.		戻る／前の画面に戻る／終了

はじめに

番号	ボタン	説明
6.		ホワイトボードアプリを起動
7.		スクリーンショットを撮る
8.		上下左右
9.		決定／OK
10.		サウンドのみモードを有効にする
11.		現在の画面をフリーズ 再度クリックで解除
12.		音量を調整
13.		明るさを調整（10 ～ 255）
14.		入力ソースメニューを開く
15.		現在起動中のアプリを見る
16.		ファイルマネージャーを開く
17.		すべてのプリインストールアプリを表示
18.	PC*	ソースを内蔵 PC（OPS スロット）に切り替え
19.	DP	ソースを Display Port に切り替え
20.	HDMI FRONT	ソースを HDMI フロントに切り替え
21.	HDMI 1	ソースを HDMI 1 に切り替え
22.	HDMI 2	入力切替：HDMI 2
23.	VGA	入力切替：VGA
24.		VGA 信号用 自動補正画面表示
25.		ブラウザーアプリを開く
26.		ディスプレイのバックライトモード切替
27.		画面ロック機能のオン・オフ切替
28.		システム設定を開く
29.		外部入力メニューを開く

ご注意： (*) OPSスロットにOPSが装着されている場合のみ利用可能です。

設定と設置

壁掛け設置について

壁掛け金具を選定する際は、以下の点に十分ご注意ください。

1. 耐荷重の確認

本製品の質量以上に十分な余裕のある耐荷重性能を有する壁掛け金具を選定してください。耐荷重不足の金具を使用すると、落下や破損の原因となります。

2. 対応規格の確認

本製品の取付穴ピッチ (VESA規格など) に対応した壁掛け金具を使用してください。規格が合わない場合、正しく固定できず危険です。

3. 設置壁面の強度確認

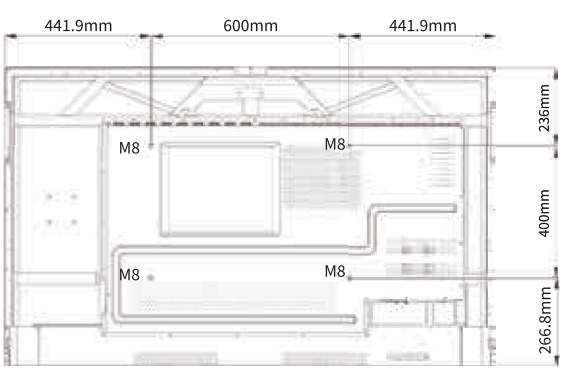
壁掛け金具を取り付ける壁面は、製品および金具の重量に十分耐えられる構造であることを確認してください。石膏ボードのみの壁面など、強度が不足する場所への設置は避けてください。

4. 可動範囲・放熱スペースの確保

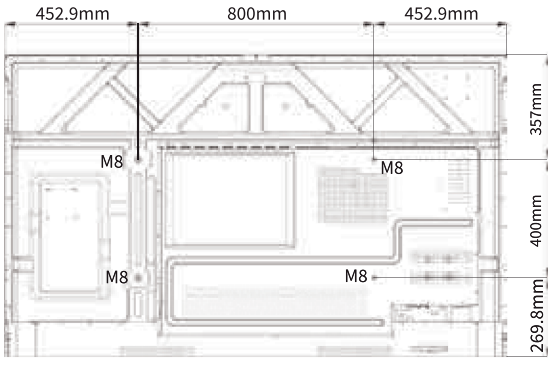
可動式金具を使用する場合は、製品の可動範囲に干渉物がないことを確認してください。また、本体背面の放熱を妨げないよう、十分なスペースを確保してください。

壁掛け金具仕様

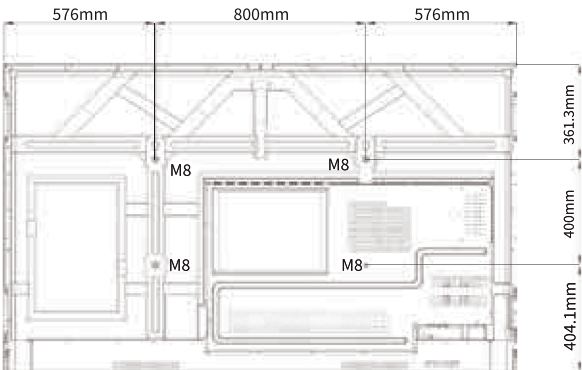
モデル	VESA 規格	ネジの種類と長さ
65 インチ	600 x 400 mm	M8×25L
75 インチ	800 × 400 mm	M8×25L
86 インチ	800 × 400 mm	M8×25L



65 インチ



75 インチ

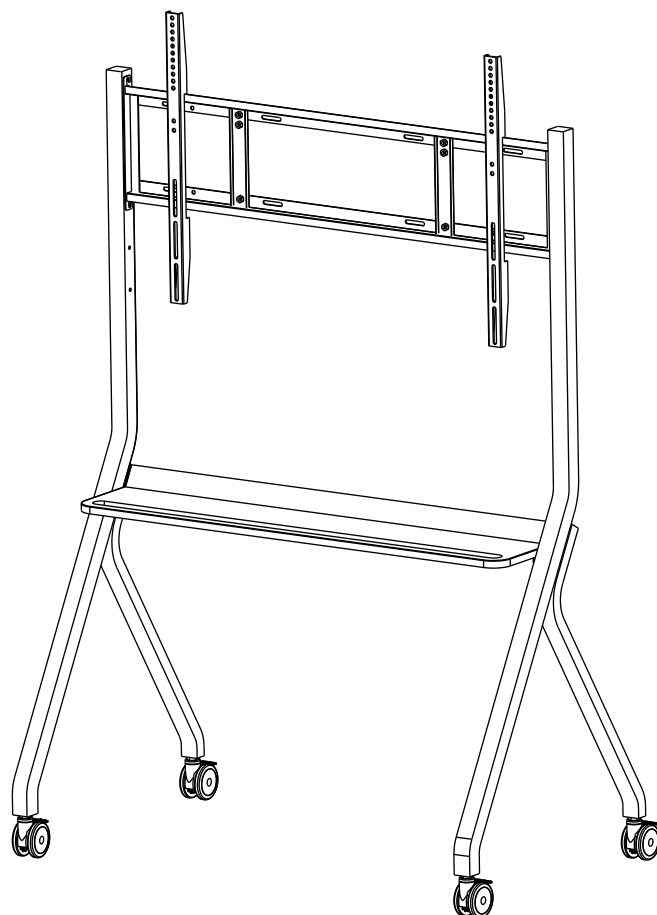


86 インチ

設定と設置

スタンド(オプション)

ST41B



※ 設置方法につきましては、スタンド(ST41B)の設置説明書をご参照ください。

設定と設置

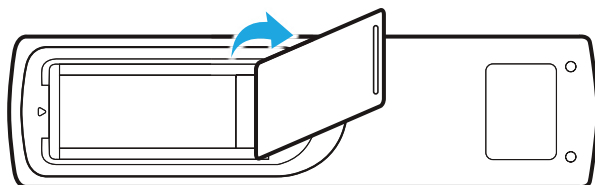
リモコンの使い方

リモコンの電池の取り付け・交換

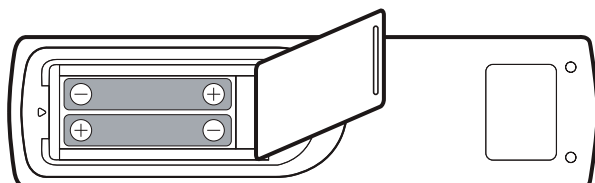
リモコンには単4乾電池が2本付属しています。

重要！ 必ず同じ種類または同等品の電池を使用してください。

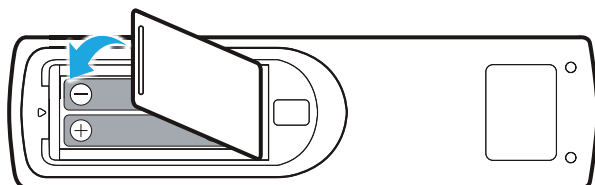
1. 電池ケースのカバーを外してください。



2. 電池ケース内の表示に従い、正しい向き(+/-)で電池を2本入れて下さい



3. カバーを元に戻してください。



注意

電池の誤った取り扱いは、液漏れや爆発の原因となることがあります。必ず下記の指示に従ってください。

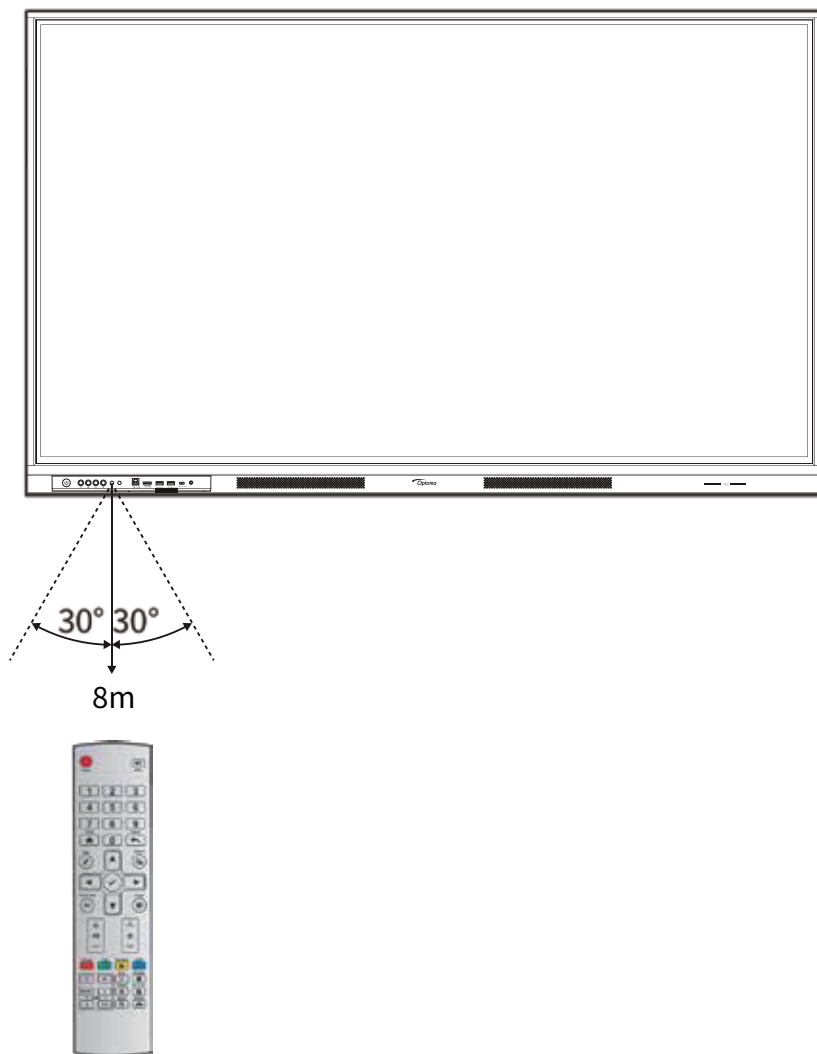
- 異なる種類の電池は一緒に使用しないでください。種類によって特性が異なります。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。混ぜると新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から液漏れが発生する場合があります。
- 電池が切れたらすぐに取り外してください。液漏れした電池が皮膚に触れると、かぶれなどの原因になります。もし液漏れを発見した場合は、布でしっかり拭き取ってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態によって通常より寿命が短い場合があります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池の廃棄は、お住まいの地域や国の法令・規則に従ってください。

設定と設置

リモコンの操作範囲

リモコンをご使用の際は、本機の赤外線受光部に向けて $\pm 30^\circ$ 以内で操作してください。リモコンと赤外線センサー窓の距離は 8 メートル以内にしてください。

- リモコンと本機の赤外線センサー窓の間に、赤外線を遮る障害物がないことをご確認ください。
- リモコンの赤外線送信部が、直射日光や蛍光灯の光によって赤外線が妨げられる場所で使用されていないことをご確認ください。
- リモコンがインバーター型の蛍光灯の近くにある場合、動作が不安定になることがあります。
- リモコンと本機本体が近すぎると、リモコンが正常に動作しない場合や、挙動が不安定になることがあります。



設定と設置

接続方法

電源の接続

1. 電源コードの片方を本機の AC インソケットに接続します。
2. もう一方の端をコンセントまたは電源供給装置に差し込みます。
3. 次に、電源スイッチを ON (I) に設定してください。本機は自動的に待機モードに入ります。

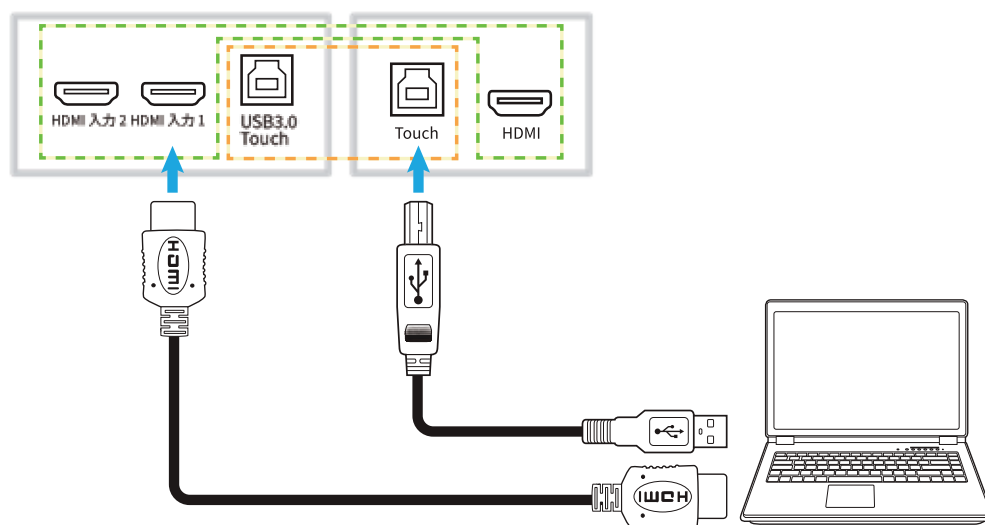


外部機器の接続

重要 タッチスクリーンを利用する際は、USB ケーブルの一方を本機の USB Type-B Touch または USB3.0Touch ポートに、もう一方をお使いの USB Type-A ポートにしっかり接続してください。

HDMI 入力接続

- パソコンと本機を HDMI ケーブルで接続してください。



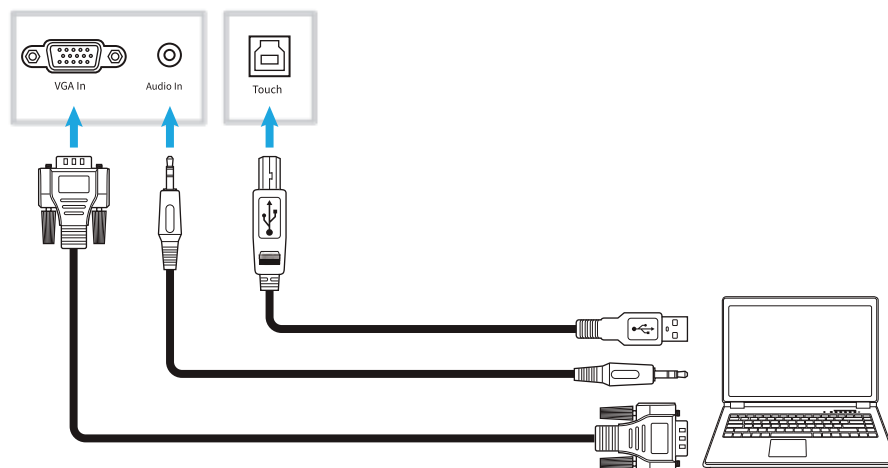
設定と設置

VGA 入力接続

パソコンと本機を VGA ケーブルで接続してください。

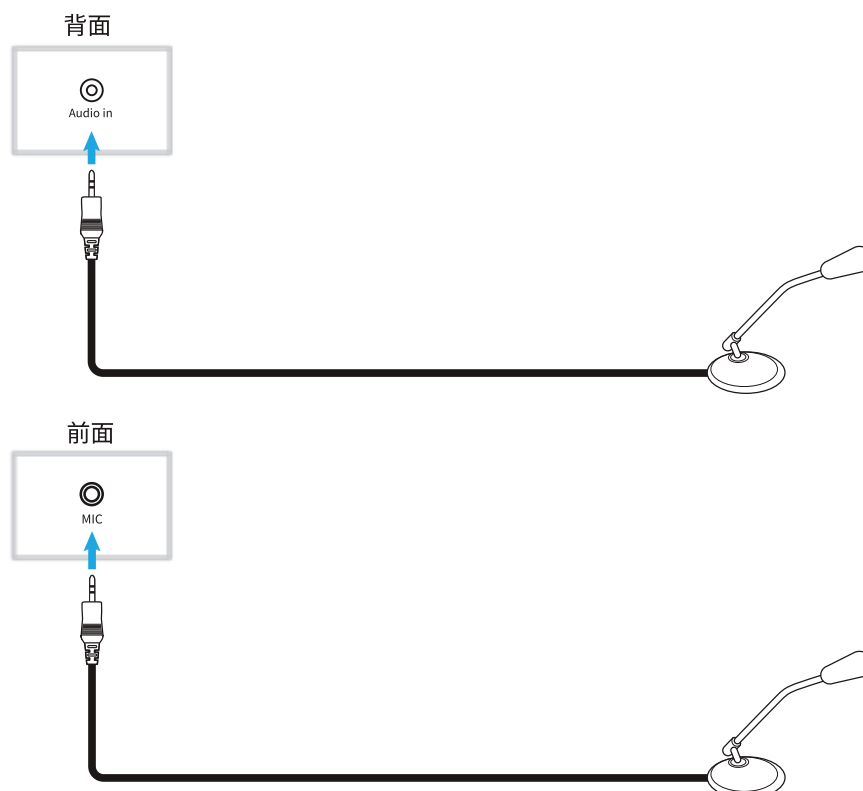
ご注意： 音声入力の場合は、オーディオケーブルの片方を本機の Audio In 端子に、もう片方をパソコンのオーディオ端子に接続してください。

タッチ機能を利用する場合は、USB ケーブルの片方を本機の「Touch」または「USB3.0 Touch」ポートに、もう片方をパソコンの USB ポートに接続してください。



オーディオ入力の接続

外部マイクを本機の背面「Audio In」ポートまたは前面「MIC」ポートに接続してください。



設定と設置

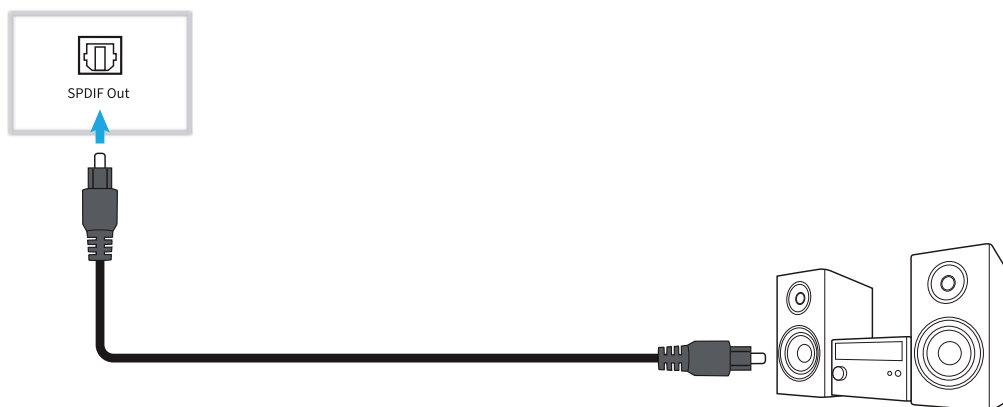
音声出力の接続

外部スピーカーを本機の Line Out 端子に接続してください。



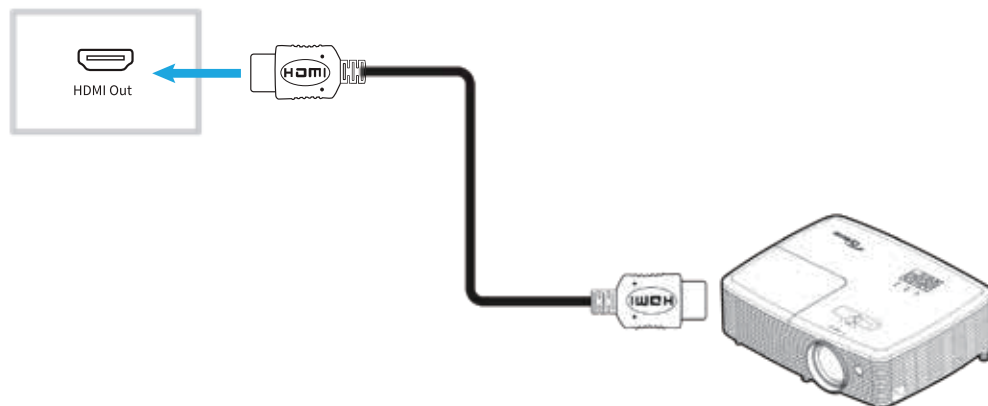
SPDIF 接続

光 SPDIF ケーブルを使って、お持ちのオーディオ機器を本機に接続してください。



HDMI 出力の接続

プロジェクターや他の映像機器を本機の HDMI 出力ポートに接続してください。

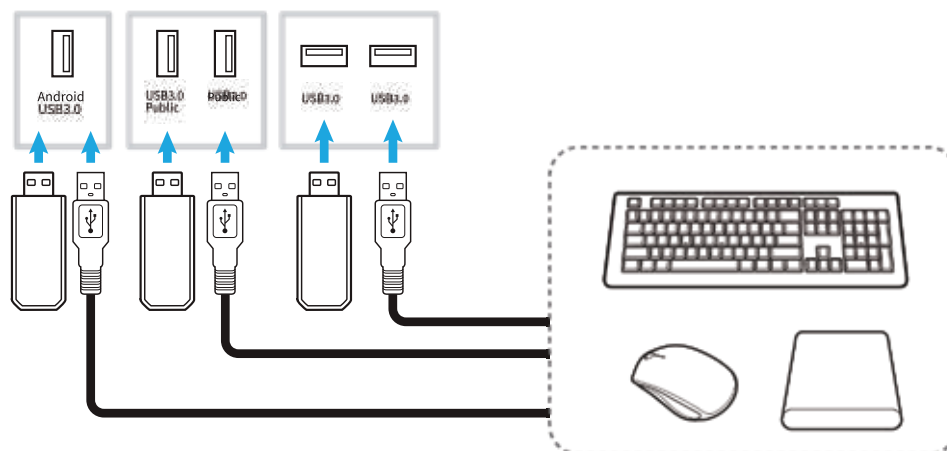


設定と設置

USB 接続

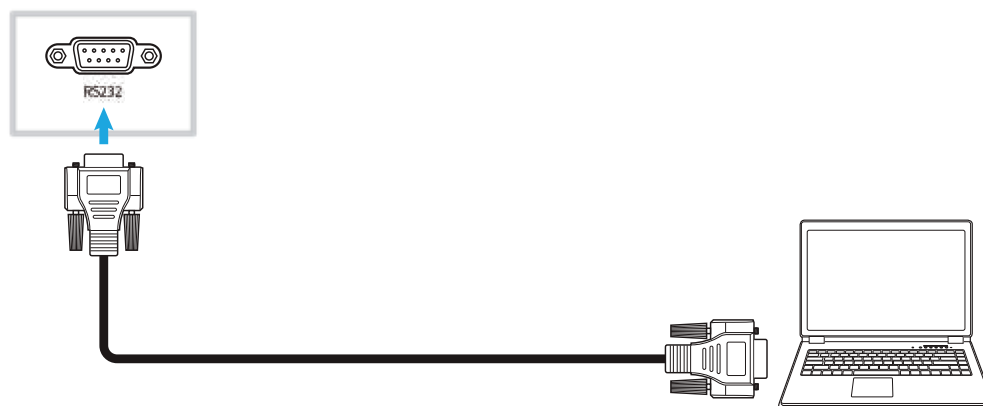
USB ケーブルを使って、USB 周辺機器を 本機 に接続してください。

ご注意： USB メモリの場合は、利用可能な USB ポートに挿すだけで使用できます。



RS232 接続

パソコンを RS232 ケーブルで 本機 に接続してください。



LAN 接続

イーサネットケーブルを使って 本機 をネットワークに接続してください。



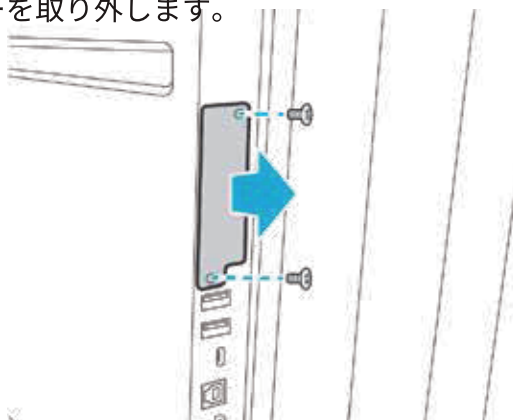
ご注意： ネットワーク設定の方法については、40 ページ「ネットワーク設定の手順」をご参照ください。

設定と設置

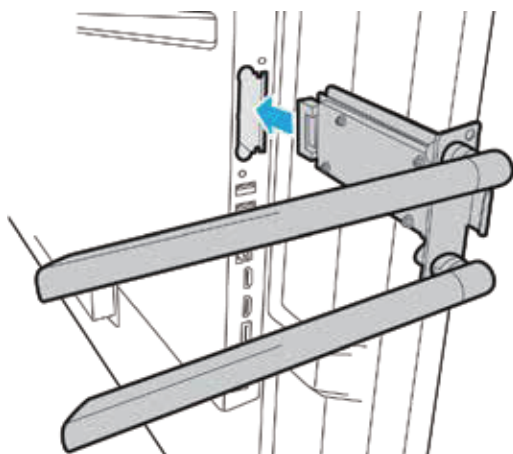
Wi-Fi 接続

Wi-Fi 接続を行うには、本機側面の Wi-Fi ドングルまたはモジュールを取り付ける必要があります。Wi-Fi ドングル／モジュールは、Wi-Fi ネットワークのある場所で信号を受信できます。Wi-Fi ドングル／モジュールを取り付けるには以下の手順に従ってください。

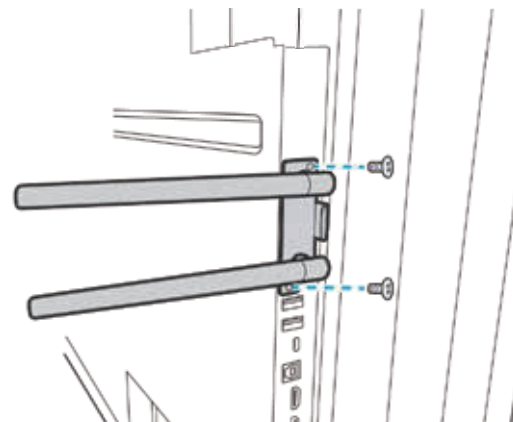
1. Wi-Fi スロットカバーのねじ 2 本を外します。
2. Wi-Fi スロットカバーを取り外します。



3. Wi-Fi ドングル／モジュールを 本機側面の Wi-Fi 専用スロットに取り付けてください。



4. 手順 1 で取り外した 2 本のネジを使用して、Wi-Fi ドングル／モジュールを本機に固定します。



ご注意： Wi-Fi 設定の方法については 46 ページの「ネットワーク設定の構成」をご参照ください。

本機の操作方法

電源のオン／オフ

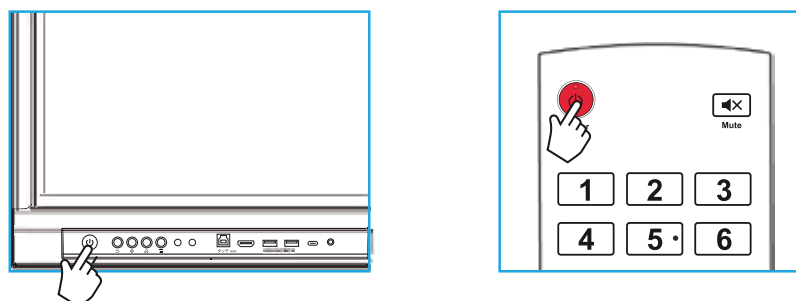
電源を入れる

ご注意：電源コードを正しく接続した後、電源スイッチが ON (I) になっていることを確認してください。



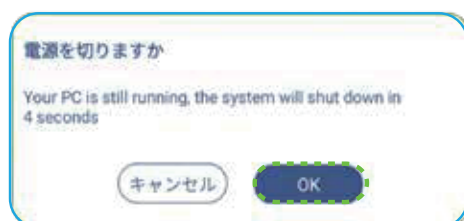
本体の電源ボタンを押して本機を起動します。LED インジケーターが白に点灯し、使用可能な状態になります。

ご注意：また、リモコンの  ボタンを押して本機の電源を入れることもできます。



電源を切る

電源ボタンを 5 秒間長押しすると本機の電源が切れます。表示されたプロンプトで OK を押すとすぐに電源が切れます。または、そのまま 10 秒待つと自動的に電源がオフになります。



LED インジケーターが赤く点灯すると、本機がスタンバイモードになったことを示します。

ご注意：

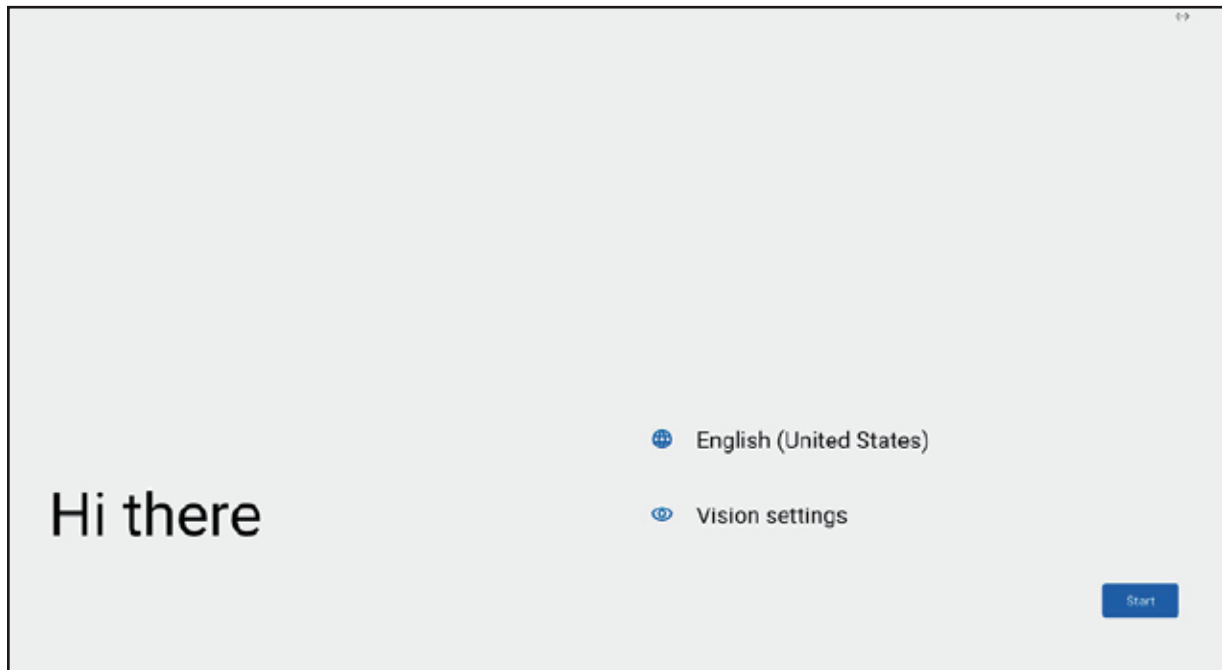
- また、リモコンの  ボタンでも本機の電源を切ることができます。
- スタンバイモード中も本機は電力を消費します。長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておくことを強くおすすめします。

本機の方法

セッアップウィザード

初めて本機の電源を入れると、セッアップウィザードが画面に表示されます。言語や Wi-Fi、セキュリティなどの基本設定を案内に従って進めてください。画面の指示通りに操作して、初期設定を完了しましょう。

ご注意：本機 はタッチパネル式の画面を搭載しています。画面を軽くタップするだけで簡単に操作できます。



基本操作

ホーム画面の概要

本機 を起動するたびにホーム画面が表示されます。



ホーム画面の操作方法：

- 画面上部から下にスワイプすると、クイック設定パネルが開きます。
- 画面を下から上にスワイプすると、すべてのアプリを表示できます。
- オプションを選択するには、目的の項目をタップしてください。
- ホーム画面のレイアウトを変更する場合は、アプリアイコンやウィジェットなどの項目を長押し後そのまま希望の場所へドラッグ&ドロップしてください。
- サイドツールバーを開くには、画面の左右いずれかの端で > または < をタップしてください。
- ホーム画面の背景を長押しすると、壁紙やスタイルの変更、ウィジェットの追加や削除、ホーム画面設定のカスタマイズができます。



ご注意：

- 特に記載のない限り、本セクションでは 本機 の操作方法をタッチジェスチャーで説明しています。
- リモコンでも 本機 の操作が可能です。

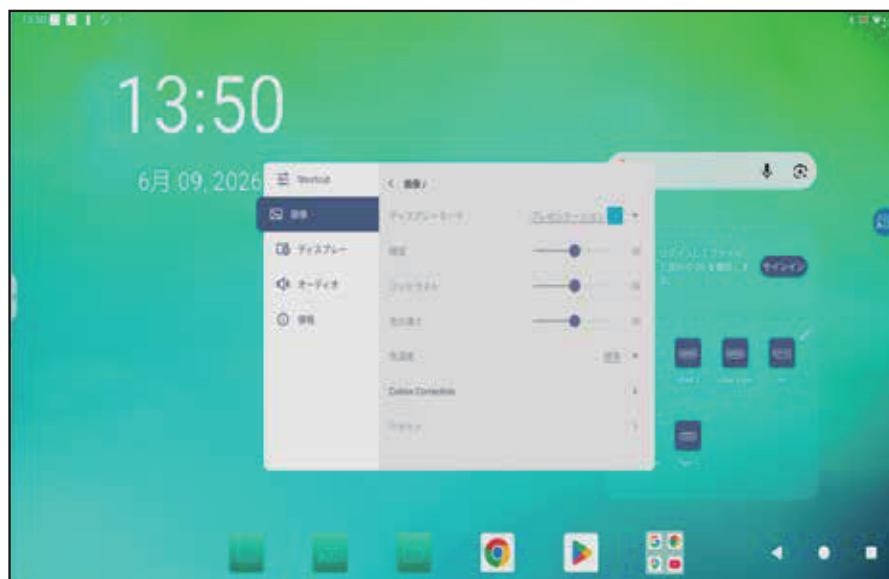
基本操作

OSD メニュー

ご注意：ジェスチャーやその他のナビゲーション方法は、初期設定時や設定メニューで変更した場合、選択したナビゲーションスタイルによって異なります。基本的なナビゲーション設定の変更は、「設定」⇒パーソナライズ⇒ジェスチャーから行えます。

OSD メニューを開くには、次のいずれかの操作をしてください：

- 画面下部から上にスワイプする、または画面左右の「>」または「<」をタップしてサイドツールバーを表示します。次に、 アイコンをタップして OSD メニューを開いてください。



- リモコンのメニュー または ソース ボタンを押します。



- OSD メニューの設定を行うには、画面上のメニュー項目をタッチし、画面上の操作で値を調整するか設定を行ってください。選択されているメニュー項目は青色で表示されます。
- 前のメニューに戻るには、画面上の「<」をタップするか、リモコンの  ボタンを押してください。
- OSD メニューを閉じるには、メニューの外側の画面上をタッチするか、必要に応じてリモコンの  ボタンを続けて押してください。

基本操作

ショートカットメニュー

ショートカット 

このショートカットメニューは OSD の最初のメニューです。次の手順に従ってください：



- 入力ソースを選択します。アクティブな入力ソースには●マークが表示されます。



ご注意：

- 外部機器との接続方法については、「接続」セクションをご覧ください。
- OPS オプションは、PC モジュールが本機 の OPS スロットへ正しく装着されている場合のみ利用できます。

基本操作

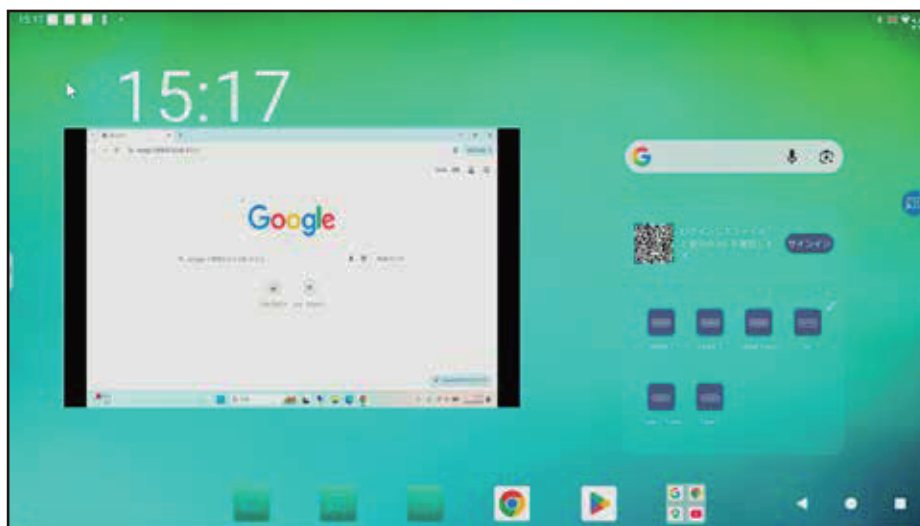
ショートカットメニュー（続き）

- OSD の PIP モードをショートカットメニューから選択すると、画面上に 2 つのソースを同時に表示できます。



ご注意：

- PIP モードを選択する前に、もう一方の入力がパネルに接続されていることを確認してください。
- PIP モードは Android ホーム画面からのみ開始できます。



ウィンドウをタップし、以下から選択してください。

- 入力切替  画面に表示する第 2 ソースを選択します。
- ウィンドウサイズ  第 2 ソースのウィンドウサイズを選択します。
- サウンド  第 2 ソースの音量を調整します。
- 選択可能なサイズは大／中／小です。
- ウィンドウ位置の移動は画面上で好きな場所にドラッグするだけでできます。
- スイッチ  PIP モードを終了し、第 2 ソースに切り替えます。
-  PIP モードを終了し、メインソースのみを表示します。

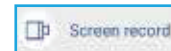
基本操作

ショートカットメニュー（続き）

- OSD の画面録画を選択し、ショートカットメニューからパネル画面や（有効な場合）接続カメラの画面を録画し、複数のプラットフォームでライブ配信が可能です。

ご注意：

- 録画ツールは画面上のお好きな位置にドラッグして配置できます。
- 画面録画機能は Android ソースでのみ使用できます。



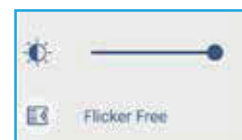
以下のいずれかを選択してください：

- ● 画面の録画を開始します。●を選択してから 3 秒後に録画が開始されます。録画中は、|| を選択すると録画を一時停止し、■を選択すると録画を停止します。録画を停止した後、[保存] を選択すると録画データが保存されます。
- 設定では録画方法のカスタマイズが可能です。接続カメラの録画やマイク機能の有効／無効、好みの動画解像度、保存先の指定ができます。設定後は確認を押して設定を保存してください。



- 閉じるを選択すると録画ツールを終了します。

- 画面の明るさ調整バーを左右にドラッグして、明るさを調整できます。



- 低ブルーライトのスライダーを左右にドラッグしてブルーライトの強さを調整してください。

重要！ 紫外線が目にダメージを与えるのと同様に、ディスプレイから発せられる短波長ブルーライトも眼精疲労や網膜への影響、視力低下の原因となることが報告されています。Optoma の低ブルーライト機能は、ブルーライトを抑えて目を守るための機能です。



重要！ 長時間ディスプレイを使う際に目を守るため、以下の対策をおすすめします。

- 2 時間連続で使用したら、10 分間目を休ませましょう。
- 数時間ごとに、目を上に向けてから大きく円を描くように回しましょう。
- 20 分ごとに 20 秒間、遠くを見て目をリフレッシュしてください。
- 目が疲れたと感じたら、1 分間目を閉じて休みましょう。

ご注意： 快適な視聴のために、フリッカーフリー機能を有効にできます。

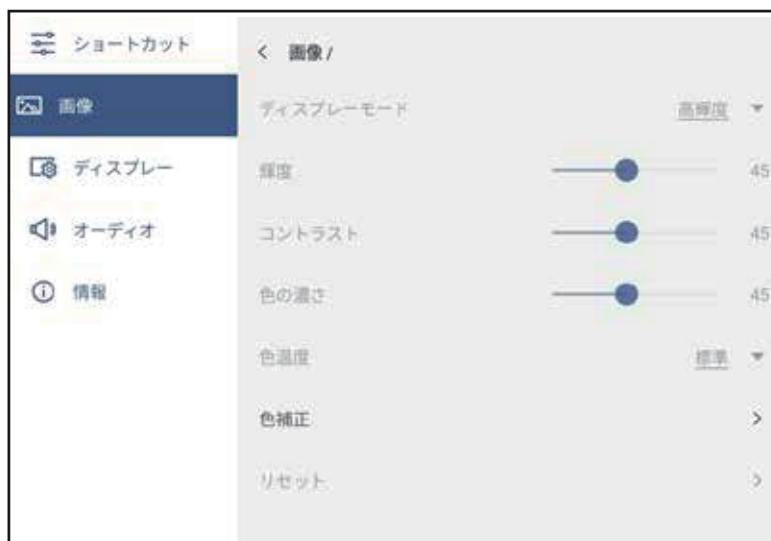
- 音量スライダーを左右にドラッグして音量を調整してください。



基本操作

画像設定の調整

OSD メニューでタップして  イメージメニューを開き、次の手順を進めてください：



ディスプレイをタップし、次のモードから1つ選択してください。
プレゼンテーション/明るさ/シネマ/HDR/ユーザー

ご注意：

- 画像設定は HDMI、VGA、DisplayPort、OPS、Type-C 入力時のみ調整できます。Android ソースでは調整できず、設定項目はグレー表示になります。
- 表示モードをユーザー に設定すると、明るさ・コントラスト・色の設定をお好みに合わせてカスタマイズできます。
- [コントラスト] のスライダーバーを左右にドラッグして、画面のコントラストを調整します。
- [輝度] のスライダーバーを左右にドラッグして、画面の明るさを調整します。
- [色の濃さ] のスライダーバーを左右にドラッグして、白黒から鮮やかな色まで色の強さを調整します。

ご注意：明るさ、コントラスト、色の各レベルは、表示モードが[ユーザー]に設定されている場合のみ調整できます。他の表示モードでは、これらの項目はあらかじめ設定されており、変更できません。

- [色温度] をタップし、次のオプションから選択してください。(標準) / (暖色) / (寒色)
- [色補正] をタップすると、画面の色を自動的に最適化します。
- [リセット] をタップすると、すべての画像設定を初期値に戻します。



基本操作

ディスプレイ設定の調整

OSD メニュータップしてください

 でディスプレイメニューを開き、次の手順を進めます：



- 画面のジッタ(分) をタップし、「オフ」「2」「3」「5」「30」「60」からお好みの設定を選択してください。

ご注意：

- ピクセルシフト機能は、画面の焼き付き防止に役立ちます。
- ピクセルシフトは、Android 以外のすべての入力ソースで利用できます。

- 画面の明るさのスライダバーを動かして、明るさを調整してください。

ご注意： 画面の明るさはショートカットメニューからも調整できます。 ページをご参照ください。

- 低ブルーライトのスライダバーで青色光のレベルを調整できます。

ご注意： 低ブルーライトはショートカットメニューでも調整できます。

詳しくは 27 ページをご覧ください。

- ダイナミックブラックをタップし、利用可能な設定「オフ」「コンテンツに応じて (Android では非対応)」「周囲の明るさに応じて」から選択してください。

ご注意： ダイナミックブラック機能を使うと、明るいシーンは鮮やかに、暗いシーンは深い黒と繊細な明暗により立体的に映像を楽しめます。

- 自動 AV ミュートをタップし、画面のバックライトがオフで音声ミュートされている時の設定「オフ」または「周囲の明るさに応じて」を選択します。
- 自動 AV ミュートタイマーをタップして、AV ミュートのタイマーを設定してください。

基本操作

音声設定の調整

OSD メニューでタップします。

🔊 オーディオメニューを開き、次の手順に従ってください：



- 音響効果をタップし「標準」「Class」「会議」「シアター」「ユーザー」の中から選びます。
ご注意：音響効果設定がユーザーの場合は、お好みに合わせて低音や高音を調整し、音質をカスタマイズできます。
- ミュートをタップすると、音声のオン・オフを切り替えられます。
ご注意：リモコンのミュート  ボタンでも音声のオン・オフが可能です。
- 音量スライダーをドラッグして、音量を調整します。
ご注意：OSD のショートカットメニュー内のボリュームスライダーでも音量調整が可能です。



- 低音スライダーをドラッグして、お部屋に合わせた低音を調整してください。
ご注意：バスとトレブルの調整は、サウンド効果がユーザーに設定されている場合のみ可能です。他のモードでは、これらの値は固定されており変更できません。
- 高音スライダーをドラッグして、お部屋に合わせた高音を調整してください。
- バランススライダーをドラッグして、お部屋に合った音のバランスを調整してください。

基本操作

デバイス情報の表示

OSD メニューでタップします。

 情報メニューが開いたら、次の手順を行ってください：



- ディスプレー をタップすると、表示モード、現在の入力ソース、解像度、色深度、カラーフォーマットが確認できます。
- 情報をタップすると、モデル名、規制モデル名、シリアル番号、ファームウェアバージョン、Android バージョンが確認できます。

基本操作

Android 設定メニュー

設定メニューを開くにはリモコンの  ボタンを押すかホーム画面の [>] または [<] をタップします。
⇒  アイコンをタップしてください。

ご注意：設定の変更は Android モードのみで可能です。



ご注意：

- Android の設定を変更するには、画面上のメニュー項目をタッチし、表示されたコントロールで値を調整または設定してください。選択中の項目は青色で表示されます。
- 前のメニューに戻るには、[<] タップするかリモコンの戻る  ボタンを押してください。
- 設定メニューを閉じるには、画面上のメニュー外をタッチするか、必要に応じてリモコンの戻る  ボタンを繰り返し押してください。

システムのカスタマイズ

設定メニューで  をタップし、カスタマイズメニューを開いて次の手順に進みます。



基本操作

システムのカスタマイズ（続き）

- 壁紙をタップし、あらかじめ用意された画像またはギャラリーの写真から壁紙を選択してください。



ピクチャフォルダーからあらかじめ用意された壁紙を選択すると、すぐに設定が反映されます。オリジナルの壁紙を使いたい場合は、以下の手順に従ってください。

- 壁紙メニューの「カスタム」セクション右側  をタップします。
- ローカルまたは外部ストレージから好きな画像を選択し、OK をタップします。最大100 枚まで画像を追加できます。
- カスタム壁紙がアップロードされたら、使いたい画像をタップするだけで、すぐに壁紙に設定されます。

ご注意：カスタム画像を削除するには、 をタップして削除したい画像を選択し「削除」を押す



- 写真の切り替え：スライドショーの間隔は 5 分から 1 日まで選択できます。初期設定ではスライドショー はオフになっています。

ご注意：ホーム画面上で指一本で長押しするだけで、壁紙の設定が可能です⇒壁紙とスタイル⇒壁紙を変更



基本操作

システムのカスタマイズ（続き）

- [ブートロゴ]をタップして、起動時に表示されるロゴや画像を変更できます。
以下の手順に従ってください
 - a) ブートロゴメニューのカスタムセクション右側にある  をタップします。
 - b) ご希望の画像を端末や外部ストレージから選択し、OK をタップしてください。画像は1枚ずつインポートできます。BMP 形式で、解像度が 1920x1080 または 3840x2160 の画像のみ対応しています。ロゴ画像を取り込んだ後は、画像をタップするとプレビューウィンドウで表示されます。
 - c) カスタムロゴ画像を削除するには、  をタップします。その後、画像を選択して[削除]をタップするか[初期状態にリセット]をタップすると起動時にデフォルトのロゴが表示されます。



- [ブートアニメーション] をタップして、起動時に表示されるアニメーションを変更します。
以下の手順に従ってください。
 - a) [ブートアニメーション] メニューのカスタム欄の右側にある  をタップします。
 - b) ローカルまたは外部ストレージからお好みの動画を選択し、OK をタップします。
動画は 1 ファイルずつインポート可能です。
起動アニメーション動画は MP4 形式、8MB 以下である必要があります。インポート後、動画をタップするとプレビューウィンドウで確認できます。
 - c) カスタム起動アニメーションを削除するには、  をタップします。その後、動画を選択して[削除]をタップするか、[初期状態にリセット]をタップすると起動時にデフォルトのアニメーションが表示されます。



- [名前の入力]をタップすると、名前を変更できる入力ソースの一覧が表示されます。
変更したい入力を選び、新しい名前を入力して「OK」をタップして確定します。



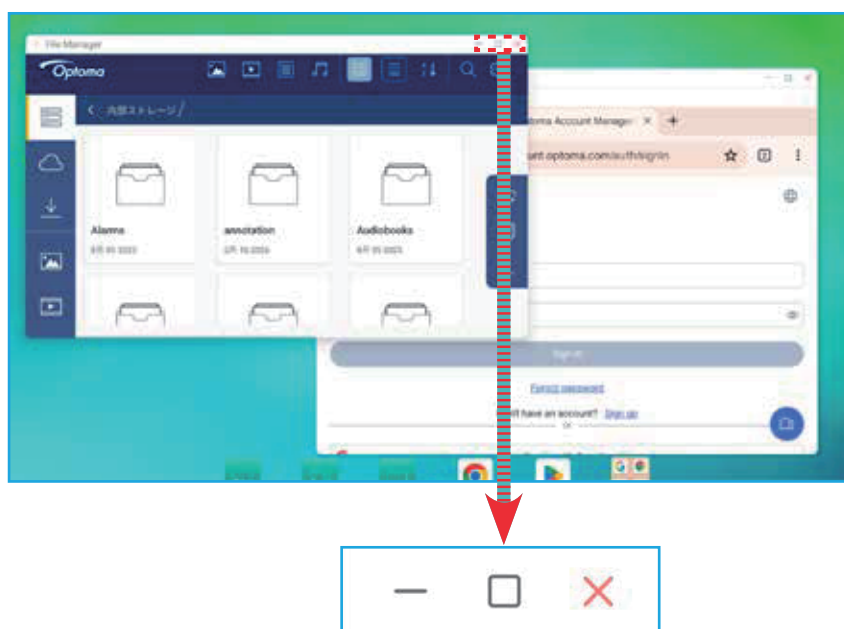
基本操作

システムのカスタマイズ（続き）

- マルチウィンドウモードをタップすると、複数のアプリを同時に画面に表示できます。マルチウィンドウモードを有効にするには、システムの再起動が必要です。この機能を有効にすると、再起動を促すメッセージが表示されます。変更を保存して IFP を再起動するには、再起動をタップしてください。

ご注意：

マルチウィンドウモードを使用するとシステムの処理能力がより多く必要となり、ロード時間が長くなります。



マルチウィンドウモードでアプリウィンドウを管理するには、以下のいずれかの方法をお試しください。

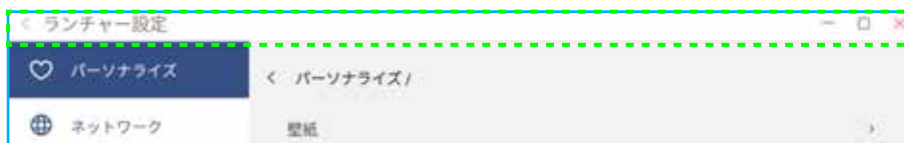
- アプリのウィンドウを好きな方向に動かして、画面上の位置を変更できます。
-  をタップするとアプリウィンドウが最小化します。
-  をタップする、またはアプリウィンドウを画面右端または画面上端へドラッグすると、アプリを全画面表示に切り替えます。
- 全画面表示中は、画面上端から下方向にドラッグまたはスワイプし、 アイコンをタップすると、ウィンドウ表示に戻ります。
-  をタップするとアプリウィンドウが閉じます。

基本操作

システムのカスタマイズ（続き）

- Windows コントロールバーをタップし、マルチウィンドウモードでアプリウィンドウのどの端に表示するかを選択します。選べる位置は「上部」「左側」「右側」です。

上部



右側



- フローティングポイントをタップし、フローティングポイント機能をオンまたはオフに切り替えます。有効にすると、フローティングポイント下部に表示するアプリを自由に選択できます。



フローティングポイント



基本操作

システムのカスタマイズ（続き）

- ジェスチャーをタップし、機能をオンにします。ジェスチャーごとにお好みの操作を割り当てることができます。



- 画面ロックパスワードをタップし、ロック方法を選択します。利用できるオプションはスワイプ、パターン、PIN、パスワードです。ロックを解除したままにしたい場合は「なし」を選択してください。



基本操作

ネットワーク設定の構成

- 「設定」メニュー内でタップしてください🌐でネットワークメニューを開き、以下の手順を進めてください



- Wi-Fi をタップして本機を Wi-Fi ネットワークに接続し、現在の接続状況を確認します。Wi-Fi 機能が有効になっていることを確認してください。利用可能なネットワーク一覧から希望の Wi-Fi を選択し、必要に応じてパスワードを入力します。
- 地域 をタップし、リストから該当する地域を選択してください。

重要！ Wi-Fi に接続する際は、Wi-Fi モジュールが正しくスロットに取り付けられているか確認してください。

ご注意： Wi-Fi とイーサネットは同時に利用できません。どちらかを有効にすると、もう一方は無効になります。



ご注意： ご希望の Wi-Fi ネットワークがリストに表示されていない場合は、🔄 をタップしてリストを更新してください。手動で Wi-Fi ネットワークを入力するには、+ をタップします。

- ポータブルホットスポット 機能を有効にすると、Wi-Fi ネットワークを他のワイヤレス機器と共有できます。必要に応じてネットワーク名やパスワード、AP バンドを設定してください。



ご注意：

- 安全な接続のため、Wi-Fi 暗号化（セキュリティ欄）は WEP/WPA2PSK に設定してください。アクセスパスワードを入力し、OK をタップします。
- ポータブルホットスポットを有効にすると、本機の Wi-Fi 接続は切断されます。必ず対応するイーサネットケーブルで本機がインターネットに接続され、イーサネット設定が完了していることを確認してください。
- [Ethernet] をタップすると、LAN 設定の変更や現在の接続状態を確認できます。IP 設定の項目で、固定 IP (Static) または DHCP のネットワークタイプを選択してください。ネットワークタイプを [Static] に設定した場合は🔧 をタップして、IP アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長などの接続設定を入力します。設定後、[OK] をタップすると設定が保存されます。
- [Proxy Settings] をタップすると、プロキシサーバーを使用したネットワーク接続の設定を行うことができます。

基本操作

ネットワーク設定の構成（続き）

- イーサネット設定を初期化するには、リセットをタップしてください。

重要！有線ネットワークに接続するには、本機が対応するイーサネットケーブルで接続されていることを確認してください。詳しくは 21 ページをご参照ください。

ご注意：Wi-Fi とイーサネット接続は同時には利用できません。一方を有効にすると、もう一方は無効になります。



- Bluetooth をタップすると Bluetooth が有効になり、近くの Bluetooth 対応機器と接続できます。本機は Bluetooth5.x（ワイヤレスモジュールまたは dongle によって異なります。）に対応し、Bluetooth キーボードやマウス、スピーカーなどと接続できます。
次の項目をタップしてください

- デバイス名を選択して新しい名前を入力します。変更を確定するには、プロンプトが表示されたら OK をタップしてください。
- 「利用可能なデバイス」の一覧から接続したいデバイスを選択してください。



ペアリングコードが両方のデバイスで一致していることを確認し、一致していればペアをタップして確定します。



ポータブル
デバイス



ご注意：

Bluetooth デバイスが利用可能なデバイス一覧に表示されない場合は、そのデバイスが本機の近くにあり Bluetooth が有効になっているかご確認ください。🔄 をタップしてリストを更新してください。

- VPN をタップして、VPN プロファイルを追加します。
- ホスト名をタップして、本機の名前を変更します。
- ネットワーク共有（USB 経由）をタップすると、USB-C 接続で他のデバイスと本機のネットワークを共有できます。

基本操作

デバイス設定の構成

設定メニューでタップします  デバイスメニューを開いたら、次の手順を行ってください。



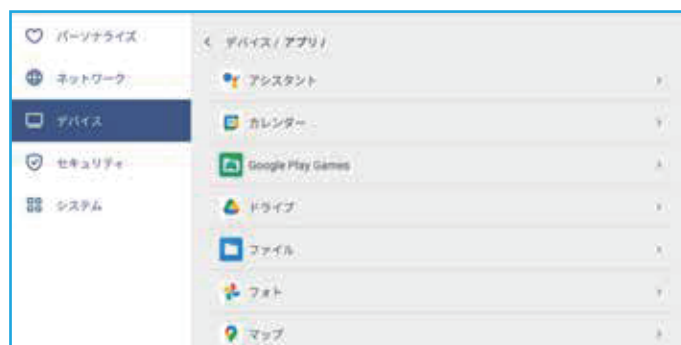
- Device ID をタップし、本機 に新しい数字の ID を割り当てます。確認するには、OK をタップしてください。



- HDMI 出力フォーマットをタップし、HDMI 出力ポートから出力できるフォーマットを選択します。
- 自動ソース切替をタップして、入力ソースの自動切替を有効または無効にします。
- ストレージをタップして、ストレージの使用状況を確認します。



- アプリをタップすると、アプリ情報の確認や、アプリデータ・キャッシュの消去、アプリの強制終了ができます。



基本操作

デバイス設定の構成（続き）

- リストからアプリを選択し（強制停止をタップ）、強制的に停止できます。また、ストレージ使用量やバージョン情報の確認、権限の設定も行えます。



- OMS をタップしてリモート管理設定を行ってください。詳細は「Optoma Management Suite」のセクションをご覧ください。
- その他の設定をタップすると、サイドツールバーの設定、タッチ音のオン／オフ、ナビゲーションバーの設定切替、音声入力・出力の設定ができます。



以下からお選びください

- サイドツールバー設定で、ツールバーの表示タイミングを選択できます：Android のみ、すべてのチャンネル、OPS 以外のすべてのチャンネル、またはサイドツールバーの無効化。サイドツールバーの設定です。
- タッチ音で、画面上の項目をタップした際の音声フィードバックを有効または無効にできます。
- ナビゲーションバー設定で、ナビゲーションバーの設定の有効・無効を切り替えられます。
- 音声入力設定／音声出力設定で、それぞれ音声の入力元・出力先を選択できます。

基本操作

セキュリティ設定の構成

設定メニューでタップしてください  セキュリティメニューを開き、次の手順を行ってください



- 詳細設定をタップして詳細設定メニューに進みます（パスワードが必要です）。パスワードが未設定の場合は、詳細設定用のパスワード作成を求められます。以下の手順に従ってください：

ご注意： このメニューで設定した詳細設定パスワードでディーラーメニューの詳細設定にもアクセスできます。

- a) プロンプトが表示されたら、詳細設定のパスワードを入力してください。詳細設定にアクセスしたら、OKをタップして確定します。



- b) 次の項目から選択してください



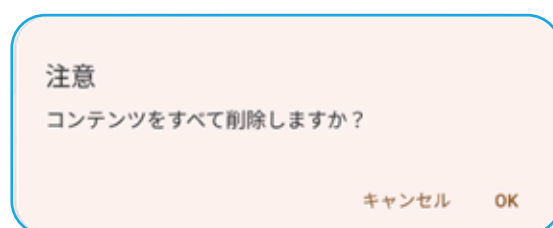
- パスワードの変更：現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを2回入力してください。OKをタップして確定します。



基本操作

セキュリティ設定の構成（続き）

- CA: 信頼された CA 証明書やユーザー証明書の表示・編集などを行います。
- 「信頼された証明書」をタップして、信頼された CA 証明書を表示・編集します。
- 「ユーザー証明書」をタップして、ユーザーが保存した証明書を確認・編集します。
- 「ストレージからインストール」をタップして、ストレージから認証情報を追加します。
- 「すべての認証情報を消去」をタップして、ユーザーの認証情報をすべて削除します。
表示された確認画面で「OK」をタップしてください。



- 権限: 権限の設定
- 「提供元不明」をタップして、提供元不明のアプリのインストールの有効／無効を切り替えます。
- 「Google Play からアプリをインストール」をタップして、Google Play からのアプリインストールの有効／無効を切り替えます。
- 「アプリのアンインストール」をタップして、サードパーティ製アプリの削除の有効／無効を切り替えます。
- 「OSD / ランチャー設定ロック」をタップして、OSD やランチャー設定のロック／解除を行います。
- 「キーパッドロック」をタップして、キーパッドロックのオン／オフを切り替えます。
- 「タッチロック」をタップして、タッチ機能の有効／無効を設定します。
- 「フロント I/O ロック」をタップして、本機 前面パネルの I/O ポートの有効／無効を切り替えます。
- クローン: ランチャー設定のインポート／エクスポート



- 「ランチャー設定のインポート」をタップして、内部または外部ストレージからランチャー設定を取り込みます。
- 「ランチャー設定のエクスポート」をタップして、ランチャー設定を内部または外部ストレージへ保存できます。

基本操作

セキュリティ設定の構成（続き）

ご注意：
本機 は、設定メニューの一部機能のクローン作成に対応しています。OSD メニューの機能はクローン
できません。以下の機能を複製できます：

メニュー項目	機能
パーソナライズ⇒壁紙	• 種類（画像／ダイナミック） • 画像の変更
パーソナライズ⇒起動画面ロゴ	すべての機能
パーソナライズ⇒起動画面アニメーション	すべての機能
パーソナライズ⇒入力名	すべての入力ソース
パーソナライズ⇒マルチウィンドウモード	すべての機能
デバイス⇒HDMI 出力フォーマット	すべての機能
デバイス⇒その他の設定	• サイドツールバー設定 • タッチ音
セキュリティ⇒詳細設定	• パスワード設定 • 権限⇒不明なソース • 権限⇒ Google Play からアプリインストール • 権限⇒アプリアンインストール • 権限⇒OSD/ ランチャー設定ロック
システム⇒日付と時刻	すべての機能
システム⇒言語	すべての機能
システム⇒起動とシャットダウン	すべての機能
システム⇒電源	すべての機能
システム⇒HDMI CEC	すべての機能
システム⇒電源モード スタンバイ	すべての機能
システム⇒アップグレード	すべての機能

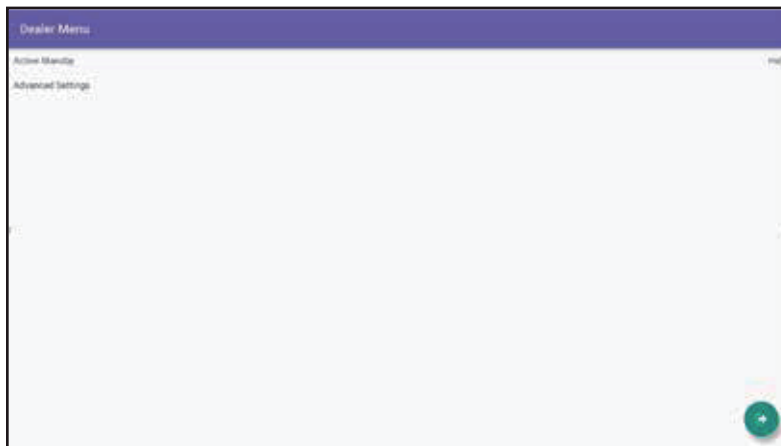
- データワイプ：内部ストレージに保存されたユーザー作成データの自動削除を選択できます。
選択可能なオプションは「しない」「1 日ごと」「1 時間ごと」です。

基本操作

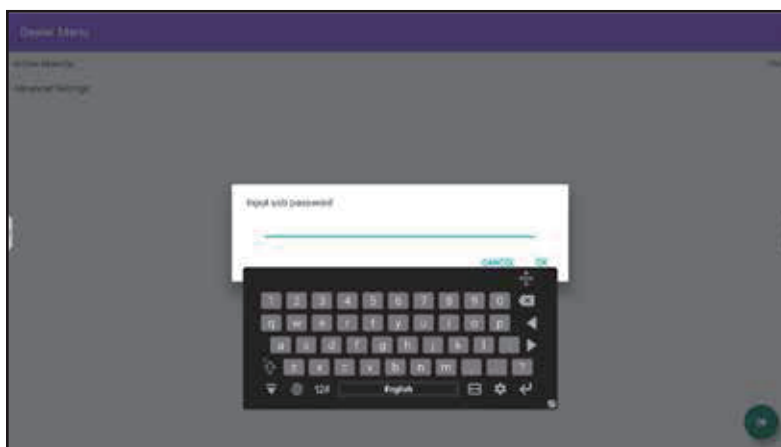
セキュリティ設定の構成（続き）

USB Wi-Fi / USB ディスクの有効化・無効化

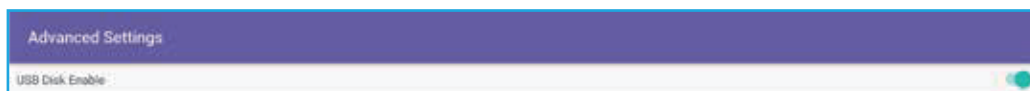
- a) リモコンで Sauce+5+9+8+0 のキーを順番に押して下さい。
ディーラーメニューが表示されます。



- b) 詳細設定 をタップし、パスワードを入力したら OK をタップします。



- c) 「USB Disk Enable」をタップして、USB Wi-Fi または USB ディスクの有効／無効を切り替えます。



ご注意： 設定変更は即座に反映されます。

- d)  をタップしてディーラーメニューを閉じます。

基本操作

システム設定の構成

設定メニューでタップしてください  システムメニューを開き、次の手順を進めてください。



- 日付と時刻をタップして、日付と時刻に関する設定を行います。以下の項目から選択してください。



- 自動日付と時刻をタップすると、日時の自動更新をオン／オフできます。

注意：自動日付と時刻の機能にはネットワーク接続が必要です。

- タイムゾーンを選択・変更して、お住まいの地域に合わせてください。

- 24 時間表示 (13:00) をタップすると、24 時間形式での時刻表示のオン／オフを切り替えられます。

- 言語をタップし、利用可能な言語（ドイツ語、デンマーク語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、ノルウェー語、オランダ語、ポルトガル語、ポーランド語、ルーマニア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ロシア語、アラビア語、簡体字中国語、繁体字中国語）の中から選択できます。検索機能を使えば、リストからお好みの言語をすぐに見つけて設定できます。
- キーボードをタップすると、キーボードの表示や管理ができます。
- 起動とシャットダウンをタップして、本機の起動やシャットダウンに関する設定を行います。以下から設定項目を選択してください。



起動時の入力ソース：本機が起動するたびに使用するが起動するたびに使用するデフォルトの入力ソースを、利用可能なオプション（前回のシャットダウン時の入力、Android、OPS、HDMI フロント、HDMI1、HDMI2、Display Port、Type-C フロント、Type-C、VGA）から選択できます。

基本操作

システム設定の構成（続き）

- 起動後スタンバイ（黒画面）：この機能を有効にすると、本機は起動直後に自動でスタンバイモードになります。
- デフォルト起動アプリを選択すると、本機 起動時に自動で起動するアプリを指定できます。
- タイマー ⇒ **+**
起動・シャットダウンタイマーを設定します。スケジュールを作成するには、次の手順に従ってください。
 - a) 起動タイマーやシャットダウンタイマーを有効にするには、起動タイマーとシャットダウンタイマーの横にあるラジオボタンを選択します。
 - b) タイマーを実行したい時刻と曜日を設定してください。
 - c) OK をタップして、新しい起動・シャットダウンスケジュールを保存します。



- d) タイマーのメニューで新しいスケジュールを有効または無効に設定してください。



ご注意：

- ⓘ をタップしてスケジュールの編集または削除を行います。
- 最大3つまでスケジュールを設定できます。
- 電源オフ通知を閉じるを有効または無効にすると、本機のシャットダウン予定時に自動で通知を閉じるかどうかを設定できます。
- 電源をタップして、電源設定を行います。次のいずれかを選択してください

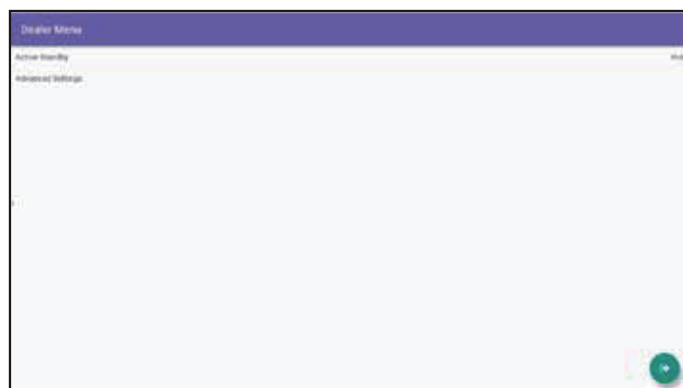


基本操作

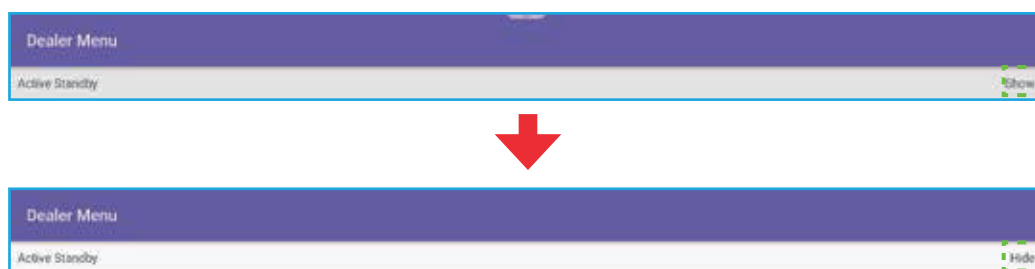
システム設定の構成（続き）

- シグナルパワーオン 入力信号を検出したときに 本機 を自動起動するか無効にするかを設定できます。
- ダイレクトパワーオン 電源に接続された際に 本機 を自動で起動するかどうかを設定します。
ご注意：ダイレクトパワーオン機能は、電源オンタイマーを利用する設置環境に便利です。
- オートパワーオフ 入力信号がない場合に、指定した分数後に自動で 本機 の電源をオフにする時間を選択できます。
- オフ（無効）、1 分、3 分、5 分、10 分、15 分、20 分、25 分、30 分、35 分、40 分、45 分、50 分、55 分、60 分、120 分、または 240 分。
- Wake on LAN LAN 経由で 本機 の遠隔起動を有効または無効にします。
ご注意：Power Mode（スタンバイ）がアクティブに設定されている場合、Wake on LAN は機能せず、表示がグレイアウトされます。
- 電源ボタンの動作 電源ボタンの動作方法を選択します。選択可能なオプションは Google（電源ボタンを長押しして Google アシスタントと会話）または Optoma（本機の電源をオフ）です。
- HDMI CEC をタップして、利用可能なオプション（ディスプレイオンでプレイヤーオン、ディスプレイオフでプレイヤーオフ、プレイヤーオンでディスプレイオン、またはプレイヤーオフでディスプレイオフ）を有効・無効にできます。
- Power Mode Standby をタップして、スタンバイモード（エコまたはアクティブ）を選択します。
ご注意：Power Mode Standby メニューで「アクティブ」オプションを非表示にするには、以下の操作を行ってください。

- a) リモコンで Sauce+5+9+8+0 のキーを押して下さい。
ディーラーメニューが表示されます。



- b) <Active Standby> をタップして、電源モードのスタンバイ設定を変更します。選択が「表示」から「非表示」に切り替わります。



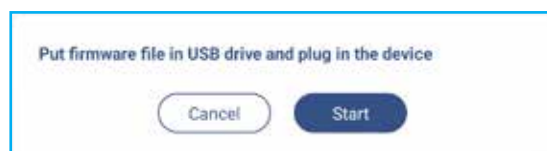
- c)  をタップするとディーラーメニューを閉じます。

基本操作

システム設定の構成（続き）

ご注意：

USB ドライブから 本機 のファームウェアをアップグレードする場合は、まずアップグレードファイルを解凍し、解凍したファイルを USB のルートディレクトリにコピーしてください。USB フラッシュディスクは NTFS または exFAT でフォーマットされていることを確認してください。



重要！

- アップデート中は OTA でも USB ドライブでも、本機 の電源を切ったり USB モジュール／ドングルを外したりしないでください。これらの操作はシステムに損傷を与える可能性があります。
- リーガルをタップすると、利用規約・プライバシーポリシー・クッキーポリシー・オープンソースおよびサードパーティソフトウェアライセンスがご覧いただけます。

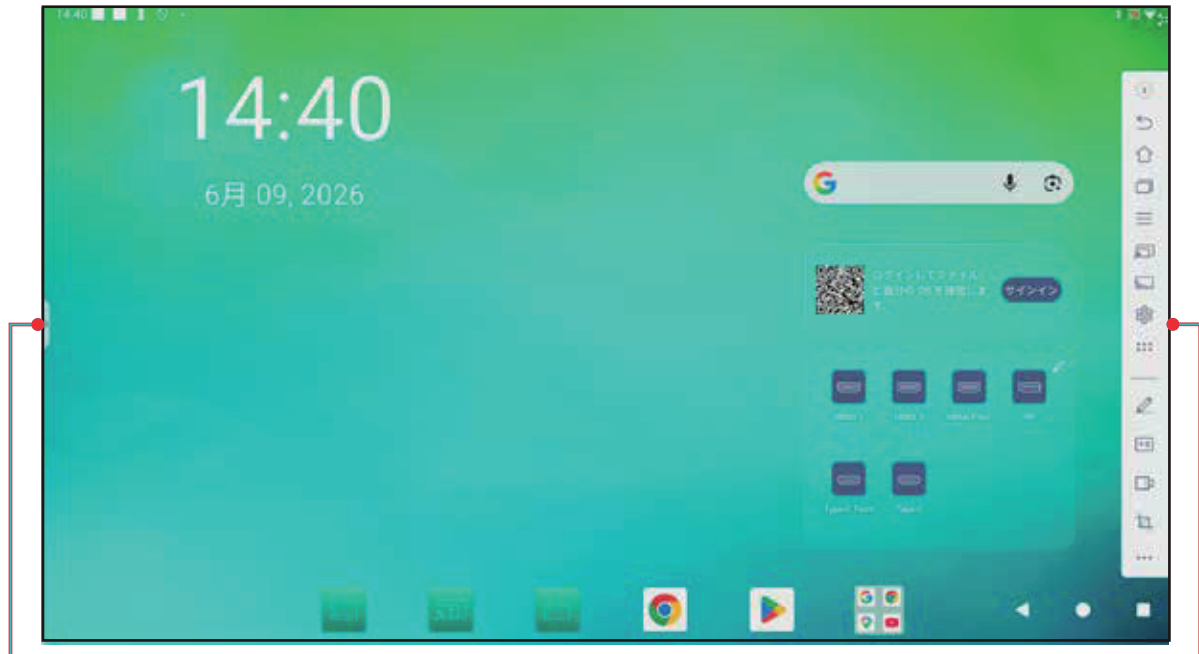


基本操作

サイドツールバー

画面の左右にある>または<をタップすると、サイドツールバーが表示されます。ツールバーを非表示にするには、画面の任意の場所をタップするか、>または<をもう一度タップしてください。

ご注意：画面上で>または<を上下にドラッグすると、ツールバーの位置を変更できます。



サイドツールバーへのショートカット

サイドツールバー

サイドツールバーのアイコンをタップしてください

-  前の画面に戻ります
-  ホームに戻ります
-  最近使用したタスクや現在開いているアプリを表示します。詳しくは 53 ページ「最近のタスクの表示」をご参照ください。
-  OSD メニューを表示します。詳しくは 26 ページ「OSD メニュー」をご参照ください。
-  Display Share を起動します。詳しくは「Display Share」の項を参照してください。
-  ホワイトボードを起動します。詳しくは「ホワイトボード」の項を参照してください。
-  設定メニューを開きます。
-  すべてのアプリを表示・起動します。
-  書き込みアプリを起動します。詳しくは 54 ページ「書き込み」をご参照ください。
-  Classroom Share を起動します。詳しくは 55 ページ「Classroom Share」をご参照ください。
-  録画ツールを起動します。詳しくは 29 ページをご参照ください。
-  画面キャプチャツールを起動します。
画面の画像をキャプチャして保存したり、ホワイトボードのセッションに挿入したりできます。
詳しくは 61 ページ「画面キャプチャツール」をご参照ください。
-  フリーズ、ストップウォッチ、タイマー、スポットライト、画面ロック、電卓などの追加ツールを表示します。

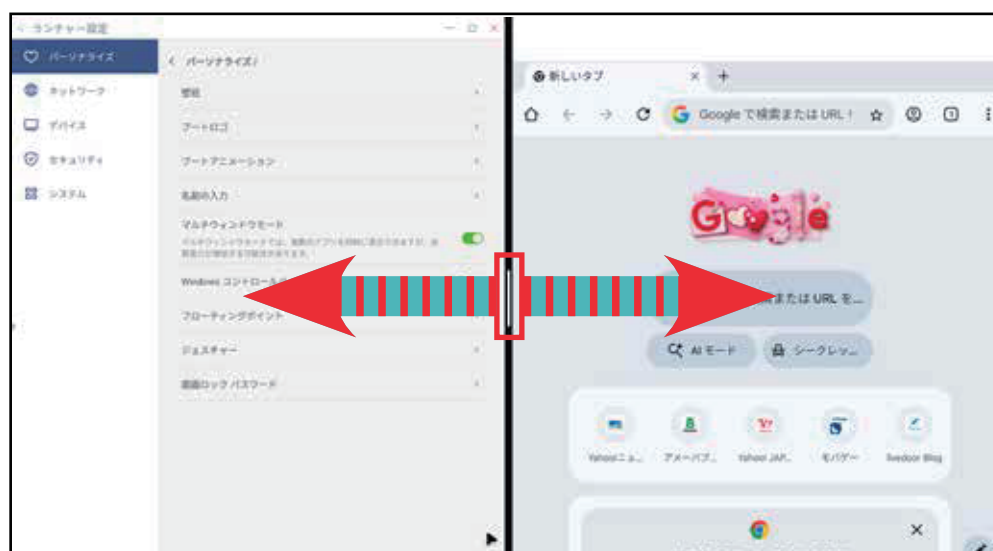
基本操作

最近のタスクの表示

>をタップまたは<または  をタップまたはリモコンで  キーを押すと開いているすべてのアプリを表示・管理 できます。



- 起動したいアプリをタップしてください。
- アプリを終了するには、アプリウィンドウを上端に向かってスワイプしてください。
- リストをすべて消去するには、すべてクリアをタップします。
- 画面の画像を保存するには、スクリーンショットをタップしてください。
- 2つのアプリを分割画面で表示するには分割をタップします。まず1つ目のアプリを選択し、次に分割をタップし、2つ目のアプリを選んでください。分割モードを終了するには、中央のラインをタップして左端にドラッグすると右側のアプリが全画面表示になり、右端にドラッグすると左側のアプリが全画面表示になります。



基本操作

書き込み

>⇒ をタップしてで  書き込みアプリを起動します。



このモードでは、以下の操作ができます：

-  画面に文字やイラストを描くことができます。
ご注意： タップしてペンの色を変更できます。  新しい色を選択してください。
-  画面上のアイテムを強調表示します。
ご注意： タップしてマーカーの色も変更できます。  新しい色を選択してください。
-  書き込みの一部を消去します。
-  画面上のすべての書き込みを消去するには、タップしてください。
ご注意： 手のひらを使って文字や描画部分を消すこともできます。



- 画面全体のスクリーンショットを保存するには、 をタップします。
- 書き込み内容をほかの無線デバイスに共有するには、 をタップします。
- お使いの無線デバイスが本機と同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認し、デバイスで QR コードをスキャンしてください。



- ホワイトボードセッションに書き込みを挿入するには、 をタップします。
- 書き込みモードを終了するには、 をタップします。

基本操作

Classroom Share

- > ⇒ **1+2** をタップして Classroom Share を起動します。
オンライン教室のアクセスコードと URL が画面に表示されます。

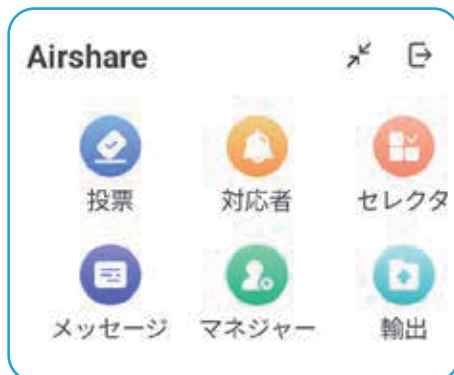


リモートでバーチャル教室に参加するには、次の手順を行ってください：

1. 本機を利用可能なネットワークに接続します。
重要！ オンラインセッション中は常にインターネットに接続されていることを確認してください。
2. ウェブブラウザで教室の URL を開き、アクセスコードを入力するか、QR コードを読み取ってください。その後、名前を入力し、Enter をタップして、クラスに参加します。



3. 本機で Enter をタップすると、クラスセッションが開始されます。Classroom Share の画面が表示されます。



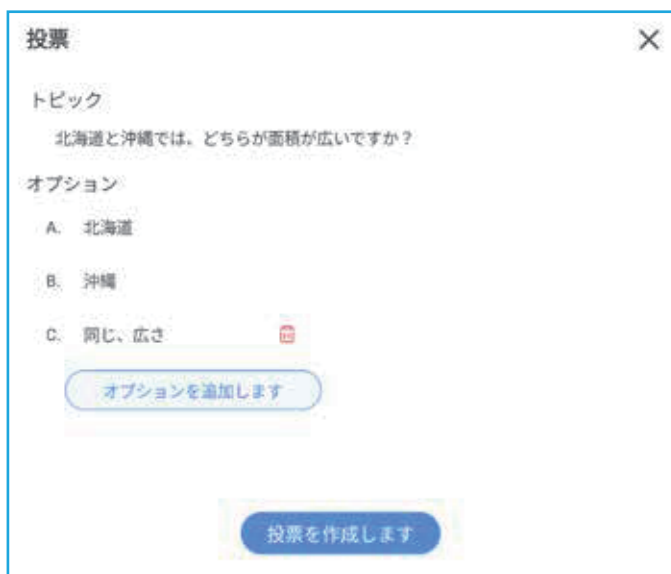
基本操作

Classroom Share (続き)

クラスルームシェア画面で次のいずれかをタップします：

a. 投票

1. 投票をタップして投票機能を開始します。
2.
 - トピックを入力してください。
 - オプションに選択支を2つ入力してください。+オプションを追加でさらに選択肢を追加、または  で不要な選択肢を削除します。
3. 「投票の作成」をタップして選択肢を保存します。



4. 「スタート」をタップすると、参加者が質問に回答できるようになります。
5. 参加者は、モバイル端末の画面で答えを選び、OK をタップして回答できます。



基本操作

Classroom Share (続き)

6. 回答セッションを終了するには、終了をタップしてください。結果は画面に表示されます。回答結果の表示形式は、棒グラフまたは円グラフから選択できます。
7. 必要に応じて、回答統計画面で正しい答えをタップし次に完了をタップします。

投票

北海道と沖縄ではどちらの面積が広いですか？

ハイ バイ

A.北海道 1 Votes 100.0%

B.沖縄 0 Votes 0.0%

C.どちらも同じ広さ 0 Votes 0.0%

正しい答えを選択してください

A B C

完了

注意：投票結果をエクスポートするには、Classroom Share 画面でエクスポートをタップしてください。結果は内部ストレージのフォルダに XLS ファイルとして保存されます。

- リセットをタップすると、新しい投票が始まります。
- × をタップして、回答統計ページを閉じます。

b. 応答

1. 応答をタップしてレスポンスモードに切り替えます。
2. 参加人数を選択し、開始をタップすると、回答モードが始まります。

対応者

生徒数を選択してください

- 1 +

00:00

始める

基本操作

Classroom Share (続き)

- 機能が有効になると、最初にタップした人が回答する権利を得ます。回答したい参加者は、モバイル端末の画面で応答をタップしてください。



- 回答セッションを終了するには、終了をタップします。
「リセット」をタップすると、再び回答モードが開始されます。



c. セレクター

- 「セレクター」をタップしてセレクターモードに切り替えます。
- 選択する参加者の人数を決めて下さい。次に「スタート」をタップすると参加者が選ばれます。



基本操作

Classroom Share (続き)

3. 選択された参加者の名前が画面に表示されます。
4. リセットをタップして、さらに参加者を選択します。



d. メッセージ

1. メッセージをタップします。次に「設定」をタップし、メッセージ機能のオン・オフやメッセージカラーの選択を行います。受信したメッセージの履歴を確認するには「一覧」をタップしてください。



基本操作

Classroom Share (続き)

2. モバイル端末でメッセージをタップし、メッセージ画面に切り替えます。コメント欄に内容を入力し、送信をタップしてください。



送信したメッセージは本機画面に表示されます。



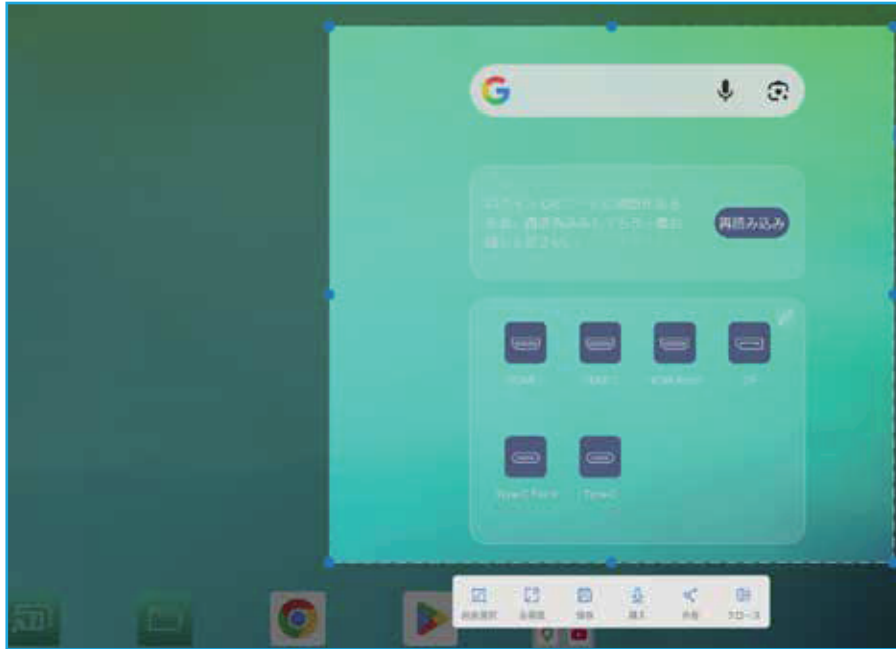
ご注意：

- 「マネージャー」をタップすると、クラスのアクセスコード、URL、QRコードが表示され、さらに参加者を追加できます。
- Classroom Share ウィンドウを最小化します。ウィンドウを最大化します。
- Classroom Share を終了します。確認画面に従い「終了」か「キャンセル」を選択します。

基本操作

画面キャプチャツール

画面端の > でメニューを表示し  またはリモコンの  ボタンを押して「スクリーンキャプチャツール」を起動します。



画面をキャプチャするには：

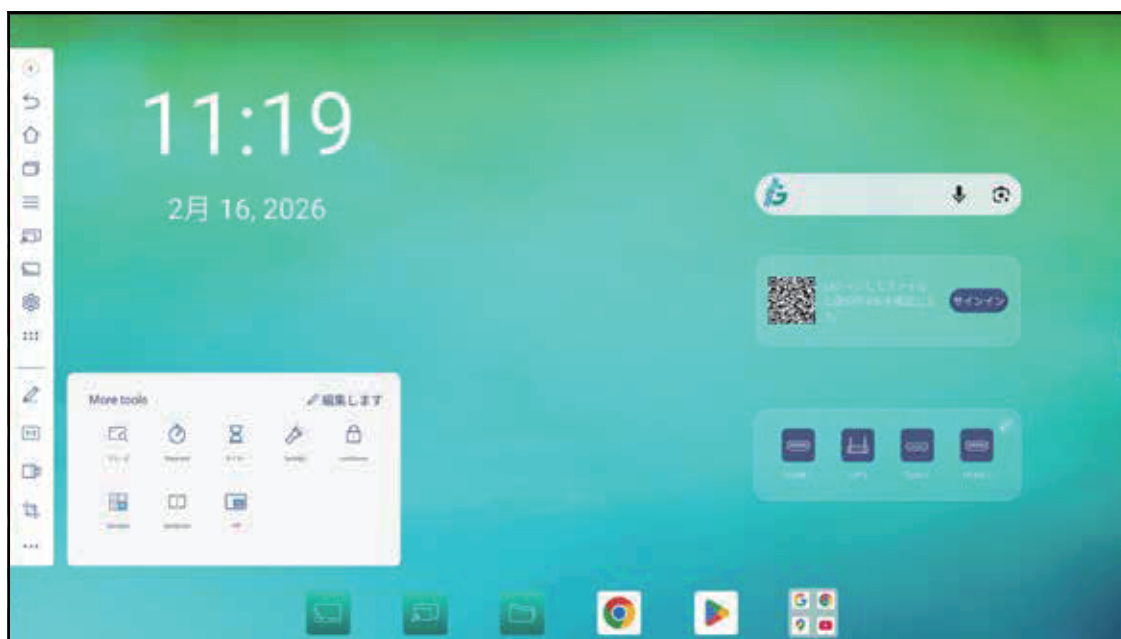
1. 「Freedom」または「全画面」をタップして、範囲を自由に選択するか、画面全体をキャプチャできます。
2. 「Save」をタップするとスクリーンショットを保存でき「Insert」をタップするとホワイトボードセッションに直接挿入できます。
3. 「クローズ」をタップすればツールを終了します。

基本操作

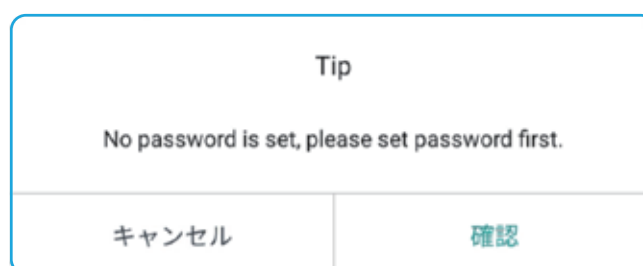
その他のツール

画面端の > でメニューを表示し  をタップすると追加ツールにアクセスすることができます。

フリーズ、Stopwatch、タイマー、Spotlight、LockScreen、Calculator(電卓)、SplitScreen(画面分割)、PIP



-  フリーズをタップすると画面をフリーズ (静止) します。その後、 をタップして拡大、 をタップして縮小できます。元の画面に戻すには、 をタップしてください。最後に  をタップしてツールを終了します。
-  Stopwatch(ストップウォッチ) をタップするとストップウォッチを使用できます。
-  タイマーをタップするとタイマーを使用できます。
-  Spotlight(スポットライト) をタップするとスポットライト機能が有効になります。スポットライトは画面の特定の部分に視線を集中させるために使用できます。
-  LockScreen 画面をタップするか、リモコンの  (Sc.Lock) ボタンを押すと画面がロックされます。画面ロックのパスワードが設定されていない場合は、設定画面が表示されますのでパスワードを設定してください。



-  Calculator(電卓) をタップすると電卓を使用することができます。

基本操作

その他のツール（続き）

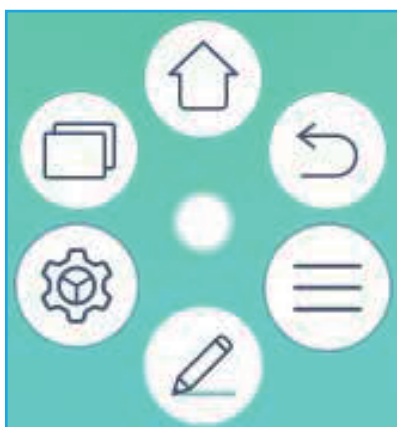
サイドバーに表示されるツールをカスタマイズするには画面端の > から ... をタップし「編集します」をタップします。次にサイドバーから削除したいアイコンの横にある + をタップし、追加したいアイコンの横にある - をタップしてください。

「その他のツール」ウィンドウから最大4つまでのツールをサイドバーに追加できます。



フローティングメニューツールバー

2本の指を1センチほど離して画面に長押しすると、フローティングメニューツールバーが表示されます。



-  前の画面に戻るには、こちらをタップします。
-  ホーム画面に戻るには、こちらをタップします。
-  最近使用したアプリを表示するにはタップします。画面を左右にスワイプして開いているアプリを切り替えられます。すべてのアプリを終了するには「Clear All」をタップしてください。
-  設定メニューを開くには、こちらをタップします。
-  注釈アプリを起動するにはこちらをタップします。
-  OSD メニューを開くにはこちらをタップします。
-  画面中央の○をタップしてでドラッグするとフローティングメニューツールバーを画面上の任意の位置へ移動できます。

基本操作

ホーム画面の便利な機能

ホーム画面を長押しすると、壁紙とスタイルの変更、ウィジェットの追加、ホームの設定ができます。



- 壁紙とスタイルをタップすると、ホーム画面の壁紙変更、ダークテーマやテーマアイコンの切り替え、アクセシビリティやセキュリティ・プライバシー、位置情報の設定、パスワードやアカウント管理、デジタルウェルビーイングや保護者による管理、Google サービスや設定のカスタマイズ、高度な機能やシステム設定、デバイス情報の確認ができます。



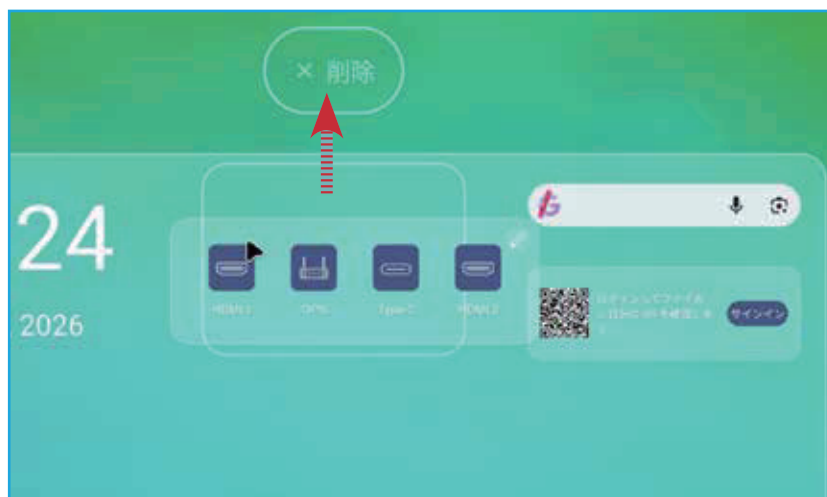
- ウィジェットをタップして、ホーム画面にウィジェットを追加しましょう。ウィジェットを検索したり、リストから選択したりできます。追加したいウィジェットを長押しして、ホーム画面にドラッグしてください。



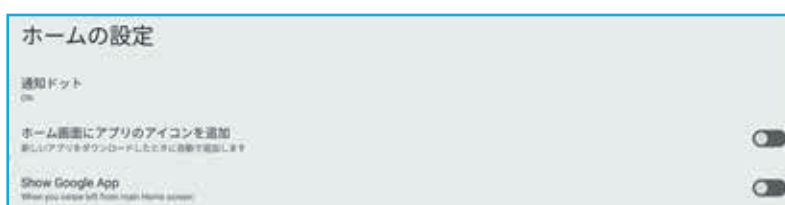
基本操作

ホーム画面の便利な機能（続き）

ご注意： ウィジェットを削除するには、ウィジェットを長押しし、「削除」と表示される画面上部にドラッグし、指を離してください。



- ホーム設定をタップすると、通知ドットの表示やアプリアイコンの追加を有効・無効にできます。



クイック設定パネル

画面の上端から下にスワイプすると、クイック設定パネルが表示されます。

クイック設定パネルでは、画面の明るさを調整したり、クイックアクセス設定へのアクセス、アカウント設定 (👤)、設定メニュー、(⚙️) の表示、本機の電源オフまたは再起動 (🔌) 及びその通知が行えます。

ご注意： クイックアクセス設定パネルの管理は、✎ をタップして操作できます。



クイック設定パネルを閉じるには、上方向にスワイプしてください。

基本操作

入力ソースショートカットの管理

ホーム画面で入力ソースショートカットを管理するには、 をタップしてください。
最大4つまでの入力ソースショートカットを追加できます。

デフォルトのショートカットを変更するには、まず削除したいショートカットをタップし、次に追加したいショートカットをタップします。

ホーム画面に表示されているショートカットには、緑色の丸印がついています。

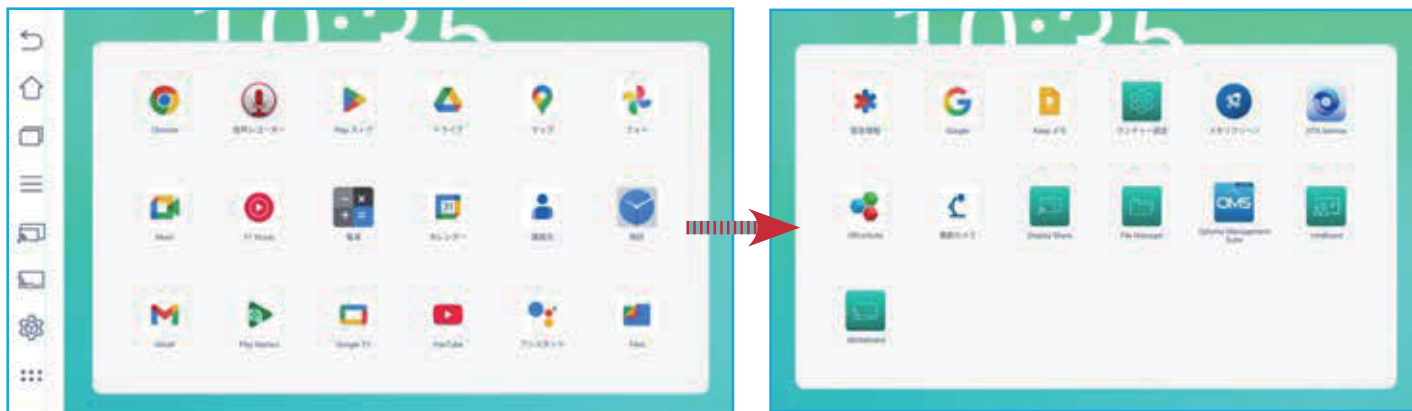
ショートカットの配置が完了したら「保存」をタップして変更を保存するか、変更せずホーム画面に戻る場合は「キャンセル」をタップしてください。



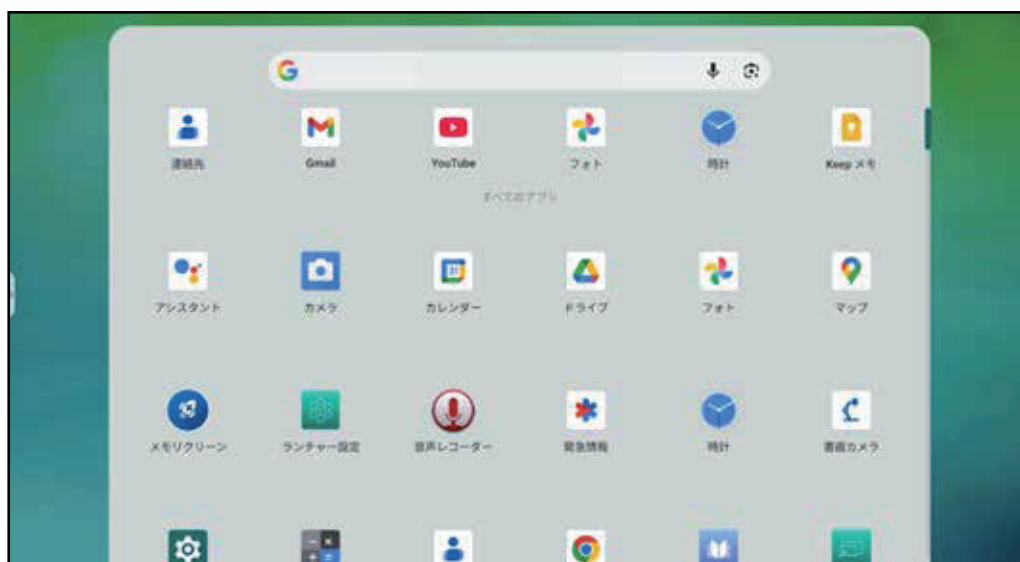
アプリの使い方

すべてのアプリを表示するには、以下のいずれかの方法をお試しください：

- サイドツールバーの **☰** をタップします。その後、画面を左右にスワイプしてアプリ画面のページを切り替えます。



- 画面を上方向にスワイプするリモコンの **⬆** ボタンを押します。上下にスワイプするか、リモコンを使用してインストールされているすべてのアプリをスクロール表示できます。



ご注意： Google play ストア以外からサードパーティ製アプリをインストールする場合は、まずは提供元不明のアプリを有効にする必要があります。設定は、セキュリティ⇒詳細設置メニューから行えます。「セキュリティ設定の構成」(44 ページ) もご参照ください。

その後、ダウンロードした APK (Android パッケージ) ファイルをシステムにインストールできます。

重要！ Optoma では Google Play ストアで認証済みのアプリのみをインストールすることを推奨していますが、本機が他のアプリと互換性があること保証できません。搭載されている Android14 オペレーティングシステムや本機は、すべてのアプリに対応しているわけではありません。すべてのアプリがすべてのデバイスで動作するとは限りません。Optoma はサードパーティ製 Android アプリの互換性に関して責任を負いません。サードパーティ製アプリは品質にばらつきがあり、悪意のあるコードが含まれている場合もあります。これにより、システムの安全性が損なわれたり、製品保証が無効になる可能性があります。Optoma は、サードパーティ製アプリの品質・安全性・適合性や、Optoma インタラクティブフラットパネルとの互換性について一切の保証をしません。インタラクティブフラットパネルにサードパーティ製アプリをインストールしたことによる損害、故障、機能低下、セキュリティの問題について、Optoma は責任を負いません。サードパーティ製アプリのインストールに起因する問題のサポートは有料となり、対応範囲が限られる場合があります。記載内容は作成時点の情報であり、変更される場合があります。

アプリの使い方

Whiteboard(ホワイトボード)

ホワイトボードは、チームでアイデアを出し合い、図を描き、いつでもどこでも協力できるオンラインの共同作業プラットフォームです。

ご注意：機能の詳細な説明については、
<https://onlinemanual.optoma.com/whiteboard/> をご参照ください。



ホーム画面の  アイコン、サイドツールバーの  アイコンをタップするか、リモコンの  Note ボタンを押すとホワイトボードを起動できます。



アプリの利用を始めるには、次の手順で操作してください。

1. 「新しいセッションを作成」タブをタップし、コンテンツに使用する背景やテンプレートを選択します。

ご注意：クラウド上のセッションにアクセスするには、ホワイトボード にログインしてください。

- 最近のセッションを開くには、「ホーム」タブ内の「最近」カテゴリから続けたいセッションを選択してください。
- クラウド保存の共同作業セッションや、ローカル保存の非共同作業セッションを開く場合は、「あなたのセッション」カテゴリから目的のセッションを選択してください。

2. 「作成」をタップし、下記の表に記載された各種アクティビティを利用できます。

ご注意：フローティングツールバーには、Whiteboard アプリの主な機能が集約されています。詳細はこちらをご覧ください。

項目	説明
 フローティングツールバーを移動	画面上でタップ&ドラッグ、または長押しして、フローティングツールバーをお好みの位置へ動かせます。 
 フローティングツールバーを最小化	 アイコンをタップするとフローティングツールバーを最小化します。  アイコンをタップするとフローティングツールバーが再び表示されます。

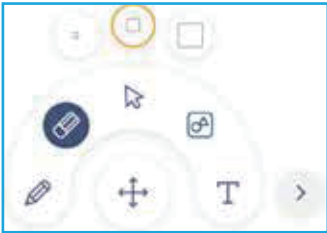
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目	説明
 /  ペン先の オプション	自由な線を書いたり描いたりできます。 タップして好きな線の色や太さを選択してください。  ペン先のオプションをさらに表示するには、 をタップしすべての利用可能なオプションを確認してください。  カラーパレットを変更する場合は、 タップしてください。 テーマに合わせて、または個別に5色のパレットカラーを選択できます。  重要！ バーチャルホワイトボードを傷つけないようご注意ください。書いたり描く際は、付属のタッチペンまたは指のみをご使用ください。 ご注意： • タッチペンには、細いペン先とペン先が付属しています。 どちらのペン先（ / ）を使っているかホワイトボードは自動で検知します。 • 仮想ホワイトボードに指で書いたりすると「太いペン先」と認識されます。

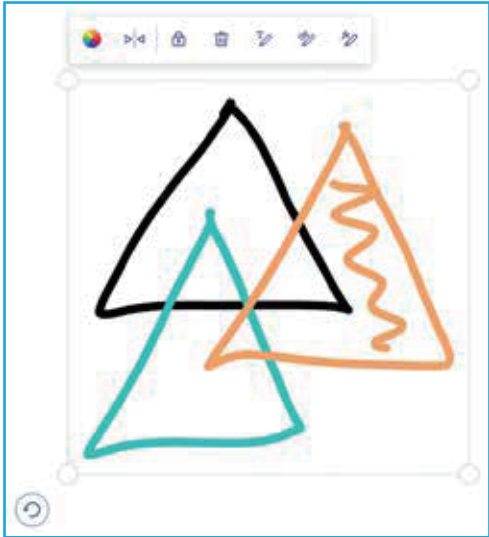
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	消しゴム	手書き文字や描画の一部を消したいときは、消しゴムのサイズを選択し、消したい部分をペン先や指でなぞってください。  ご注意：ホワイトボード上のオブジェクトは、手のひらや握ったこぶしの背でも消すことができます。 

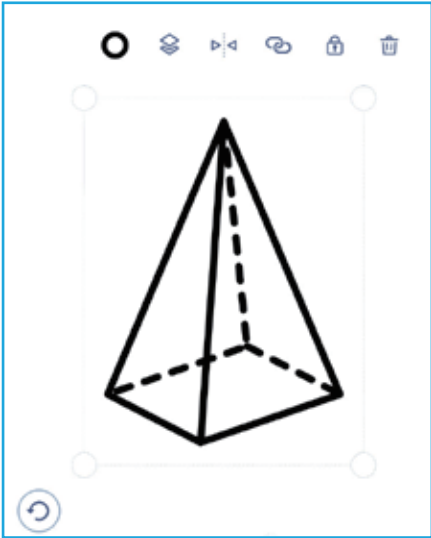
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	選択	ホワイトボード上のオブジェクトを選択し、下記のいずれかをタップしてエリアを編集できます。  •  （境界点）をドラッグして拡大・縮小。 •  自由回転を使用。 •  色を変更。 •  90 度回転。 •  オブジェクトと位置をロック。 •  削除。 •  テキストや記号を検出。 •  図形を認識します。 •  数式を認識します。
	図形	希望する 2D・3D 図面を直接またはカテゴリから選んでください。 

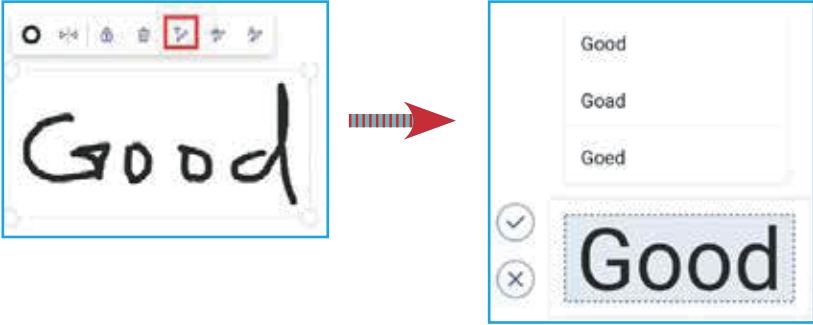
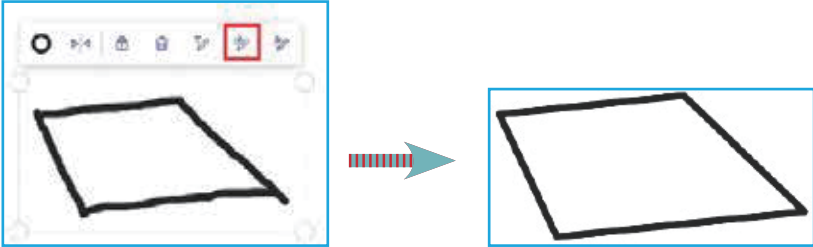
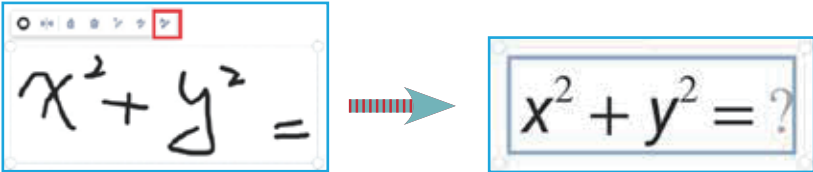
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	図形	図形を選択したら、タップしてドラッグし、ホワイトボードに追加します。 形を変更するには、次のいずれかをタップしてください：  Whiteboard(ホワイトボード) ● 境界ポイントでサイズを拡大・縮小できます。 ● ↺ 自由に回転させることが可能です。 ● ● 色の変更ができます。 ● 📏 オブジェクトの順序を調整します。前面に移動 (📏) または背面に移動 (📏)。 ● 🔄 90°回転させます。 ● 🔗 ハイパーリンクを設定します。 ● 🔒 オブジェクトとその位置をロックします。 ● 🗑 削除します。
	テキスト エディター	テキストエディターを開いて文字を入力します。 

アプリの使い方

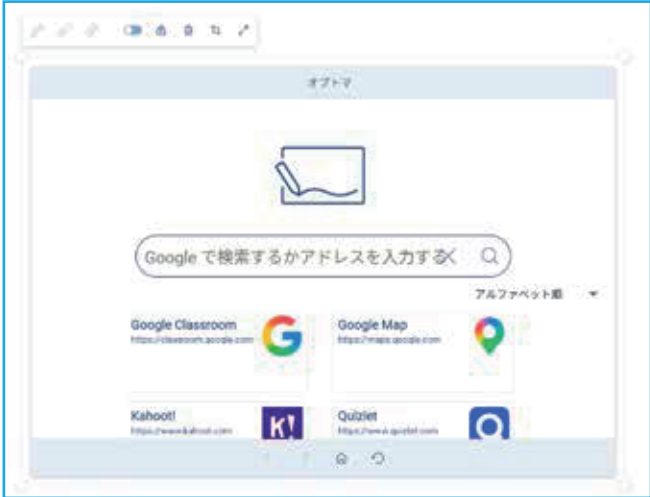
ホワイトボード（続き）

項目	説明
	ホワイトボードは手書き文字やイラストを認識し、デジタルデータに変換できます。 - 画面に文字や絵を描きます。 - 選択ツール  を使います。 文字や描画を選択すると次のポップアップメニューが表示されます。  - 以下のいずれかをタップしてください。  色を変更する  90 度回転する  オブジェクトと位置をロックする  削除  タップすると手書きの文字や記号を検出します。  をタップすると確定し  をタップすると変換をキャンセルし手書きの文字に戻ります。   図形を自動認識   手書きの関数や数式を認識し、テキスト形式に変換します。 

自動
認識

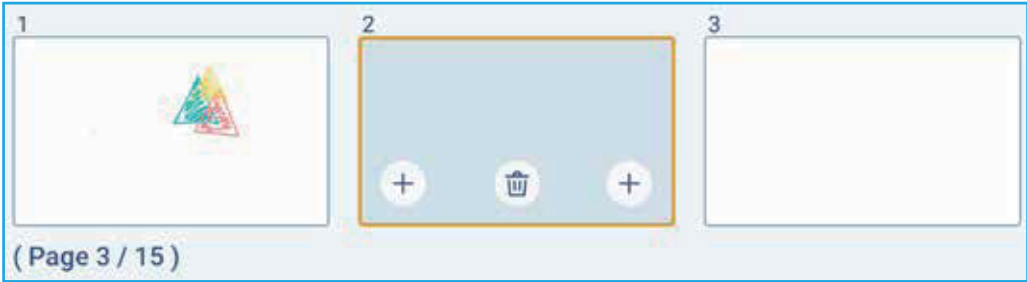
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目	説明
その他のツール	以下のツールから選択してください：   Google 画像や YouTube 動画を検索し、ホワイトボードに直接貼り付けられます。  メモを追加して単一メモ () 複数メモ () AI 生成メモ () をホワイトボードに挿入できます。 ご注意： AI 生成メモを追加するには、Optoma アカウントでログインしてください。  高機能なウェブブラウザウィンドウを埋め込みます。ブラウザウィンドウの位置を固定したり、スクリーンショットの撮影、サイズ変更、移動、削除など、さまざまな操作が可能です。  注意： ウェブサイト URL リストをカスタマイズするには、Optoma ホワイトボードのアカウントにログインし、オリジナルのリストを追加してください。  書画カメラを埋め込むことができます。  インタラクティブな図形ツールを埋め込むことができます。 
+	ページの追加：ページを追加するには、ホワイトボードキャンバス下部の  アイコンをタップしてください。 

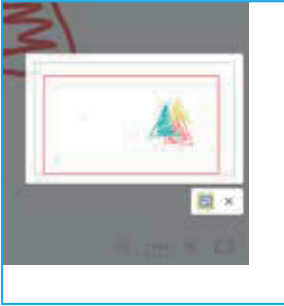
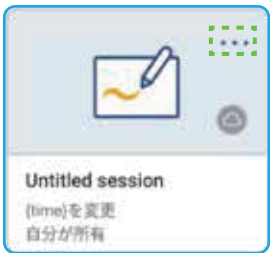
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	開く メニュー	≡ ツールバーをタップし、次のいずれかのオプションを選択します - 新規作成：新しいセッションを作成します。 - オープン：共同編集セッションまたは通常セッションを開きます。 - 保存：現在の内容を保存します。 - 名前を付けて保存：現在の内容を名前を付けて保存します。 - インポート：JPG、PNG、または PDF ファイルを読み込みます。 - エクスポート：セッションを JPG、PNG または PDF ファイルとして書き出します。 - 設定：ホワイトボード設定メニューを開きます。視線保護モード（アイプロテクションモード）の有効／無効、フローティングツールバーのカスタマイズや表示方法の設定、ソフトウェアの更新などが行えます。 - チュートリアル：ホワイトボードのチュートリアルを開いて確認できます。 - 共有：QR コードまたはメールでホワイトボードセッションを共有します。 ご注意：QR コードで共有する場合は、相手の端末が本機と同じ Wi-Fi に接続されていることを確認してください。
	背景設定	背景色  を選択するかテンプレート  をセッションに適用できます。 また、保存されている画像をアップロードして、背景テンプレートとして使用することもできます。
	ページ管理	- 現在のセッションに含まれるすべてのページを表示、管理します。次の操作を行うことができます。  （<）または（>）をタップして、前のページまたは次のページを表示します。 - ページ番号（例：2/3）をタップしてページ管理画面を開きます。  - 左側の (+) で左ページを追加、右側の (+) で右ページを追加できます。  をタップすると選択したページを削除します。

アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目	説明
 / ズーム	画面を拡大または縮小した後  をタップするとズームプレビューウィンドウが表示されます。表示したい範囲へ赤い枠を移動するか  をタップして対象を画面上の任意の位置へ移動します。 また2本の指でピンチ操作をすることでプレビューモード中でも拡大・縮小が可能です。  ズームプレビューウィンドウを閉じるには  をタップしてください。
	ページを削除 現在のページ上のすべての項目・オブジェクトを消去します。
	元に戻す 直前の操作を取り消します。
	やり直し 直前の操作をやり直します。
セッション名	デフォルトのセッション名は「無題セッション」です。 ご注意： セッション名の横の  をタップすると ホワイトボードのランチャーページにアクセスできます。  セッション名の変更は、 をタップし新しい名前を入力後「保存」をタップしてください。  ご注意： - ホワイトボードのホームタブからもセッション名を変更できます。セッションを選択し  →「Rename」をタップし表示された画面で「保存」をタップして変更を保存します。  - セッションに  アイコンがついている場合はアクティブな共同編集セッションを示します。 アイコンの場合は非アクティブな共同編集セッションです。その他のセッションは通常（単独）セッションです。共同編集にアクセスするには、ホワイトボードにログインしている必要があります。

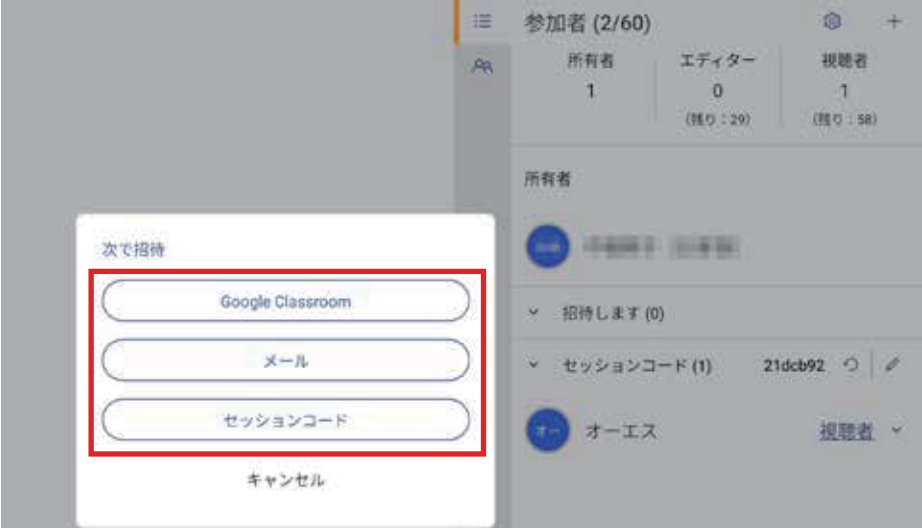
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	サインイン	ご自身の Whiteboard アカウントまたは Google アカウントで Whiteboard にサインインし、新しいクラウドセッションの作成や既存セッションの開くことができます。Whiteboard ランチャーページでクラウドセッションのタブを開き、サインインをタップしてください。 

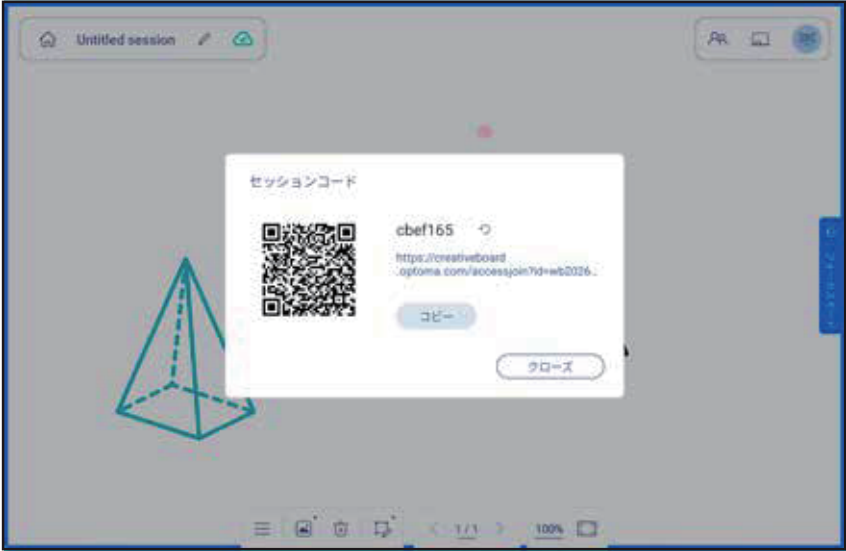
アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目	説明
参加者管理	参加者をホワイトボードセッションに招待します。 「参加者」タブの右上にある  をタップし続いて  をタップすると次の方法から選択できます。  • Google Classroom • メール • セッションコード 参加者タブでは、参加者の役割（閲覧者または編集者）を割り当てたり、参加者を削除 ( ⇒ ) したり、セッションコードを更新 () したり、参加者設定 () を行うことができます。  アイコンをタップしてグループタブを開き  アイコンをタップしてグループ名や参加者などのグループ情報を入力します。入力後「保存」をタップしてください。  グループ設定を変更する場合は  をタップしてください。

アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	Google Classroom 管理	既存の Google Classroom と接続するには Connect をタップし、クラスを追加して同期します。 
	フォーカスモード	フォーカスモードを使用すると、オーナー（管理者）の画面に合わせて、編集者や閲覧者の画面が自動的に切り替わり、参加者の注意をリアルタイムで誘導することができます。 フォーカスモードを有効にするには、画面右上にある  アイコンをタップしてください。有効になると、オーナーと参加者の両方の画面に枠が表示され、フォーカスモードが有効であることが示されます。フォーカスモードを停止するには、再度  アイコンをタップしてください。 このモードでは、所有者、編集者、閲覧者ごとにアクセス権限が異なります。 ・オーナー：すべての機能に制限なくアクセスできます。 ・編集者：編集機能が無効となり、画面はオーナーの表示に固定されます。 ・閲覧者：画面はオーナーの表示に固定されます。QR コードをスキャンしてセッションに参加しましょう。 

アプリの使い方

ホワイトボード（続き）

項目		説明
	フォーカスモード	QRコードをスキャンすると、携帯端末の画面に現在のセッションが表示されます。 

アプリの使い方

Display Share2

ホーム画面の  またはサイドツールバーの  アイコンをタップすると Wi-Fi または LAN 経由でワイヤレス共有・投影を開始できます。

重要なお知らせ

- 本機 とお使いのモバイル端末／パソコンは、同じ Wi-Fi または LAN ネットワークに接続されている必要があります。
- ご利用時は、インターネットに接続されていることをご確認ください。

キャストに対応する OS 一覧

送信デバイス	対応バージョン
 Windows	Windows 8、8.1、10、11 以降
 Mac	MacOS 10.12 以降
 iPhone	iOS 14 以降
 Android (アンドロイド)	Android 9.0 以降
 Chrome (クローム)	Chromebook OS V74 以上

独自共有機能

主な機能	対応 OS
Web 共有 (Web Sender)	Chrome ブラウザ
AirPlay 対応	iOS 14 以降
ChromeCast 対応	

アプリの使い方

アプリのダウンロード

セットアップガイド画面が表示されたら、QRコードをスキャンして Display Share アプリをモバイル端末にダウンロード・インストールしてください。

ご注意： アプリは左記URLからダウンロードできます。 <https://download.optoma.com/software>



※DisplayShare2 の使用方法は下記リンクよりDisplayShare2取扱説明書をご参照ください。



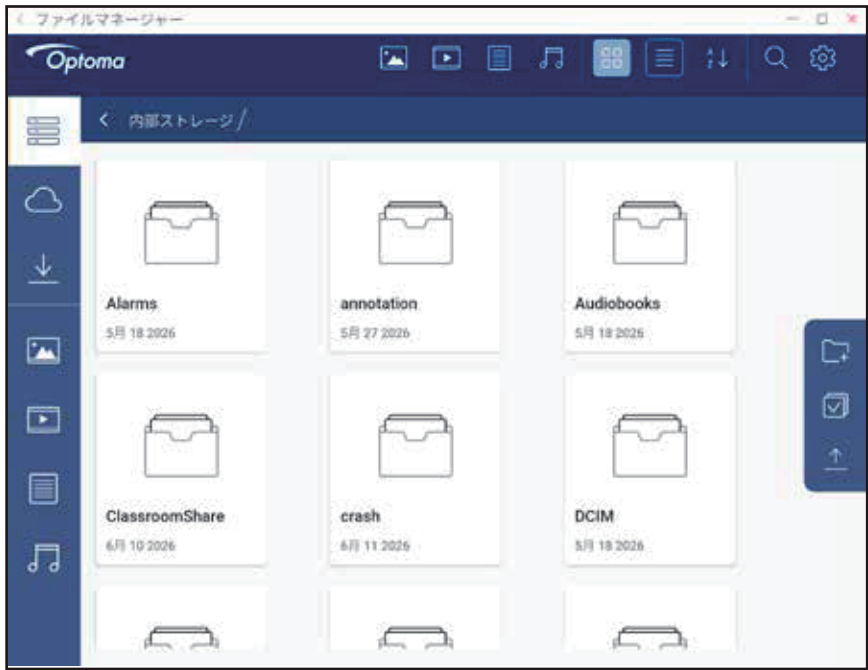
[DisplayShare2 取扱説明書はこちら]

アプリの使い方

ファイルマネージャー

ホーム画面で  アイコン、サイドツールバーの  →ファイルマネージャーをタップするかリモコンの  ボタンを押して起動します。

ファイルの管理



保存場所を選んで、表示したいファイルやフォルダを探します。開くには、ファイルやフォルダを2回タップしてください。下記の表は、ファイルマネージャーの使い方や各機能についてご案内します。

項目		説明
	画像	選択した保存先の画像ファイルのみ表示します。
	動画	選択した保存先の動画ファイルのみ表示します。
	ドキュメント	選択した保存先のドキュメントファイルのみ表示します。
	音楽	選択した保存先の音声ファイルのみ表示します。
	サムネイル表示	ファイルやフォルダーをサムネイル形式で表示します。
	リスト表示	ファイルやフォルダーをリスト形式で表示します。
	並べ替え	ファイルやフォルダーを名前や日付で昇順・降順に並べ替えます。
	検索	キーワードや名前でファイルやフォルダーを検索します。
	ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョン確認や、必要に応じてアプリをアップデートできます。
	新しいフォルダー	新規フォルダーを作成します。

アプリの使い方

ファイルマネージャー（続き）

項目		説明
	選択	ファイルやフォルダを選び、選択後に以下の操作が可能です：  操作をキャンセルして元の状態に戻ります。  すべての項目を選択・解除します。  項目を切り取り、貼り付けます。  項目をコピーします。  項目を貼り付けます。  項目を削除します。  項目の名前を変更します。  項目を QR コードで共有します。 注意： QR コードによるファイル共有には、モバイル端末が本機と同じネットワークに接続されている必要があります。   アイテムを圧縮  アイテムを他の場所へ移動またはコピー、または詳細を表示
	アイテムを共有	本機とモバイル端末間でウェブブラウザを使ってアイテムを共有  ご注意： - デフォルトでは、本機にアップロードしたアイテムはすべてダウンロードフォルダ  に保存されます。 - アイテムをアップロードするには、モバイル端末が本機と同じネットワークに接続されていることを確認してください。 ※ ご使用になる機器の設定によっては繋がらない場合があります。

アプリの使い方

クラウドストレージ

 →  (クラウドストレージ)

新しいアカウントの作成や、既存のクラウドストレージアカウントとのペアリング・アクセスにご利用ください。



アカウントを作成する場合：

1.  (アカウント追加) をタップします。
2. ドライブの種類を選択してください。



3. 画面に表示される指示に従って、アカウントの作成または既存のアカウントにサインインしてください。
4. ログインが完了すると、セキュリティ PIN の設定を求められます。Setup をタップして PIN を設定するか、Skip を選択してこの工程をスキップできます。

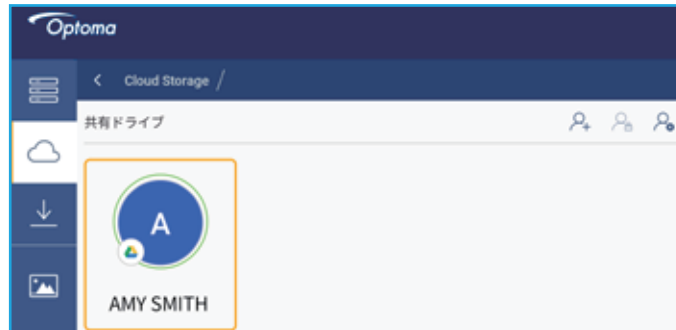


ご注意： PIN コードはユーザーのクラウドストレージを不正アクセスから守るために利用します。システムの状態が変化した場合（例：スタンバイから通常へ、バックライトオフからオンへなど）、クラウドストレージにアクセスするには設定した PIN コードの入力による認証が必要です。

アプリの使い方

クラウドストレージ（続き）

あなたのアカウントはクラウドストレージメニューに表示されます。



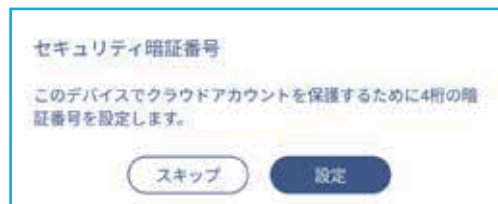
5. ファイルマネージャーでクラウドストレージのアカウントを管理するには、次のいずれかをタップしてください：ファイルマネージャー

-  別のクラウドストレージアカウントを追加する
-  クラウドストレージアカウントをロックする
-  クラウドストレージアカウントを削除する

ご注意：ファイルマネージャーでクラウドストレージアカウントをロックまたは削除しても、ファイルマネージャー内でのアクセスが制限または削除されるだけであり、Google などクラウドストレージの元の場所自体はロックや削除されません。

セットアップ時に省略した場合、クラウドアカウントに PIN セキュリティを追加するには、以下の手順に従ってください。

1.  「セットアップ」を選択して、PIN を設定します。



2. 「新しい暗証番号の入力」の欄に4桁の暗証番号を入力し、「もう一度暗証番号を入力」の欄に、先ほど入力した番号と同じ番号を入力します。



アプリの使い方

クラウドストレージ（続き）

ご注意：一度ログインに成功すれば、PIN コードの入力は一度だけで大丈夫です。



マルチメディアファイルの再生

対応マルチメディア形式

ムービー

ファイル 拡張子	コーデック		
	ビデオ	オーディオ	最大伝送レート
.3gp/3GP2	H.263	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: SQCIF(128x96), QCIF(176x144), CIF(352x288), 4CIF(704x576) 30fps, 38.4Mbps
	H.264		Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps
.avi	H.264	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: 7680x4320 30fps, 80Mbps
	Mjpeg		Max. solution: 1920x1088 30fps, 45Mbps
.dat	Mpeg1/2	Mpeg1/2 Layer1/2/3	Max. solution: 1920x1088 30fps, 38.4Mbps
.flv	H.264	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps
.mkv	Mpeg-4	Mpeg1/2 Layer 2, AAC, FLAC, Vorbis	Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
	H.264		Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps
.mov	Mpeg-4	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
	H.264		Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps
.mp4	Mpeg-4	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
	H.264		Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps
.VOB	Mpeg1/2	Mpeg1/2 Layer1/2/3	Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
.mpg.mpeg	Mpeg1/2	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM	Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
.webm	vp9	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM, opus	Max. solution: 7680x4320 60fps, 80Mbps
	vp8		Max. solution: 1920x1088 30fps, 38.4Mbps
.ts	H.265	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC, PCM, opus	Max. solution: 7680x4320 60fps, 100Mbps
	Mpeg1/2		Max. solution: 1920x1088 30fps, 80Mbps
	H.264		Max. solution: 7680x4320 30fps (60fps for simple stream), 80Mbps

アプリの使い方

音声

ファイル	フォーマット	音声コーデック	対応範囲
.aac	AAC、M4A	ADIF、ATDSヘッダー AAC-LC、AAC-ELD	サンプリングレート：8KHz ～ 48KHz ビットレート：該当なし
.mpeg	MP1、MP2、MP3	MPEG1/2/2.5 Audio Layer1/2/3	サンプリングレート：8KHz ～ 48KHz ビットレート：8Kbps～320Kbps、 CBR/VBR 対応
.flac	FLAC	圧縮レベル 0 ～ 8	サンプリング周波数：8KHz～48KHz ビットレート：該当なし
.ape	Monkey's Audio	/	/
.opus	OPUS	OPUS	サンプリング周波数：8KHz～48KHz ビットレート：32Kbps～9612Kbps
.mp3	MPEG Audio Layer3	MPEG1/2 レイヤー 3	サンプリング周波数：8KHz～48KHz ビットレート：8Kbps～320Kbps
.ogg	OGG、OGA、Vorbis	Q1～Q10	サンプリング周波数：8KHz～48KHz ビットレート：該当なし
.mid	XMF、MXMF、 RTTTL、RTX、OTA、 IMY	Midi タイプ 0 および 1、DLS Vr.1・2、 XMF・モバイル XMF、RTTTL/RTX、OTA、 iMelody	サンプリング周波数：該当なし ビットレート：該当なし
.wav	WAV 形式	MS-ADPCM、IMA-ADPCM、PCM	サンプリング周波数：8KHz ～ 48KHz ビットレート：該当なし

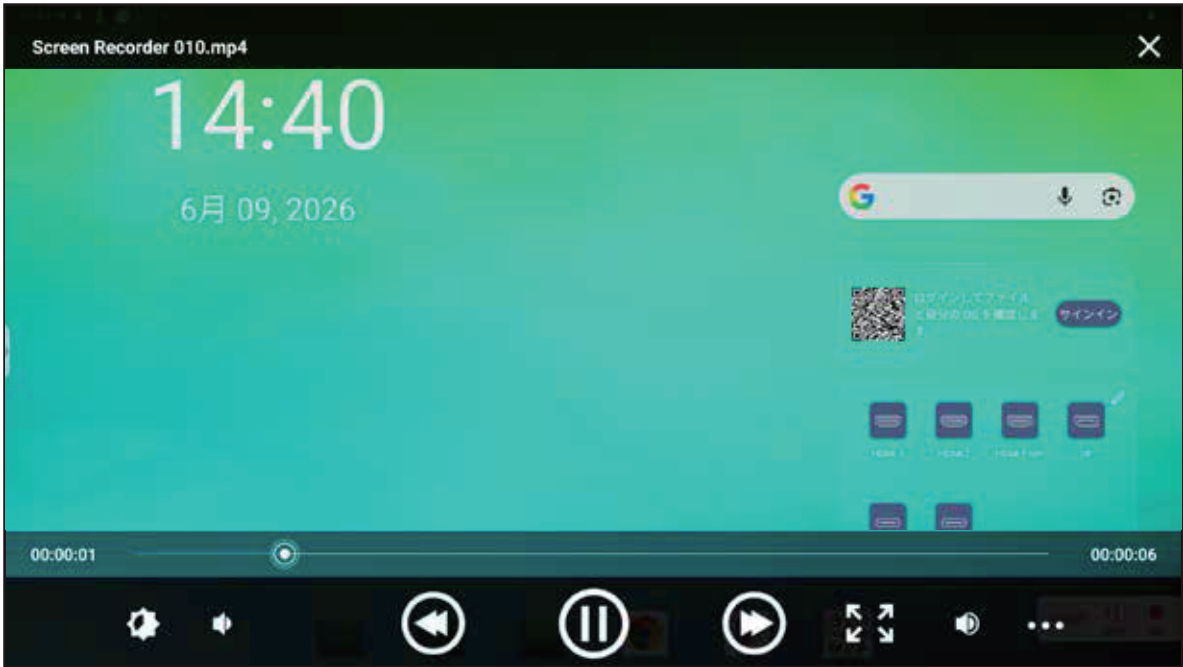
写真

ファイル	フォーマット	対応範囲	備考
.jpeg/jpg	JPEG	48×48px～65536×65536px	(1) 非インターリーブスキャン非対応 (2) ソフトウェアは SRGB JPEG 対応 (3) ソフトウェアは Adobe RGB JPEG 対応
.png	PNG	/	/
.bmp	BMP	/	/
.gif	GIF	/	/

アプリの使い方

動画の再生

見たい動画を選択し、タップすると再生が始まります。



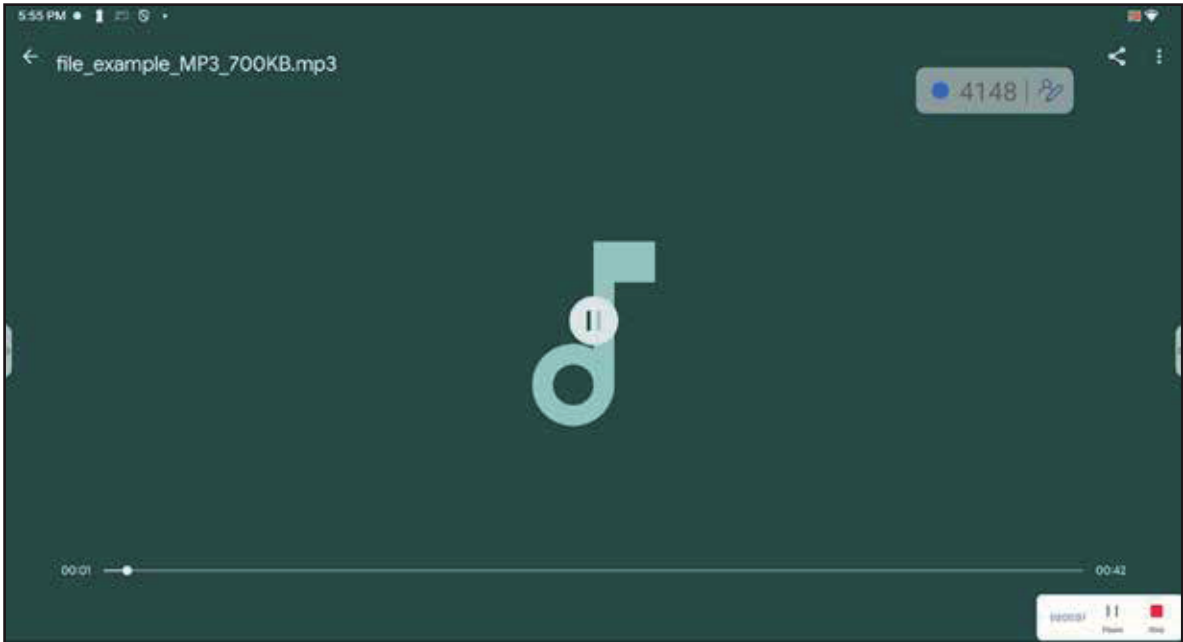
再生中に画面をタップすると、再生コントロールバーが表示されます。次のいずれかをタップしてください：

項目		説明
	明るさ切替	再生画面の明るさを調整します。
	音量ダウン	再生音量を下げます。
	前の動画	前の動画にスキップします。
	一時停止／再生	 で再生を一時停止します。再開するにはもう一度  タップしてください。
	画面比率	再生時のお好みの画面比率を選択してください。
	音量アップ	再生中の音量を上げます。
	再生設定	再生モード、字幕の優先順位、音声トラック、ヘルプ表示、再生画面への戻るなどを選択できます。
	終了	再生を終了します。

アプリの使い方

音楽を再生する

再生したいオーディオトラックを選び、タップして再生を開始してください。



再生中に画面をタップすると、再生コントロールツールバーが表示されます。下の表で、ツールバーの各機能について説明しています。

項目		説明
	一時停止／再生	再生を停止するには、 をタップ、再開するにはもう一度 をタップします。
	共有	Quick Share、Files by Google、Bluetooth、Google Drive、Gmailで音声ファイルを共有できます。
	ファイル情報	音声ファイルの情報を表示します。

ご注意：再生を停止するには再度ツールバーを開いて をタップするかリモコンの キーを押します。

アプリの使い方

画像を表示する

表示したい画像を選び、タップすると画面に表示されます。



画面をタップすると画像コントロールツールバーが表示されます。下の表で、ツールバーで利用できる各機能についてご説明します。

項目		説明
	共有	画像ファイルをQuick Share、Files by Google、Google フォト（画像検索を含む）で共有したり、プリンターへ送信できます。
	レンズ	Google レンズを利用する
	ヘルプ	ヘルプやフィードバックを表示
	キャスト	スライドショーをキャスト

ご注意：再生を停止するには再度ツールバーを開いて  をタップするかリモコンの  キーを押します。

アプリの使い方

InfoBoard

ご注意：InfoBoard は地域限定のアプリです。ご利用いただけない場合があります。

「InfoBoard」をタップして、InfoBoard アカウントから本機へコンテンツを投稿しましょう。
本機に接続するには、次の手順を行ってください。

1. InfoBoard



2. スマートフォンやタブレットから、InfoBoard のランチャーページに表示されている QR コードをスキャンしてください。
3. Optoma アカウントで InfoBoard にサインインするか、無料登録をクリックして新規アカウントを作成してください。



アプリの使い方

InfoBoard（続き）

4. ページの左側で +Add device(デバイスの追加)をクリックします。



5. 本機の InfoBoard ランチャー画面に表示されているペアリングコードを入力し、「追加します。」をクリックします。



6. +新規ファイル、またはページ下部の「新規ファイルの作成」をクリックして新しいボードを作成します。

7. ファイルの種類を選択し、作成をクリックします。



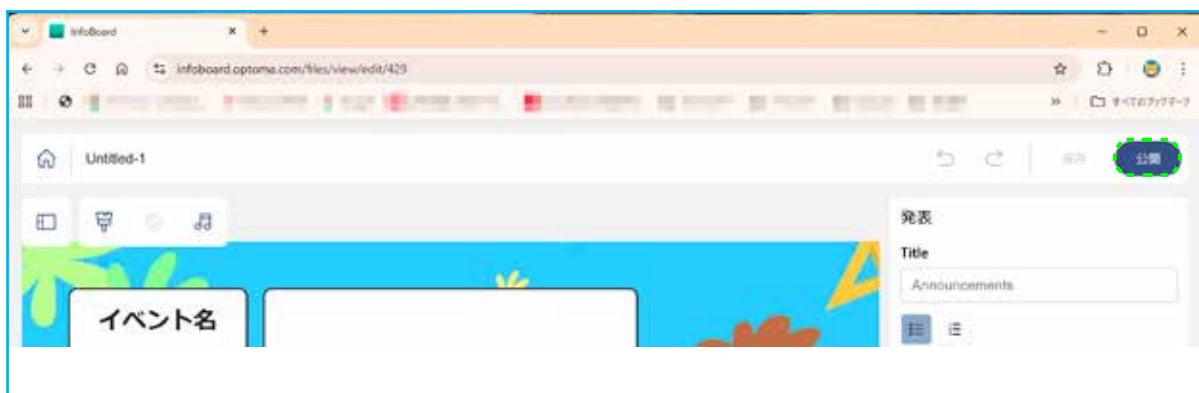
アプリの使い方

InfoBoard（続き）

8. コンテンツを入力し、保存をクリックしてください。



9. 公開をクリックします。表示されたプロンプトでコンテンツを配信したいデバイスを選択し、もう一度公開をクリックしてください。



アプリの使い方

InfoBoard（続き）

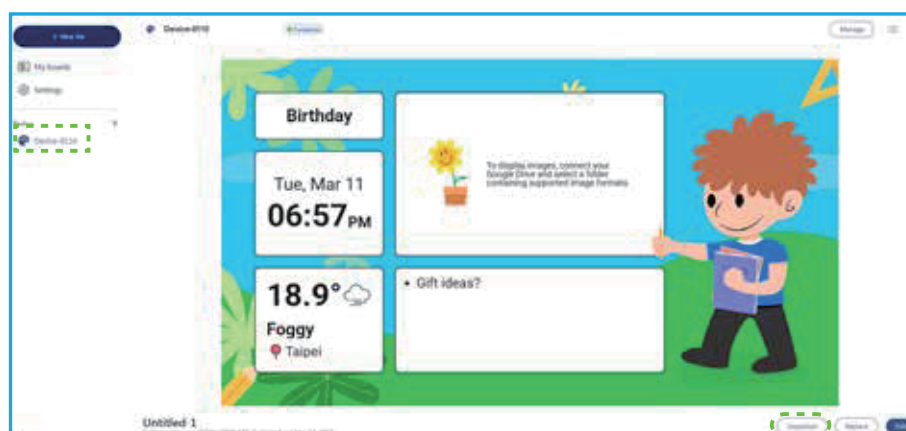
ご注意：デバイス一覧に IFP が表示されていない場合は、デバイス追加をクリックして、手順 5 をもう一度行ってください。コンテンツを公開すると、選択した IFP の画面に表示されます。



⚙️をタップすると Infoboard の設定を表示できます。
コンテンツの所有者 (Owner) の確認 Infoboard のバージョン表示、オープンライセンスの閲覧、Infoboard および別のアカウントへのリンク設定を行えます。

10. コンテンツの公開を停止するには、InfoBoard の Web ページでデバイス一覧から IFP を選択します（例：「Device-0110」）。ページ下部の公開停止をクリックしてください。

ご注意：デバイスページでは、接続状況や現在公開中のコンテンツも確認できます。「新しいボードに変更」をクリックして新しいボードを選択したり、「編集」で現在のボードを修正、「管理」でデバイスの削除や他のユーザー招待が可能です。



アプリの使い方

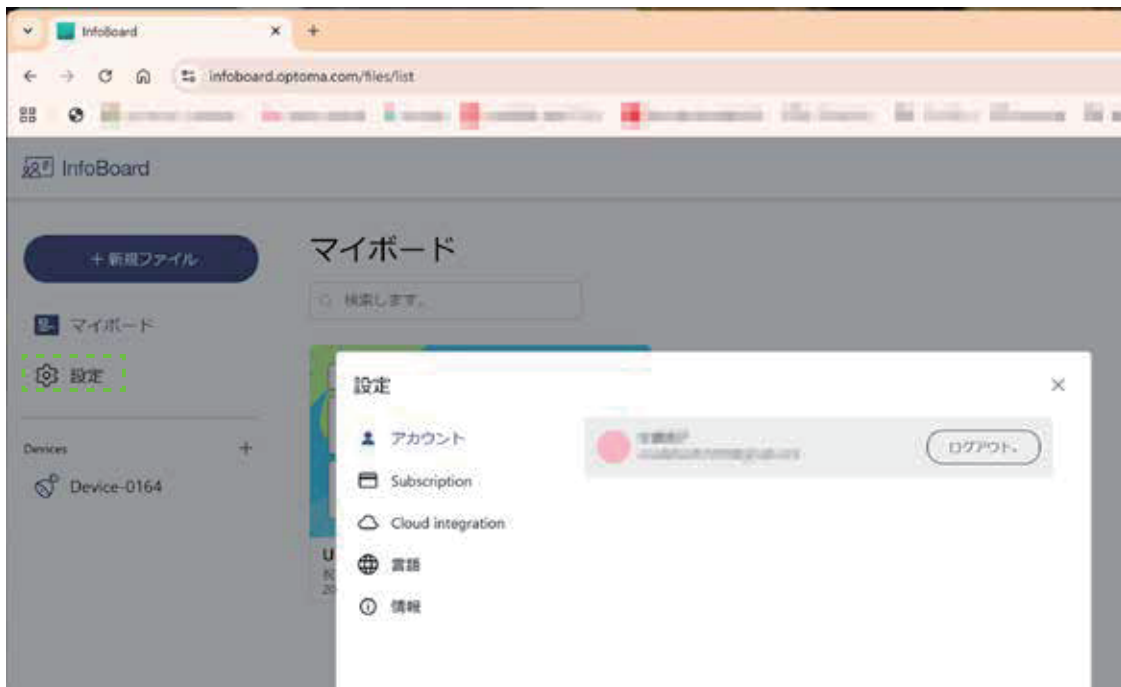
InfoBoard（続き）

11. ボードを管理するには、「My Boards」をクリックしてください。
ボード名の上にカーソルを合わせ (...) をクリックすると用途に応じて「編集します」/
「Copy(コピー)」/「Rename(名前変更)」/「削除します」を選択できます。



ご注意：ボードをより効率的に管理するには、検索機能でボードを探すことができます。また、≡ をクリックしてトピック別にボードを整理したり ≡↓ をクリックして作成日時または更新日時で並び替えることもできます。

12. アカウント管理、サブスクリプションの確認、クラウド連携へのアクセス、言語変更、アプリ情報の確認を行いたい場合は設定をクリックしてください。



アプリの使い方

ブラウザー

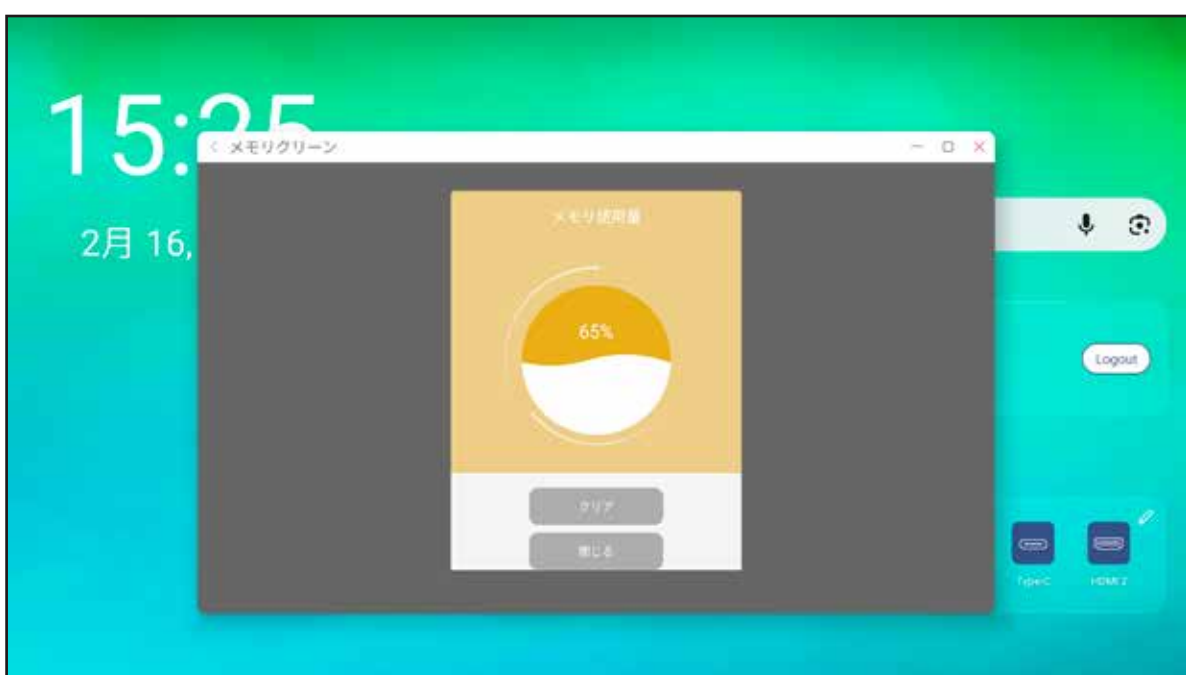
ホーム画面で  をタップするか、リモコンの  ボタンを押して下さい。



メモリークリーン

ホーム画面で MemoryClean をタップすると、本機のメモリ使用状況を確認でき、データのクリーンアップと最適化が始まります。MemoryClean を起動すると、アプリが自動でメモリ使用量を計算します。

- メモリの自動クリーニングや一時ファイル・不要ファイルの削除には、Clear をタップしてください。
- アプリを終了するには、Exit をタップします。



アプリの使い方

Optoma Management Suite (OMS)TM

OMS は、インターネットまたは LAN 経由で操作できるリモート管理ソフトウェアです。本機の遠隔管理をより簡単に行えます。

ご注意： OMS の詳細な機能紹介については、
<https://onlinemanual.optoma.com/OMS/> をご参照ください。



ご注意： LAN 経由で利用できる OMS の機能について、より詳しく知りたい場合は、<https://onlinemanual.optoma.com/oms/> をご覧ください。



1. OMS Cloud をご利用の場合は、OMS 公式サイト (<https://oms.optoma.com/>) にログインしてください。ローカル LAN 版 OMS を使う場合は、お住まいの地域の Optoma 公式サイト（まずは <https://www.optoma.com>）から Windows 用 OMS アプリをダウンロードしてください。
2. 「設定」⇒「デバイス」メニューで、OMS をタップしてください。



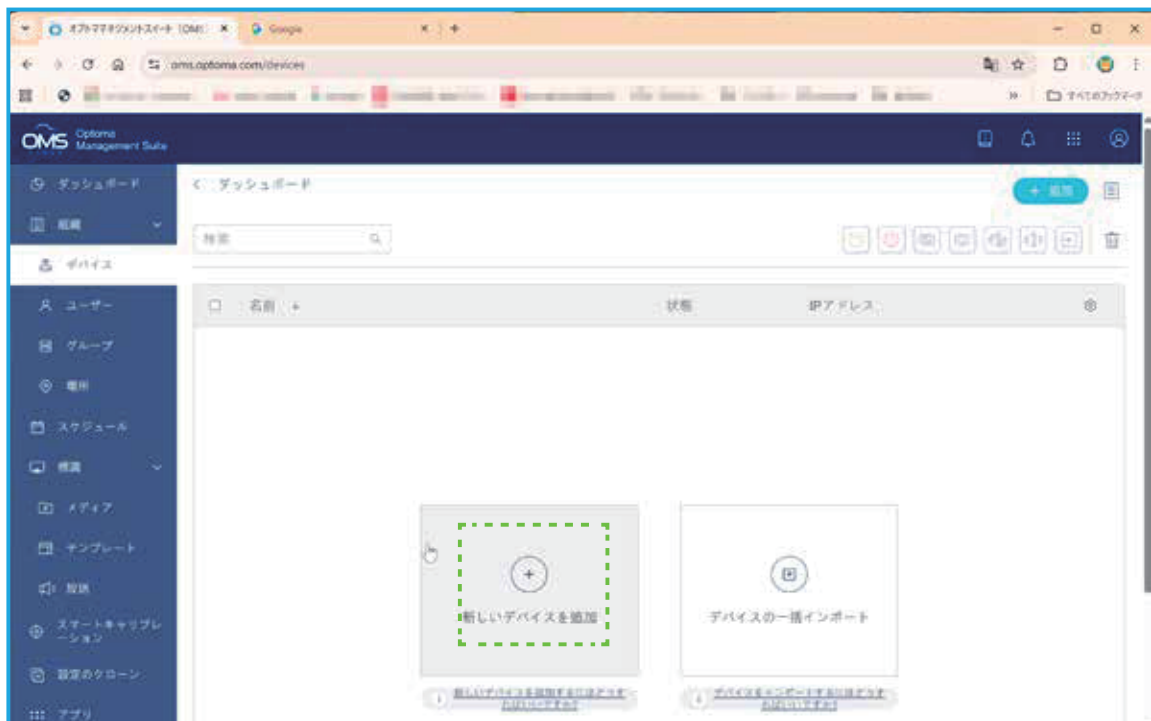
アプリの使い方

Optoma Management Suite (OMS)TM (続き)

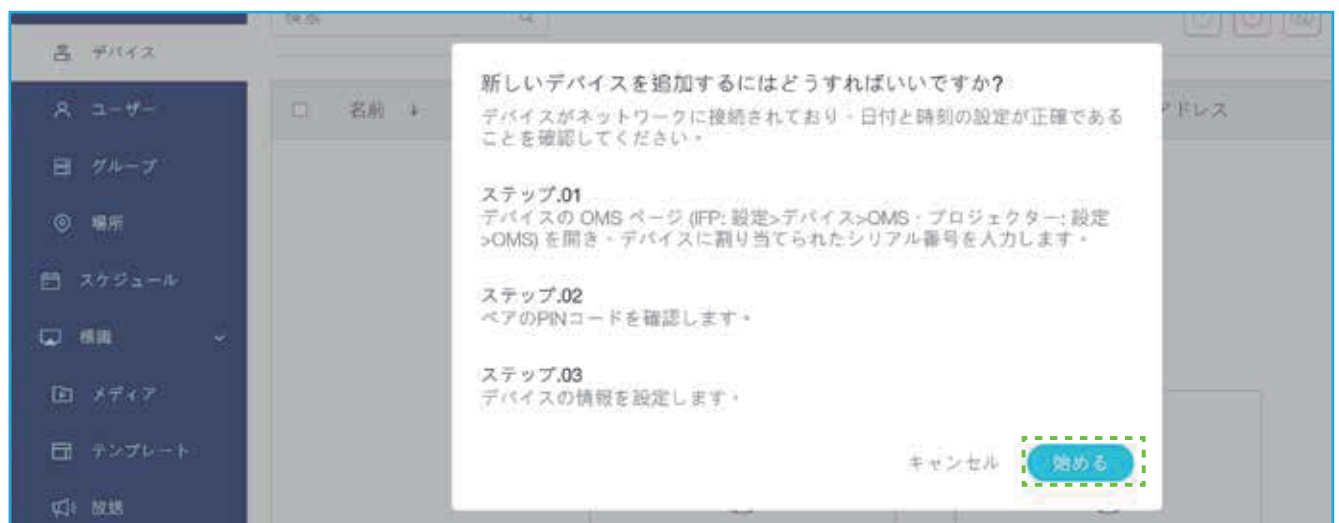
3. ブラウザで OMS を開き、📶「Device」をタップします。

4. ➕ をタップし新しいデバイスを追加します。

ご注意：複数のデバイスを同時に追加する場合は、すべてのデバイスの電源が入っており、インターネットに接続されていることを確認してください。次に ④ 「デバイスの一括インポート」をクリックします。テンプレートをパソコンにダウンロードし、必要な情報を入力してからファイルを OMS へアップロードしてください。追加作業中、デバイスのペアリングは自動的にバックグラウンドで行われます。



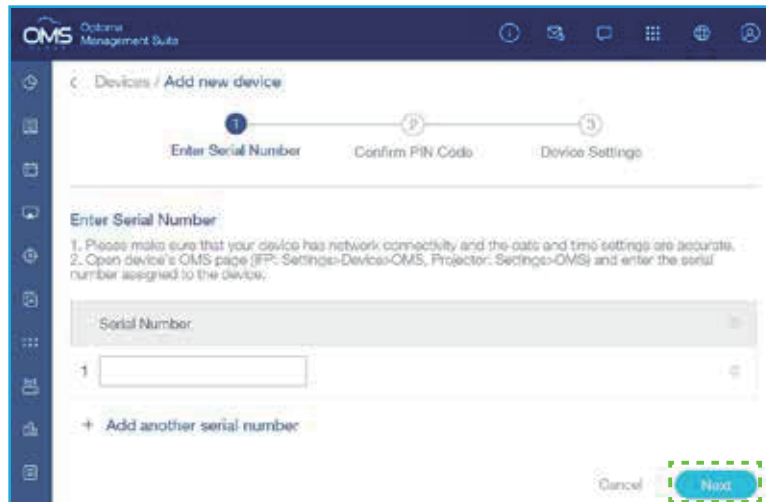
5. 「新しいデバイスを追加するにはどうすればいいですか？」と表示されたら「始める」をタップしてください。



アプリの使い方

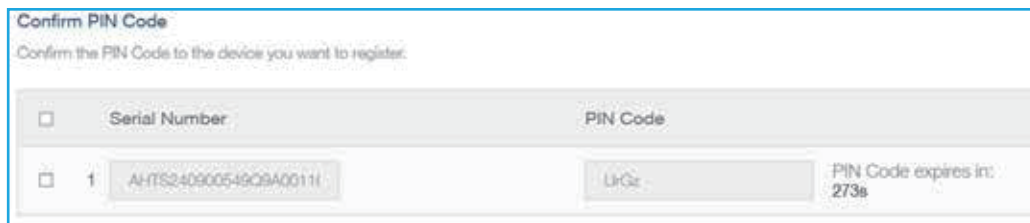
Optoma Management Suite (OMS)TM(続き)

6. Optoma Management Suite のランチャーページに表示されているシリアル番号を入力し、次へをクリックしてください。

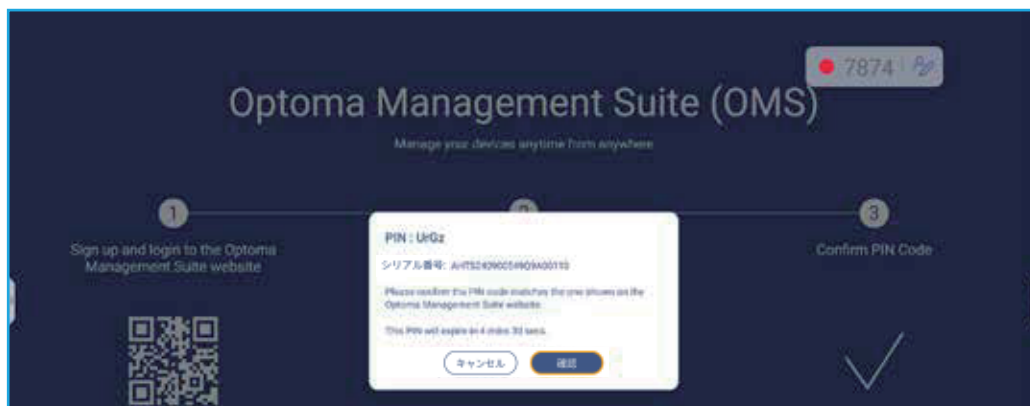


7. 本機とブラウザの両方で PIN コードを確認してください。

ブラウザ



本機

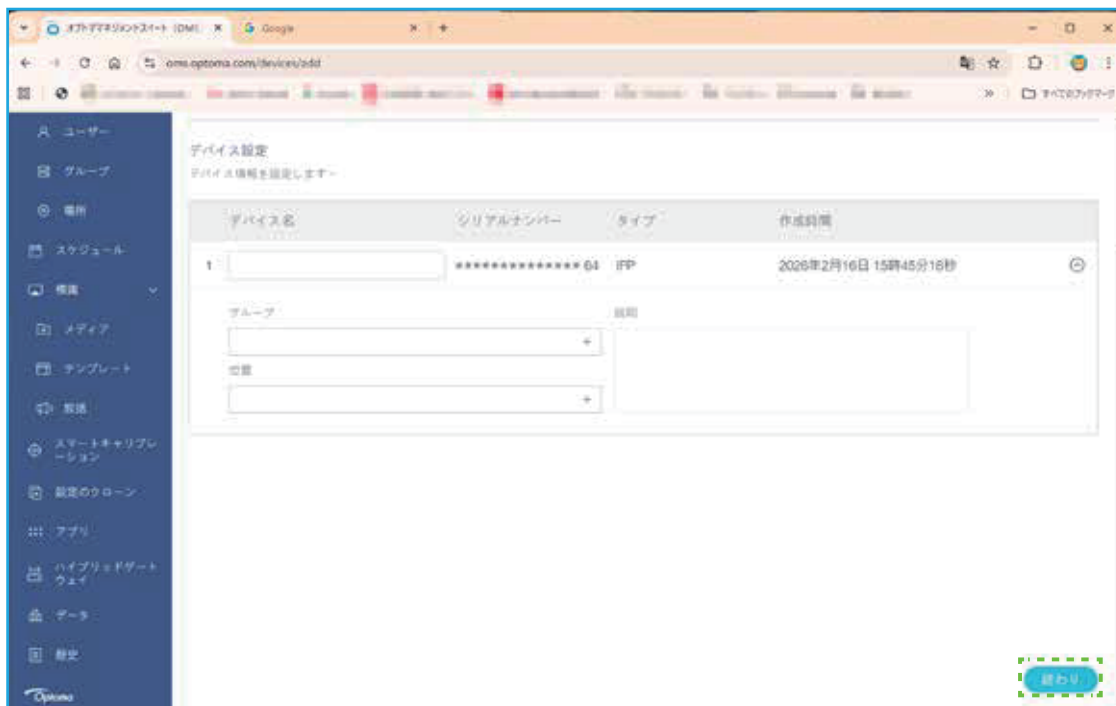


8. ペアリングが完了したら、ブラウザーで次へをクリックします。

アプリの使い方

Optoma Management Suite (OMS)TM(続き)

9. デバイス名を入力し、「終わり」をクリックします。



10. デバイスを選択し、画面コントロールを使って、選択した IFP の画面にメッセージを表示したり、本機の電源オン・オフや Wake on LAN の有効／無効、入力ソースの選択、AV ミュートモードの切替、ミュート／ミュート解除、さらにデバイスの状態・使用時間・ミュート状況・温度なども確認できます。

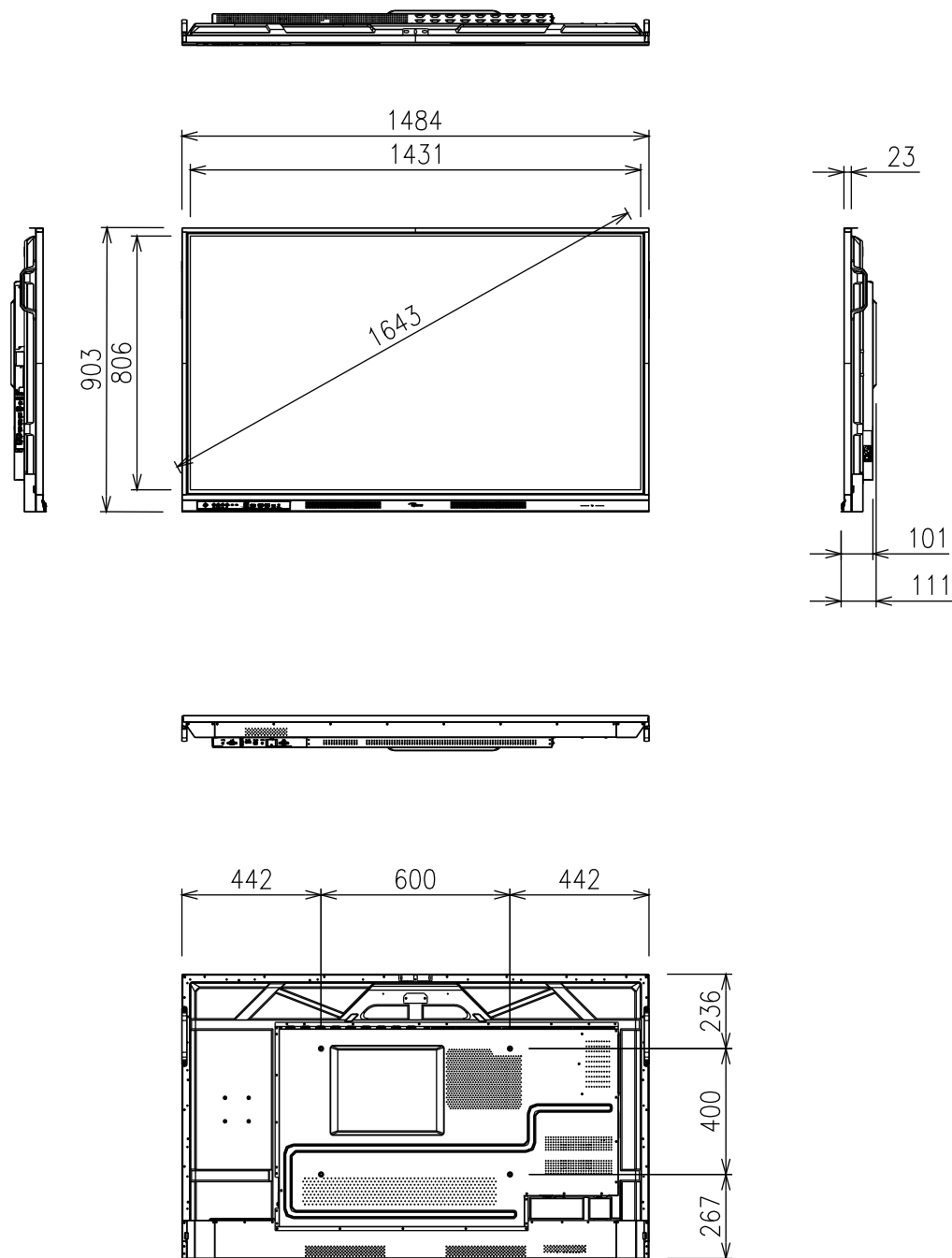


ご注意： デバイス管理をより効率的に行うには、同じ種類のデバイスをグループ化できます。デバイスグループを作成するには、グループ→ 新しいデバイスを追加。次に、追加したデバイスをグループに追加します。

追加情報

サイズ

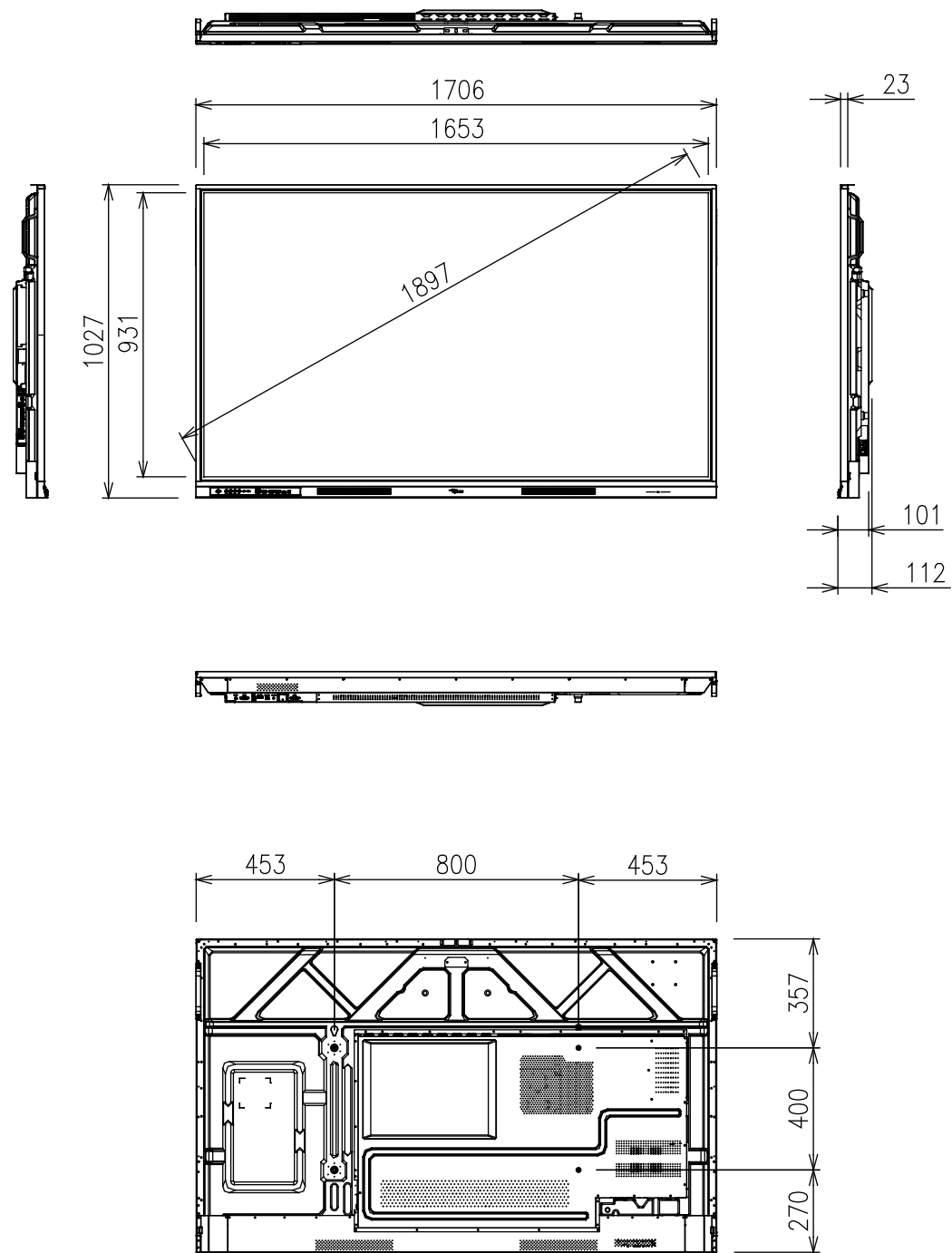
65 インチ



単位：mm

追加情報

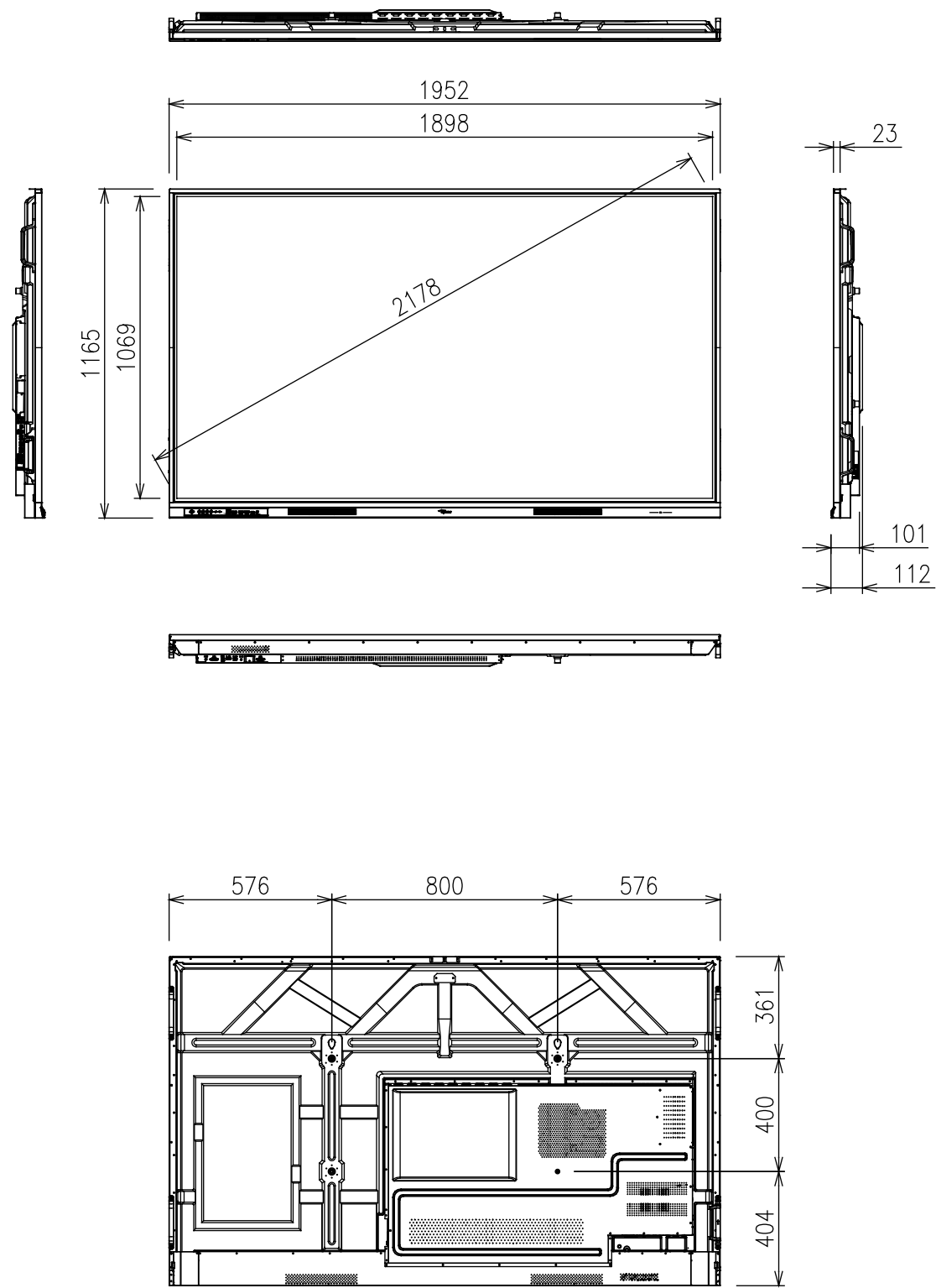
75 インチ



単位：mm

追加情報

86 インチ



単位：mm

追加情報

対応タイミング一覧

番号	信号タイミング名	基準	クロック	水平周波数	垂直周波数	入力ソース		
			[MHz]	[KHz]	[Hz]	VGA	HDMI1/2/3 (2.0)	Type C
1	720x400 @70Hz	IBM	28.32	31.78	70.00	Y	/	Y
2	640x480 @60Hz	VESA	25.18	37.92	59.94	Y	Y	Y
3	640x480 @72Hz	VESA	31.50	37.86	72.81	Y	/	Y
4	640x480 @75Hz	VESA	31.50	37.50	75.00	Y	/	Y
5	800x600 @56Hz	VESA	36.00	35.15	56.25	Y	/	Y
6	800x600 @60Hz	VESA	40.00	37.87	60.31	Y	Y	Y
7	800x600 @72Hz	VESA	50.00	48.07	72.18	Y	/	Y
8	800x600 @75Hz	VESA	49.50	46.87	75.00	Y	/	Y
9	832x624 @75Hz	MAC	57.28	49.72	74.55	Y	/	Y
10	1024x768 @60Hz	VESA	65.00	48.36	60.00	Y	Y	Y
11	1024x768 @70Hz	VESA	75.00	56.47	70.06	Y	/	Y
12	1024x768 @75Hz	VESA	78.75	60.02	75.02	Y	/	Y
13	1152x864 @75Hz	VESA	108.00	67.50	75.00	Y	/	Y
14	1280x768 @60Hz(RB)	CVTRB	68.25	47.39	59.99	Y	Y	Y
15	1280x768 @60Hz	CVT	79.50	47.77	59.87	Y	Y	Y
16	1280x720 @60Hz	CEA-861	74.25	44.67	60.00	Y	/	Y
17	1280x800 @60Hz	CVT	83.50	49.70	59.81	Y	Y	Y
18	1280x960 @60.000Hz	VESA	108.00	60.00	60.00	Y	Y	Y
19	1280x1024 @60Hz	VESA	108.00	63.98	60.00	Y	Y	Y
20	1360x768 @60Hz	VESA	85.50	47.71	60.01	Y	Y	Y
21	1440x900 @60Hz(RB)	CVTRB	88.75	55.46	59.90	Y	Y	Y
22	1440x900 @60Hz	CVT	106.50	55.93	59.88	Y	Y	Y
23	1600x1200 @60Hz	VESA	162.00	75.00	60.00	Y	/	Y
24	1680x1050 60Hz	CVT	146.25	65.29	59.95	Y	Y	Y
25	1920x1080 60Hz	CEA-861	148.50	67.50	60.00	Y	Y	Y
26	720(1440)x480i	CEA-861	27.00	15.73	59.94	/	Y	/
27	480p 59Hz	CEA-861	27.00	31.46	59.94	/	Y	/
28	480p 60Hz	CEA-861	27.02	31.50	60.00	/	Y	/
29	720(1440)x576i	CEA-861	27.00	15.62	50.00	/	Y	/
30	576p	CEA-861	27.00	31.25	50.00	/	Y	/
31	720p 60Hz	CEA-861	74.25	45.00	60.00	/	Y	/
32	720p 59Hz	CEA-861	74.17	44.95	59.94	/	Y	/
33	720p 50Hz	CEA-861	74.25	37.50	50.00	/	Y	/
34	1080i 60Hz	CEA-861	74.25	33.75	60.00	/	Y	/

追加情報

対応タイミング一覧 (続き)

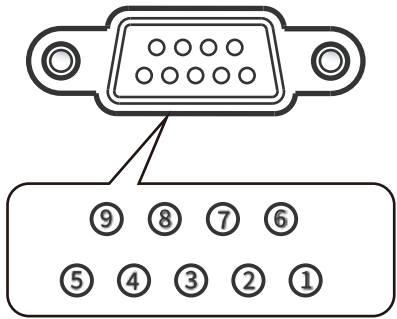
番号	信号タイミング名	基準	クロック	水平周波数	垂直周波数	入力ソース		
			[MHz]	[KHz]	[Hz]	VGA	HDMI1/2/3 (2.0)	Type C
35	1080i 59Hz	CEA-861	74.17	33.71	59.94	/	Y	/
36	1080i 50Hz	CEA-861	74.25	28.12	50.00	/	Y	/
37	1080p 60Hz	CEA-861	148.25	67.50	60.00	/	Y	/
38	1080p 59Hz	CEA-861	148.35	67.44	59.94	/	Y	/
39	1080p 50Hz	CEA-861	148.50	56.25	50.00	/	Y	/
40	1080p 30Hz	CEA-861	74.25	33.75	30.00	/	Y	/
41	1080p 29Hz	CEA-861	74.17	33.71	29.97	/	Y	/
42	1080p 25Hz	CEA-861	74.25	28.12	25.00	/	Y	/
43	1080p 24Hz	CEA-861	74.25	27.00	24.00	/	Y	/
44	1080p 23Hz	CEA-861	74.17	26.97	23.97	/	Y	/
45	3840x2160 60Hz	CEA-861	594.00	135.00	60.00	/	Y	Y
46	3840x2160 50Hz	CEA-861	594.00	112.50	50.00	/	Y	Y
47	3840x2160 30Hz	CEA-861	297.00	67.50	29.97	/	Y	Y
48	3840x2160 25Hz	CEA-861	297.00	56.25	25.00	/	Y	Y
49	3840x2160 24Hz	CEA-861	297.00	54.00	23.98	/	Y	Y
50	4096x2160 24Hz	CEA-861	297.00	54.00	24.00	/	Y	Y

追加情報

RS232 プロトコル制御接続

ご注意：本機 は RS232 および RJ45（ポート 23）での制御コマンドに対応しています。

RS232 ピン割り当て



ピン番号	仕様（本機側）
1	該当なし
2	TXD
3	RXD
4	該当なし
5	GND
6	該当なし
7	該当なし
8	該当なし

RS232 RJ45制御接続

RS232設定	
ボーレート	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

LAN 制御設定	
IP	機器 IP
ポート	4023

~	X	X	X	X	X		X	X	CR
リードコード	デバイス ID (01 がデバイス ID=01 を示します)		コマンド ID		スペース	変数	キャリッジリターン		

追加情報

設定コマンド

種類	カテゴリ	パラメータ	コマンド		16進数コマンド	レスポンス	
						成功	失敗
設定	電源	電源オフ	~xx00 n	n=0	7E 30 30 30 30 20 30 0d	P	F
		電源オン	~xx00 n	n=1	7E 30 30 30 30 20 31 0d	P	F
		Reset	~xx00 n	n=3	7E 30 30 30 30 20 33 0d	P	F
	電源モード (スタンバイ)	エコ	~xx114 n	n=0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0d	P	F
		アクティブ		n=1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0d	P	F
	トレブル	0 ~ 100	~xx95 n	n=0-100	7E 30 30 39 35 20 30 0d to 7E 30 30 39 35 20 31 30 30 0d	P	F
	パス	0 ~ 100	~xx96 n	n=0-100	7E 30 30 39 36 20 30 0d to 7E 30 30 39 36 20 31 30 30 0d	P	F
	バランス	0 ~ 100	~xx99 n	n=50-50	7E 30 30 39 39 20 30 0d to 7E 30 30 39 39 20 31 30 30 0d	P	F
	コントラスト	0 ~ 100	~xx22 n	n=0-100	7E 30 30 32 32 20 30 0d to 7E 30 30 32 32 20 31 30 30 0d	P	F
	明るさ	0 ~ 100	~xx21 n	n=0-100	7E 30 30 32 31 20 30 0d to 7E 30 30 32 31 20 31 30 30 0d	P	F
	サウンドモード	標準	~xx252 n	n=1	7E 30 30 32 35 32 20 31 0d	P	F
		会議		n=4	7E 30 30 32 35 32 20 34 0d	P	F
		ユーザー		n=2	7E 30 30 32 35 32 20 32 0d	P	F
		教室		n=3	7E 30 30 32 35 32 20 33 0d	P	F
		映画		n=5	7E 30 30 32 35 32 20 35 0d	P	F
	音量	0 ~ 100	~xx81 n	n=0-100	7E 30 30 38 31 20 30 0d to 7E 30 30 38 31 20 31 30 30 0d	P	F
	映像ミュート	オフ	~xx13 n	n=0	7E 30 30 31 33 20 30 0d	P	F
		オン		n=1	7E 30 30 31 33 20 31 0d	P	F
	ミュート	オフ	~xx80 n	n=0	7E 30 30 38 30 20 30 0d	P	F
		オン		n=1	7E 30 30 38 30 20 31 0d	P	F
	入力ソース	HDMI1	~xx12 n	n=1	7E 30 30 31 32 20 31 0d	P	F
		HDMI2		n=15	7E 30 30 31 32 20 31 35 0d	P	F
		HDMI フロント		n=26	7E 30 30 31 32 20 32 36 0d	P	F
		Type-C フロント		n=31	7E 30 30 31 32 20 33 31 0d	P	F
		Type-C		n=32	7E 30 30 31 32 20 33 32 0d	P	F
		DisplayPort		n=20	7E 30 30 31 32 20 32 30 0d	P	F
		PCスロット		n=25	7E 30 30 31 32 20 32 35 0d	P	F
		VGA		n=5	7E 30 30 31 32 20 35 0d	P	F
		Android		n=24	7E 30 30 31 32 20 32 34 0d	P	F
	言語	英語	~xx70 n	n=1	7E 30 30 37 30 20 31 0d	P	F
		フランス語		n=3	7E 30 30 37 30 20 33 0d	P	F

追加情報

設定コマンド(続き)

種類	カテゴリ	パラメータ	コマンド		16進数コマンド	レスポンス	
						成功	失敗
設定	言語	スペイン語	~xx70 n	n=5	7E 30 30 37 30 20 35 0d	P	F
		繁体字 中国語		n=13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0d	P	F
		簡体字 中国語		n=14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0d	P	F
		ポルトガル語		n=6	7E 30 30 37 30 20 36 0d	P	F
		ドイツ語		n=2	7E 30 30 37 30 20 32 0d	P	F
		オランダ語		n=8	7E 30 30 37 30 20 38 0d	P	F
		ポーランド語		n=7	7E 30 30 37 30 20 37 0d	P	F
		ロシア語		n=17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0d	P	F
		チェコ語		n=19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0d	P	F
		デンマーク語		n=24	7E 30 30 37 30 20 32 34 0d	P	F
		スウェーデン語		n=9	7E 30 30 37 30 20 39 0d	P	F
		イタリア語		n=4	7E 30 30 37 30 20 34 0d	P	F
		トルコ語		n=22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0d	P	F
		アラビア語		n=20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0d	P	F
		ルーマニア語		n=27	7E 30 30 37 30 20 32 37 0d	P	F
		ハンガリー語		n=18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0d	P	F
		フィンランド語		n=11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0d	P	F
		ノルウェー語		n=10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0d	P	F
	画面モード	プレゼンテーション	~xx20 n	n=1	7E 30 30 32 30 20 31 0d	P	F
		明るい		n=2	7E 30 30 32 30 20 32 0d	P	F
		シネマ		n=3	7E 30 30 32 30 20 33 0d	P	F
		DICOM SIM.		n=13	7E 30 30 32 30 21 33 0d	P	F
		ユーザー設定		n=5	7E 30 30 32 30 20 35 0d	P	F
		HDR		n=21	7E 30 30 32 30 20 32 31 0d	P	F
	色合い	0 ~ 100	~xx45 n	n=0-100	7E 30 30 34 35 20 30 0d to 7E 30 30 34 35 20 31 30 30 0d	P	F
	バックライト	0 ~ 100	~xx251 n	n=0-100	7E 30 30 32 35 31 20 30 0d to 7E 30 30 32 35 31 20 31 30 30 0d	P	F
	色温度	クール	~xx36 n	n=2	7E 30 30 33 36 20 32 0d	P	F
		標準		n=1	7E 30 30 33 36 20 31 0d	P	F
		ウォーム		n=4	7E 30 30 33 36 20 34 0d	P	F
	フリーズ	フリーズ解除	~xx04 n	n=0	7E 30 30 30 34 20 30 0d	P	F
		フリーズ		n=1	7E 30 30 30 34 20 31 0d	P	F
	ピクセルシフト間隔 (分)	オフ	~xx250 n	n=0	7E 30 30 32 35 30 20 30 0d	P	F
		2		n=2	7E 30 30 32 35 30 20 32 0d	P	F
		3		n=3	7E 30 30 32 35 30 20 33 0d	P	F
		5		n=5	7E 30 30 32 35 30 20 35 0d	P	F
		30		n=30	7E 30 30 32 35 30 20 33 30 0d	P	F
		60		n=60	7E 30 30 32 35 30 20 36 30 0d	P	F
	リモコンコマンド	Vol +	~xx140 n	n=17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0d	P	F

追加情報

設定コマンド(続き)

種類	カテゴリ	パラメータ	コマンド		16進数コマンド	レスポンス	
						成功	失敗
設定	リモコン操作 コマンド	音量ダウン	~xx140 n	n=18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0d	P	F
		リモコン		n=10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0d	P	F
		リモコン		n=14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0d	P	F
		リモコン		n=11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0d	P	F
		リモコン		n=13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0d	P	F
		リモコン		n=12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0d	P	F
		リモコン メニューキー		n=20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0d	P	F
		リモコン 入力切替		n=47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0d	P	F
		リモコン		n=74	7E 30 30 31 34 30 20 37 34 0d	P	F
	上にメッセージ を表示		~xx210	nn.....n	7E 30 30 32 31 30 20 nn...n od	P	F
	初期設定にリセット		~xx112	n=1	7E 30 30 31 31 32 20 31 od	P	F
	ロック	パスワード付き で OSD を有効化	~xx239 1 ~nnnn	~mm =0000(a=7E 303030 30)-9999(a=7E 39393939)	7E 30 30 32 33 39 20 31 20 a 0d	P	F
		パスワード付き で OSD ロック を解除	~xx239 2 ~nnnn	~mm =0000(a=7E 303030 30)-9999(a=7E 39393939)	7E 30 30 32 33 39 20 32 20 a 0d	P	F

追加情報

GETコマンド

種類	カテゴリー	CMD		16進数コマンド	応答		
					成功	パラメーター	失敗
取得	電源	~xx124 n	n=1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Ok0	電源オフ	F
					OK1	電源オン	F
	コントラスト	~xx126 n	n=1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	OK0-100	0-100	F
	明るさ	~xx125 n	n=1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	OK0-100	0-100	F
	音量	~xx120 n	n=1	7E 30 30 31 32 30 20 31 0D	OK0-100	0-100	F
	映像ミュート	~xx363 n	n=1	7E 30 30 33 36 33 20 31 0D	OK0	オフ	F
					OK1	オン	F
	ミュート	~xx356 n	n=1	7E 30 30 33 35 36 20 31 0D	OK0	オフ	F
					OK1	オン	F
	サウンド モード	~xx139	n=1	7E 30 30 31 33 39 20 31 0D	OK1	スタンダード	F
					OK2	ユーザー	F
					OK3	教室	F
					OK4	会議	F
					OK5	映画	F
	入力ソース	~xx121 n	n=1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	OK7	HDMI1	F
					OK8	HDMI2	F
					OK22	HDMI フロント	F
					OK28	Type-C フロント	F
					OK2	VGA	F
					OK20	Android	F
					OK21	スロットインPC	F
					OK29	Type-C	F
	アスペクト比	~xx127 n	n=1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	OK15	DisplayPort	F
					OK1	4:3	F
					OK2	16:9	F
	画質モード	~xx123 n	n=1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	OK14	PTP	F
					OK1	プレゼンテーション	F
					OK2	明るい	F
					OK3	シネマ	F
					OK5	ユーザー	F
					OK10	DICOM SIM.	F
	色温度	~xx128 n	n=1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	OK21	HDR	F
					OK1	クール	F
					OK0	スタンダード	F
	WLAN ステータス	~xx451 n	n=1	7E 30 30 34 35 31 20 31 0D	OK3	ウォーム	F
					OK0	未接続	F
	WLAN Mac アドレス	~xx555 n	n=2	7E 30 30 35 35 35 20 32 0D	OK1	接続済み	F
					Oknn:nn:nn:nn:nn:nn	Mac アドレス	F

追加情報

GETコマンド(続き)

種類	カテゴリー	CMD		16進数コマンド	応答		
					成功	パラメーター	失敗
取得	WLAN IP アドレス	~xx451 n	n=2	7E 30 30 34 35 31 20 32 0D	Oknnn:nnn:nnn:nnn	IP アドレス	F
		~xx87 n	n=1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	OK0	未接続	F
					OK1	接続済み	F
	LAN Mac アドレス	~xx555 n	n=1	7E 30 30 35 35 35 20 31 0D	Oknn:nn:nn:nn:nn:nn	Mac アドレス	F
	LAN IP アドレス	~xx87 n	n=3	7E 30 30 38 37 20 33 0D	Oknnn:nnn:nnn:nnn	IP アドレス	F
	FW バージョン	~xx122 n	n=1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Oknnnnnnnnnnnnnnnnnn (ex. 20190926164814)	FW バージョン	F
	使用時間	~xx108 n	n=1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Oknnnnnn	稼働時間	F
	デバイス種別	~xx149 n	n=1	7E 30 30 31 34 39 20 31 0D	OK2	デバイス種別：IFP	F
	インフォメーション文字列	~xx150 n	n=1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	OKabbbbbccdddee (Note*1)		F
			n=2	7E 30 30 31 35 30 20 32 0D	Oknnn	デバイスのネイティブ解像度	F
			n=3	7E 30 30 31 35 30 20 33 0D	Oknnn (ex. OKHDMI1)	入力ソース	F
			n=4	7E 30 30 31 35 30 20 34 0D	Oknnn (ex. OK1920x1080)	入力解像度	F
			n=16	7E 30 30 31 35 30 20 31 36 0D	OK0	省エネ (standby) = Eco.	F
					OK1	電源モード (standby) = Active	F
			n=17	7E 30 30 31 35 30 20 31 37 0D	OK0	DHCP = オフ	F
					OK1	DHCP = オン	F
			n=18	7E 30 30 31 35 30 20 31 38 0D	Oknnn (ex. OK48)	システム温度	F
			n=19	7E 30 30 31 35 30 20 31 39 0D	Oknnn (ex. OK60Hz)	入力信号リフレッシュレート	F
	適合モデル名	~xx151 n	n=3	7E 30 30 31 35 31 20 33 0d	Oknnn (ex. SLUGRK)	適合モデル名 (開始時に提供予定)	F
システム自動送信	スタンバイモード				INFO0		
	ウォームアップ				INFO1		
	クールダウン				INFO2		
	過熱通知				INFO7		
取得	OSD ロック	~xx229 n	n=1	7E 30 30 32 32 39 20 31 0D	OK0	OSD lock = オフ	F
					OK1	OSD lock = オン	F
	SN	~XX353 n	n=1	7E 30 30 33 35 33 20 31 0D	Okaaaaaaaaa aaaaaaaaa	a=シリアル番号	F

追加情報

GETコマンド(続き)

注記: (*1)

電源	稼働時間	入力ソース	ファームウェアバージョン	表示モード
- a=0 Power オフ - a=1 Power オン	使用時間 = nnnnn	- cc=02 VGA1 - cc=07 HDMI1 - cc=08 HDMI2 - cc=15 DisplayPort - cc=18 Android - cc=19 Slot in PC - cc=21 USB Type C1 - cc=22 HDMI Front - cc=28 TypeC Front - cc=29 Type-C	#####	- ee=01 Presentation - ee=02 Bright - ee=05 User - ee=21 HDR - ee=03 Cinema - ee=10 DICOM SIM.

LED インジケータ

電源LEDの色と動作	ステータス
赤色点灯	スタンバイモード
白色点灯	電源オン
白色が連続点滅	バックライトオフ

追加情報

トラブルシューティング

お使いの機器に問題が発生した場合は、下記の情報をご参照ください。解決しない場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

❓ 映像も音声も出ない場合

- 全ての信号ケーブルや電源ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
- 入力モードが正しく選択されているかご確認ください。「ショートカットメニュー」セクションもご参照ください。
- 本機の電源が入っていることを確認してください。
- ミュート機能がオフになっているかをご確認ください。
- 音量が最小になっていないかをご確認ください。

❓ 本機が自動的にシャットダウンします。

- 急な停電が発生していないかをご確認ください。
- 電源コードが外れていないかをご確認ください。

❓ タッチパネルが反応しません

- 画面が直射日光や強い光に当たっていないか確認してください。赤外線機能に影響を与えている可能性があります。
- 外部機器を接続する場合は、USB ケーブルが本機の Touch USB ポートまたは USB-C ポートに正しく接続されているかご確認ください。

❓ リモコンが動作しない場合

- リモコンの操作角度が本機の赤外線受光部に対して $\pm 30^\circ$ 以内になっているかご確認ください。
- リモコンと本機の間に障害物がなく、リモコンから赤外線センサー窓までの距離が 8 メートル以内であることをご確認ください。
- 電池が正しく入っているか、消耗していないか確認し、必要であれば新しい電池に交換してください。電池の取り付け・交換方法については 21 ページをご参照ください。

追加情報

メンテナンス

定期的なメンテナンスを行うことで、初期の不具合発見や、本機を新品同様の状態に保つことができます。

重要！ 清掃やメンテナンスを行う前に、感電防止のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

画面のクリーニング方法

- 画面の清掃を行う際は、まず電源コードを抜いてください。
- 柔らかくホコリのつかない乾いた布で画面をやさしく拭いてください。
- 本機の画面を掃除する際は、水やスプレークリーナーは使用しないでください。
- 本機内部の清掃については、サービスセンターまでご連絡ください。

フロントフレームのお手入れ

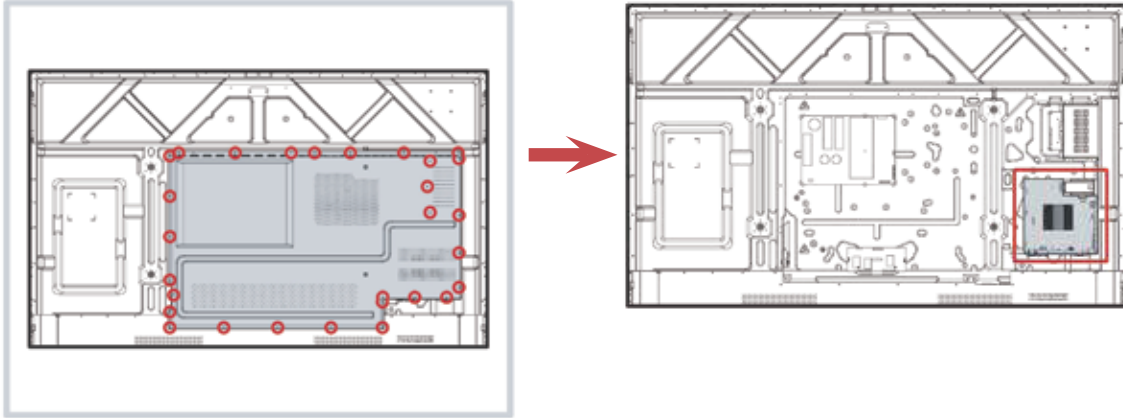
乾いた柔らかい糸くずの出ない布でフロントフレームを拭いてください。

追加情報

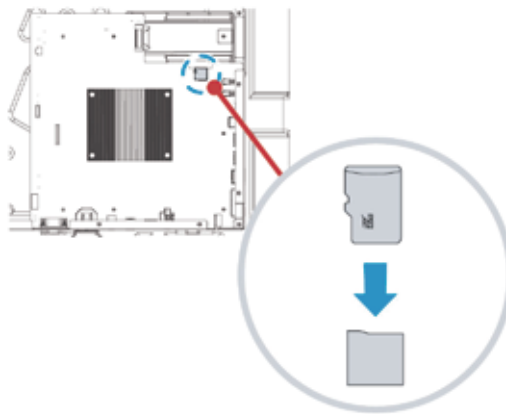
TF / MicroSD カードの取り付け

TF カードまたは MicroSD カードを取り付けるには、次の手順に従ってください：

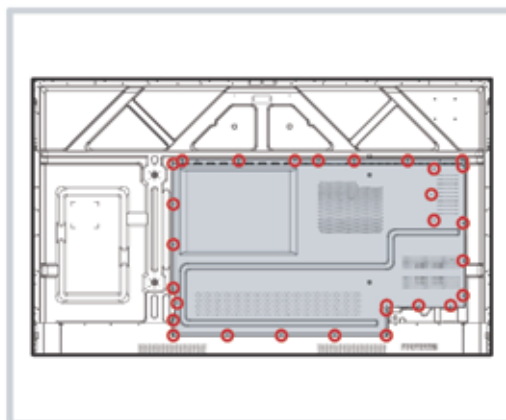
1. 背面カバーのねじ29本を取り外します



2. 本機、背面のTF/MicroSDカードスロットに、最大1TBまで対応のTFまたはMicroSDカードを差し込みます。



3. 背面カバーを元に戻し、29本のねじですべてしっかり固定して下さい。



重要！ TF カードまたは MicroSD カードの取り付けは、資格を持つ技術者のみが行うか、工場での事前取り付けオプションについて担当者にご相談ください。

MEMO

MEMO

販売元 株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53



TEL 0120-465-040 FAX 0120-380-496

(受付時間：平日 9：00 ～ 17：50 土日祝日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp

